

MC65

モバイル コンピュータ ユーザー ガイド



MC65 モバイル コンピュータ ユーザー ガイド

72E-133769-03JA

改訂版 A

2015 年 2 月

Zebra の書面による許可なしに、本書の内容をいかなる形式でも、または電氣的あるいは機械的な手段により、複製または使用することを禁じます。これには、コピー、記録、または情報の保存および検索システムなど電子的または機械的な手段が含まれます。本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。

ソフトウェアは、厳密に「現状のまま」提供されます。ファームウェアを含むすべてのソフトウェアは、ライセンスに基づいてユーザーに提供されます。本契約（ライセンス プログラム）に基づいて提供される各ソフトウェアまたはファームウェアに対して、ユーザーに移譲不可で非排他的なライセンスを付与します。下記の場合を除き、事前に書面による Zebra の同意がなければ、ユーザーがライセンスを譲渡、サブライセンス、または移譲することはできません。著作権法で認められる場合を除き、ライセンス プログラムの一部または全体をコピーする権限はありません。ユーザーは、ライセンス プログラムを何らかの形式で、またはライセンス プログラムの何らかの部分を変更、結合、または他のプログラムへ組み込むこと、ライセンス プログラムからの派生物を作成すること、ライセンス プログラムを Zebra の書面による許可なしにネットワークで使用するのを禁じられています。ユーザーは、本契約に基づいて提供されるライセンス プログラムについて、Zebra の著作権に関する記載を保持し、承認を受けて作成する全体または一部のコピーにこれを含めることに同意します。ユーザーは、提供されるライセンス プログラムまたはそのいかなる部分についても、逆コンパイル、逆アセンブル、デコード、またはリバース エンジニアリングを行わないことに同意します。

Zebra は、信頼性、機能、またはデザインを向上させる目的でソフトウェアまたは製品に変更を加えることができるものとします。

Zebra は、本製品の使用、または本文書内に記載されている製品、回路、アプリケーションの使用が直接的または間接的な原因として発生する、いかなる製造物責任も負わないものとします。

明示的、黙示的、禁反言、または Zebra の知的所有権上のいかなる方法によるかを問わず、ライセンスが付与されることは一切ないものとします。Zebra 製品に組み込まれている機器、回路、およびサブシステムについてのみ、黙示的にライセンスが付与されるものとします。

改訂版履歴

元のガイドに対する変更を次に示します。

変更	日付	説明
-01 改訂版 A	2010 年 9 月	初期リリース
-01 改訂版 B	2011 年 3 月	サポートされないボイス コマンダー機能を削除しました。短縮ダイヤル設定の手順を追加しました。
-02	2011 年 10 月	最新のソフトウェアが OEM バージョン 02.31.00XX であるため更新しました。
-03 改訂版 A	2015 年 2 月	Zebra への商標変更

目次

改訂版履歴	iii
-------------	-----

このガイドについて

はじめに.....	xiii
マニュアル セット	xiii
構成.....	xiii
ソフトウェア バージョン	xiv
章の説明.....	xiv
表記規則.....	xv
関連文書.....	xvi
サービスに関する情報.....	xvi

第 1 章：ご使用の前に

はじめに	1-1
パッケージの開梱	1-1
ご使用の前に	1-2
microSD カードの取り付け	1-2
SIM カードの取り付け	1-3
バッテリーの取り付け	1-4
バッテリーの充電	1-5
メイン バッテリーの充電	1-5
予備バッテリーの充電	1-6
充電温度	1-6
MC65 の電源の入れ方	1-6
スクリーンの調整	1-6
初回ネットワーク アクティベーション	1-7
GSM/UMTS アクティベーション	1-7
ネットワーク アクティベーション	1-7
バッテリーの状態を確認する	1-8
バッテリーを交換する	1-8
microSD カードの交換	1-9
SIM カードの交換	1-9
バッテリーの管理	1-10

電力設定の変更	1-10
バックライトの設定の変更	1-10
キーパッドのバックライトの設定変更	1-11
無線通信をオフにする方法	1-11
ハンドストラップの交換	1-11
取り外し	1-11
機器の設置	1-13

第 2 章: MC65 の使用方法

はじめに	2-1
特徴	2-1
機能ボタン	2-3
キーパッド	2-4
指のスクロール	2-4
Zebra ホーム画面	2-5
カード	2-7
Simple Home カード	2-7
Full Home カード	2-8
Weather カード	2-9
Time Tracker カード	2-9
カードの設定	2-9
プログラムのショートカット	2-9
[My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウ	2-10
タイル バー	2-10
デバイス管理	2-12
Programs (プログラム)	2-13
メモリ マネージャ	2-14
サウンド プロファイル	2-14
電源 / 無線	2-15
Alarms (アラーム)	2-17
Fusion [Fusion]	2-17
Status (ステータス)	2-18
Settings (設定)	2-18
音量を調節する	2-19
バッテリー ステータス表示	2-19
LED インジケータ	2-19
MC65 をリセットする	2-20
MC65 のロック	2-21
スタイラス	2-22
データを入力する	2-22
データ収集	2-23
イメージング	2-23
動作モード	2-23
デジタル カメラ	2-24
スキャン操作に関する考慮事項	2-24
イメージャー スキャン	2-24
デジタル カメラによるスキャン	2-26
VoIP を使用する	2-27

第 3 章：電話をかける

はじめに	3-1
電話をかける	3-1
電話キーパッドの使用	3-1
スマート ダイヤル	3-3
連絡先の使用	3-4
コール ログを使用する	3-4
短縮ダイヤルを使用する	3-4
前回の通話ダイヤル	3-5
電話に応答する	3-5
着信機能	3-5
不在着信通知	3-5
緊急通話	3-6
音声モード	3-6
Bluetooth ヘッドセットの使用	3-6
音量の調節	3-6
通話をミュートする	3-6
コール ログを使用する	3-7
コール ログの管理	3-7
[Call Log] (コール ログ) メニューの使用	3-7
Conference Calling (会議通話)	3-8
3 者通話を行う	3-11
短縮ダイヤルの設定	3-11
短縮ダイヤル エントリの追加	3-11
短縮ダイヤル エントリの編集	3-12
短縮ダイヤル エントリの削除	3-12
ボイス コマンダー	3-12
Call (通話)	3-13
検索	3-14
Redial (再ダイヤル)	3-15
Callback (コールバック)	3-15
Start (スタート)	3-15
Appointments (予定)	3-15
Read (読み取り)	3-15
What time is it? (今何時ですか?)	3-16
Call History (通話履歴)	3-16
Play Music (音楽の再生)	3-16
What can I say (ヘルプを表示する)	3-17
Goodbye (さようなら)	3-17

第 4 章：WLAN の使用

はじめに	4-1
Fusion の概要	4-1
インターネットとの接続	4-2
Wireless Zero Config の概要	4-2
Fusion と WZC を切り替える	4-2
サポートしているアプリケーション	4-3
Fusion のセットアップ	4-4
Wireless Zero Config のセットアップ	4-7
WZC の詳細情報	4-8

第 5 章: Messaging (メッセージ)

はじめに	5-1
Email (電子メール)	5-1
電子メール メッセージの作成	5-1
電子メール メッセージの表示	5-2
メッセージの返信または転送	5-2
SMS メッセージング	5-2
テキスト メッセージの送信	5-2
テキスト メッセージの表示	5-3
SMS メッセージへの返信	5-4
MMS メッセージング	5-4
MMS メッセージの作成と送信	5-5
MMS メッセージの表示	5-5
MMS メッセージへの返信	5-6
SMS メッセージ着信のブロック	5-6

第 6 章: カメラの使用

はじめに	6-1
写真を撮る	6-1
[Burst] (バースト) モード	6-2
[Timer] (タイマ) モード	6-2
画像の編集	6-2
画像を壁紙として設定	6-3
カメラの設定	6-3
ビデオを録画する	6-4
ビデオの設定	6-4
画像とビデオを表示する	6-5
画像とビデオをカスタマイズする	6-5

第 7 章: Bluetooth の使用

はじめに	7-1
適応型周波数ホッピング	7-1
セキュリティ	7-2
Bluetooth の設定	7-3
Bluetooth の電源の状態	7-3
サスペンド	7-3
再開	7-3
Bluetooth オン/オフの切り替え	7-4
Bluetooth の有効化	7-4
Bluetooth の無効化	7-4
Bluetooth デバイスを検出する	7-5
使用可能なサービス	7-7
Object Push Services via Beam (ビームによるオブジェクト プッシュ) サービス	7-7
Internet Sharing (インターネット共有)	7-8
Hands-free (ハンズフリー) サービス	7-9
Serial Port (シリアル ポート) サービス	7-9
Bluetooth を使用した ActiveSync	7-10
Phone Book Access Profile サービス	7-12
Dial-Up Networking (ダイヤルアップ ネットワーク) サービス	7-12

HID デバイスの接続	7-13
A2DP/AVRCP サービス	7-13

第 8 章: GPS ナビゲーションの使用

はじめに	8-1
ソフトウェアのインストール	8-1
MC65 GPS のセットアップ	8-2
動作	8-2
microSD カード上の GPS マップ	8-2
GPS 使用中の電話への応答	8-2
車両に乗っているときに GPS 信号が失われた場合	8-2
アシスト GPS	8-3
GPS のリセット	8-3

第 9 章: Settings (設定)

はじめに	9-1
Settings (設定) フォルダ	9-1
MC65 のロック	9-4
ダイヤラを切り替える	9-4
デバイス管理	9-5
サウンド プロファイル	9-5
電源 プロファイル	9-6
Alarms (アラーム)	9-7
バックライトとキーライトの設定	9-7
加速度計	9-8
[Display] (ディスプレイ) タブ	9-8
[About] (バージョン情報) タブ	9-8
プログラムのショートカットのセットアップ	9-9
[My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウのセットアップ	9-9
カードのセットアップ	9-10
カードの並べ替え	9-10
カードの設定	9-11
Time Tracker カード	9-11
Weather カード	9-13
新しい場所の追加	9-13
場所の変更	9-13
場所の削除	9-13
電子メールのセットアップ	9-14
IMAP または POP アカウントのセットアップ	9-14
自動の電子メール セットアップ	9-14
手動の電子メール セットアップ	9-15
電子メール設定の手動入力	9-15
電子メール アカウントの編集	9-17
電子メール署名の設定	9-18
MMS メッセージングのセットアップ	9-18
ボイス コマンダー [ぼいすこまんだ]	9-19
連絡先の設定	9-19
Play (再生)	9-19
アプリケーションの設定	9-20

Play (再生)	9-20
音楽の設定	9-20
Play (再生)	9-20
ディジット トレーナーの設定	9-20
ディジットの設定	9-20
詳細設定	9-20

第 10 章: アクセサリ

はじめに	10-1
アクセサリ	10-1
シングル スロット USB クレードル	10-3
MC65 バッテリーの充電	10-3
予備バッテリーの充電	10-4
バッテリー充電インジケータ	10-4
充電温度	10-4
シングル スロット Ethernet/Modem/USB クレードル	10-5
国別の設定	10-5
接続のセットアップ	10-5
インジケータ	10-6
動作	10-6
イーサネット接続	10-6
モデム接続	10-6
4 スロット 充電専用クレードル	10-7
充電	10-7
バッテリー充電インジケータ	10-7
充電温度	10-7
4 スロット イーサネット クレードル	10-8
充電	10-8
バッテリー充電インジケータ	10-8
充電温度	10-8
VCD5000 車載用クレードル	10-9
MC65 バッテリーの充電	10-9
MC65 の取り外し	10-9
バッテリー充電インジケータ	10-10
充電温度	10-10
4 スロット バッテリー充電器	10-11
バッテリーの充電	10-11
バッテリー充電インジケータ	10-11
充電温度	10-11
ケーブル	10-12
バッテリー充電と動作電力	10-12
充電の状態を表す LED 表示	10-13
充電温度	10-13
車載用ホルダー	10-14
取り付けに関する注意事項	10-14
デバイスの取り付けに関する注意事項	10-14
機器の設置	10-14
アセンブリ	10-15
フロントガラスへの取り付け	10-15
平らな面への取り付け	10-16

第 11 章: メンテナンスとトラブルシューティング

はじめに	11-1
MC65 のメンテナンス	11-1
スクリーン保護シートを取り外す	11-2
バッテリーの安全に関するガイドライン	11-3
クリーニングする	11-4
必要な材料	11-4
MC65 のクリーニング	11-4
筐体	11-4
ディスプレイ	11-4
スキャナ ウィンドウ	11-4
コネクタ	11-4
クレードルのコネクタのクリーニング	11-5
クリーニングの頻度	11-5
トラブルシューティング	11-6
MC65	11-6
Bluetooth の接続	11-9
シングル スロット USB クレードル	11-9
4 スロット イーサネット クレードル	11-10
車載用クレードル	11-11
4 スロット 予備バッテリー充電器 [4 しろっとよびばってりじゅうでんき]	11-11
ケーブル	11-12
磁気ストライプ リーダー	11-12

付録 A: 技術仕様

MC65 の技術仕様	A-1
MC65	A-1
MC65 アクセサリの仕様	A-6
シングル スロット USB クレードル	A-6
4 スロット 予備バッテリー充電器 [4 しろっとよびばってりじゅうでんき]	A-6
4 スロット 充電専用クレードル	A-7
4 スロット イーサネット クレードル	A-7
磁気ストライプ リーダー	A-8
車載用クレードル	A-9
ケーブル	A-9

付録 B: キーパッド

はじめに	B-1
数字キーパッド構成	B-1
英数字キーパッド構成	B-5
PIM キーパッド構成	B-12
DSD キーパッド構成	B-14
特殊文字キー	B-17

付録 C: Windows Mobile のホーム画面と Dialer

はじめに	C-1
Windows Mobile のホーム画面	C-1
クラシック [Today] (今日) 画面	C-3

[Start] (スタート) 画面	C-4
Windows Mobile Dialer	C-5
電話をかける	C-5
電話キーパッドの使用	C-5
スマート ダイアル	C-6
連絡先の使用	C-7
通話履歴を使用する	C-7
短縮ダイヤルの使用	C-8
電話に応答する	C-9
着信機能	C-9
不在着信通知	C-9
緊急通話	C-10
音声モード	C-10
Bluetooth ヘッドセットの使用	C-10
音量の調節	C-10
通話をミュートする	C-11
通話履歴を使用する	C-11
通話履歴の管理	C-12
[Call History] (通話履歴) の表示の変更	C-12
通話カウンタのリセット	C-12
すべての通話履歴項目の削除	C-12
通話ステータスの表示	C-13
[Call History] (通話履歴) メニューの使用	C-13
通話を切り替える (GSM)	C-14
通話を切り替える (CDMA)	C-15
会議通話 (GSM)	C-16
3 者通話 (CDMA)	C-16

用語集

索引

このガイドについて

はじめに

このガイドでは、MC65 エンタープライズ デジタル アシスタントとアクセサリの使用方法について説明します。

- ✓ 注 このガイドで示しているスクリーンとウィンドウの図は、例として示しているものであり、実際のスクリーンと異なることがあります。このガイドでは、ホーム画面とダイヤラの使用方法について説明します。Microsoft のホーム画面とダイヤラの使用方法については、[付録 C「Windows Mobile のホーム画面と Dialer」](#)を参照してください。

マニュアル セット

MC65 のマニュアル セットは、ユーザーの個々のニーズに応じた情報を提供しており、次のマニュアルで構成されています。

- **MC65 クイック スタート ガイド** - MC65 EDA の主な機能の使用方法について説明しています。
- **MC65 ユーザー ガイド** - MC65 EDA の使用方法について説明しています。
- **MC65 Integrator Guide** - MC65 EDA とアクセサリの設定方法について説明しています。
- **Enterprise Mobility Developer Kit (EMDK) Help File** - アプリケーション開発用の API 情報について説明しています。

構成

このガイドは、以下のモデルを対象としています。

構成	無線通信	ディスプレイ	メモリ	データ収集 オプション	オペレー ティング システム	キーパッド
MC659B	WLAN: 802.11 a/b/g WPAN: Bluetooth v2.0 EDR WWAN: CDMA または GSM/UMTS GPS: スタンドアロン GPS または A-GPS	3.5 インチ VGA カラー	128 MB RAM/ 1GB フラッシュ または 512MB RAM/ 1 GB フラッシュ	2D イメ ジャーまたは 2D イメ ジャーおよび カメラ	Windows Mobile 6.5 Professional	数字、 QWERTY、 QWERTZ、 AZERTY、 PIM、また は DSD

ソフトウェア バージョン

このガイドでは、さまざまなソフトウェア構成について取り上げ、次のオペレーティング システムまたはソフトウェアのバージョンについて言及しています。

- Adaptation Kit Update (AKU) バージョン
- OEM バージョン
- Fusion ソフトウェア
- Phone ソフトウェア

AKU バージョン

Adaptation Kit Update (AKU) のバージョンを確認するには、次の手順に従います。

[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [About] (バージョン情報) > [Version] (バージョン) をタップします。

2 行目に、オペレーティング システムのバージョン番号とビルド番号が表示されます。ビルド番号の最後の部分が AKU 番号を表しています。たとえば、「Build 23121.5.3.6」は、デバイスで AKU バージョン 5.3.6 が実行されていることを示しています。

OEM バージョン

OEM ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [System Info] (システム情報) > [System] (システム) をタップします。

Fusion ソフトウェア

Fusion ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

ステータス バー >  > **[Wireless Status] (無線状態) > [Versions] (バージョン)** をタップします。

Phone ソフトウェア

Phone ソフトウェアのバージョンを確認するには、次の手順に従います。

 >  > **[Phone information] (電話情報)** をタップします。

章の説明

このガイドは、次の章で構成されています。

- [第 1 章「ご使用の前に」](#) - MC65 を初めて使用する際の手順について説明します。
- [第 2 章「MC65 の使用方法」](#) - 電源の入れ方、MC65 のリセット方法、データの入力やキャプチャ方法など、MC65 の基本的な使用方法について説明します。
- [第 3 章「電話をかける」](#) - MC65 の電話機能のセットアップ方法について説明します。
- [第 4 章「WLAN の使用」](#) - MC65 を WLAN に接続する方法について説明します。

- 第 5 章「Messaging (メッセージ)」- 電子メール、SMS および MMS メッセージングの使用方法について説明します。
- 第 6 章「カメラの使用」- 写真の撮影方法とビデオの取り込み方法について説明します。
- 第 7 章「Bluetooth の使用」- MC65 の Bluetooth 機能について説明します。
- 第 8 章「GPS ナビゲーションの使用」- MC65 の GPS ナビゲーション機能について説明します。
- 第 9 章「Settings (設定)」- MC65 の電話機能の基本的な使用方法について説明します。
- 第 10 章「アクセサリ」- 取り付け可能なアクセサリと、アクセサリを MC65 で使用方法について説明します。
- 第 11 章「メンテナンスとトラブルシューティング」- MC65 のクリーニングと保管方法、および MC65 の操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。
- 付録 A「技術仕様」- MC65 の技術仕様について説明します。
- 付録 B「キーパッド」- さまざまなキーパッドの設定方法について説明します。
- 付録 C「Windows Mobile のホーム画面と Dialer」- Windows Mobile のホーム画面と Windows Mobile のダイヤラの使用方法について説明します。

表記規則

本書では、次の表記規則を使用しています。

- EDA とは、Zebra MC65 シリーズのハンドヘルド コンピュータを指します。
- 斜体は、次の項目の強調に使用します。
 - 本書および関連文書の章およびセクション
 - スクリーン上のアイコン
- 太字は、次の項目の強調に使用します。
 - ダイアログ ボックス、ウィンドウ、画面名
 - ドロップダウン リスト名、リスト ボックス名
 - チェック ボックス名、ラジオ ボタン名
 - キーパッド上のキー名
 - 画面上のボタン名
- 中黒 (•) は、次を示します。
 - 実行する操作
 - 代替方法のリスト
 - 実行する必要があるが、順番どおりに実行しなくてもかまわない手順
- 順番どおりに実行する必要がある手順 (順を追った手順) は、番号付きのリストで示されます。

関連文書

- **MC65 クイック スタート ガイド** (p/n 72-134041-xx)
- **MC65 規制ガイド** (p/n 72-134232-xx)
- **MC65 Integrator Guide** (p/n 72E-142435-xx)
- **Mobility Services Platform User Guide** (p/n 72E-100158-xx)
- **Enterprise Mobility Developer Kits (EMDKs)** は、<http://www.zebra.com/support> から入手可能です。
- 最新の ActiveSync ソフトウェアは、<http://www.microsoft.com> から入手可能です。

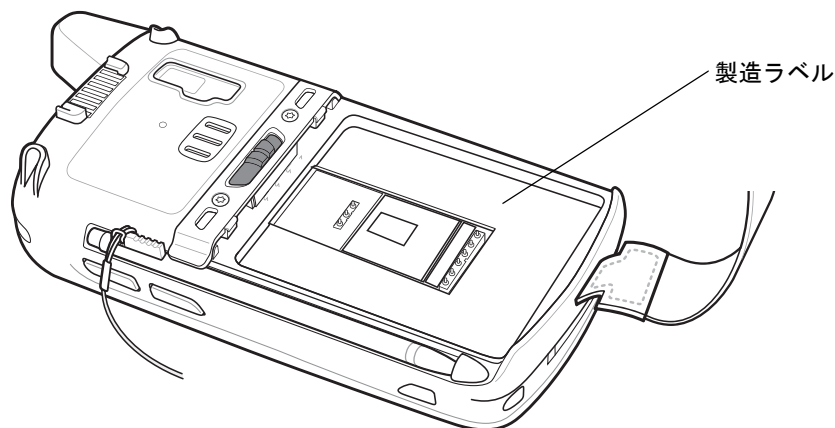
本書およびすべてのガイドの最新バージョンは、<http://www.zebra.com/support> から入手可能です。

サービスに関する情報

本機器に問題が発生した場合は、地域担当の Zebra サポートにお問い合わせください。お問い合わせ先は、<http://www.zebra.com/support> に記載されています。

サポートへのお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

- 装置のシリアル番号 (製造ラベルに記載)
- モデル番号または製品名 (製造ラベルに記載)
- ソフトウェアのタイプとバージョン番号



Zebra では、サポート契約で定められた期間内に電子メール、電話、またはファックスでお問い合わせに対応いたします。

Zebra サポートが問題を解決できない場合、修理のため機器をご返送いただくことがあります。その際に詳しい手順をご案内します。Zebra は、承認済みの梱包箱を使用せずに発生した搬送時の損傷について、その責任を負わないものとします。装置を不適切に輸送すると、保証が無効になる場合があります。修理のために発送する際には、事前に SIM カードおよび microSD カードを MC65 から取り外してください。

ご使用のビジネス製品を Zebra ビジネス パートナーから購入された場合、サポートについては購入先のビジネス パートナーにお問い合わせください。

第1章 ご使用前に

はじめに

ここでは、MC65 の各部名称とアクセサリについて列挙し、初めて使用する際の設定手順について説明します。

パッケージの開梱

MC65 を覆っている保護材を慎重にすべて取り外し、後で保管や搬送に使えるように、梱包箱を保管しておきます。

次のものが含まれていることを確認します。

- MC65 EDA
- 3600mAh リチウム イオン バッテリ
- ストラップ付きスタイラス (取り付け済み)
- スクリーン保護シート、ディスプレイ ウィンドウに取り付け済み
- 規制ガイド
- クイック スタート ガイド

破損している機器がないかどうかを確認してください。不足または破損している機器がある場合は、直ちに Zebra サポートにお問い合わせください。連絡先については、[xvi ページ](#)を参照してください。

MC65 を初めて使用する前に、スキャン ウィンドウ、ディスプレイ、カメラ ウィンドウを覆っている搬送保護フィルムをはがしてください。

ご使用の前に

MC65 を初めて使用する際には、次のことを行います。

- microSD カードの取り付け (オプション)
- SIM カードの取り付け (GSM のみ)
- メイン バッテリー パックの取り付け
- MC65 の充電
- MC65 の電源をオンにする

microSD カードの取り付け

microSD カードを不揮発性のセカンダリ ストレージとして使用できます。スロットはバッテリー パックの下にあります。詳細については、カードに添付されているマニュアルを参照し、メーカーの推奨使用方法に従ってください。



注意 SD カードを損傷しないように、ESD に関する注意事項に従ってください。ESD に関する注意事項には、ESD マット上で作業を実施することや作業者を適切に接地することなどが含まれます。

microSD カードを取り付けるには、次の手順に従います。

1. ハンドストラップを取り外します。
2. ゴム製のアクセス ドアを持ち上げます。
3. SIM カードホルダー ドアを上方にスライドさせてロックを解除します。
4. SIM カードホルダー ドアを持ち上げます。

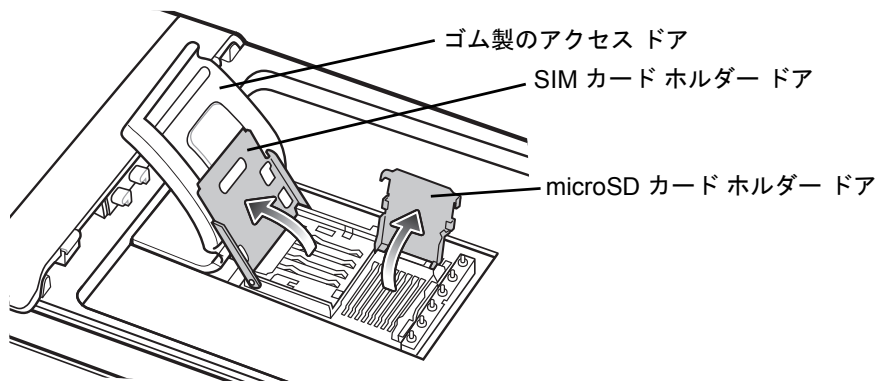


図 1-1 SIM スロットホルダー ドアを持ち上げる

5. microSD カードホルダー ドアを持ち上げます。
6. microSD カードをカードホルダー ドアに挿入して、ドアの両端にある固定タブ内部にスライドさせます。

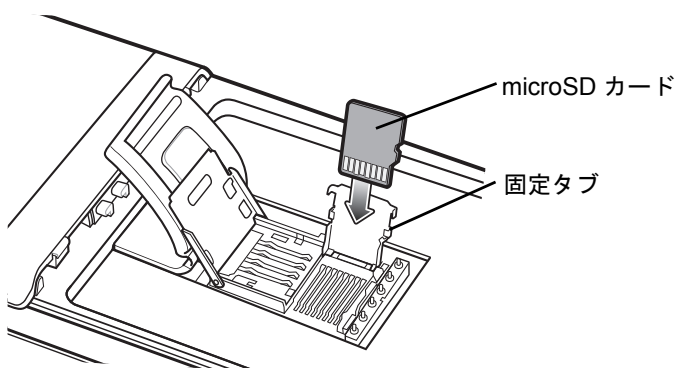


図 1-2 microSD カードをホルダーに挿入する

7. カードホルダー ドアを閉じて、カチッというまで押します。
8. SIM カードを取り付ける場合は、[SIM カードの取り付け](#)に進みます。
9. SIM カードホルダー ドアを閉じて、所定の位置に固定されるまでスライドさせて押し込みます。
10. ゴム製のアクセス ドアを閉じます。

SIM カードの取り付け

✓ **注** GSM のみ MC65 では、一部の SIM カードには複数の連絡先をコピーできません。エラー メッセージが表示された場合、詳細については[第 11 章「メンテナンスとトラブルシューティング」](#)を参照してください。

GSM 方式の回線を使用するには、SIM (Subscriber Identification Module: 加入者識別モジュール) カードを取り付ける必要があります。サービス プロバイダからこのカードを入手し、MC65 に取り付けてください。このカードには、次の情報を保存できます。

- サービス プロバイダのアカウントの詳細
- サービスへのアクセス方法と設定に関する情報
- 連絡先の情報。この情報は MC65 の連絡先に移動させることができます。
- 契約したその他のあらゆるサービス

✓ **注** SIM カードの詳細については、サービス プロバイダのマニュアルを参照してください。

SIM カードを取り付けるには、次の手順に従います。

1. ゴム製のアクセス ドアを持ち上げます。
2. SIM カードホルダーをスライドさせてロックを解除します。
3. SIM カードホルダー ドアを持ち上げます。

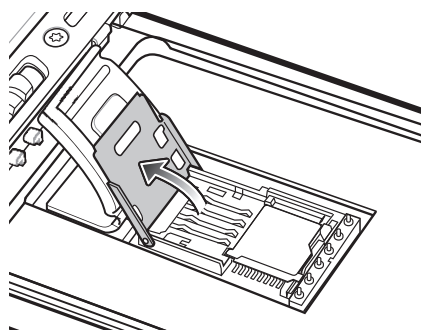


図 1-3 SIM カバーの持ち上げ方

4. 図 1-4 で示すように SIM カードを挿入して、ドアの両端にある固定タブ内部にスライドさせます。

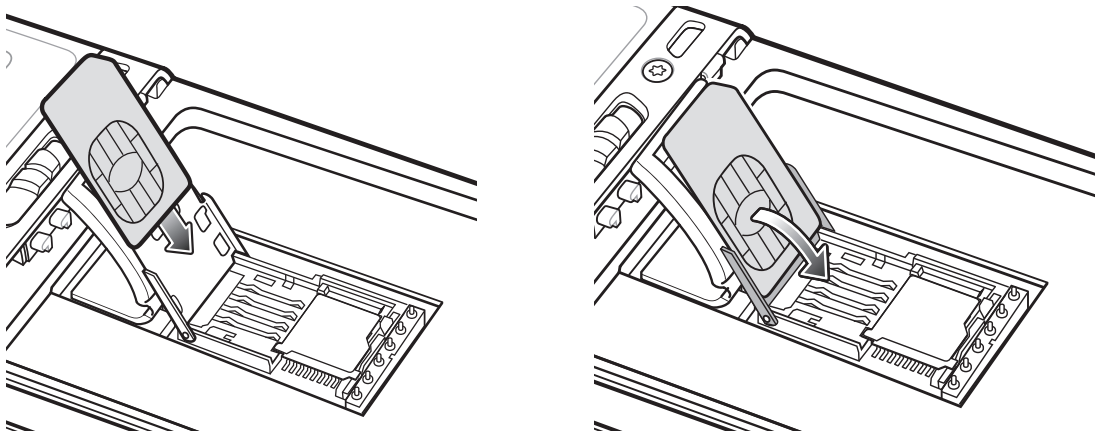


図 1-4 SIM カードの挿入

5. SIM カードホルダー ドアを閉じて、所定の位置にロックされるまでスライドさせて押し込みます。
6. ゴム製のアクセス ドアを閉じます。
7. バッテリーを取り付けます。

✓ 注 WWAN の有効化の詳細については、1-7 ページの「初回ネットワーク アクティベーション」を参照してください。

バッテリーの取り付け

バッテリーを取り付けるには、次の手順に従います。

1. MC65 の背面のバッテリー コンパートメントに、バッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。
2. バッテリー リリース ラッチが所定の位置に収まるまで、バッテリーをバッテリー コンパートメントに押し込みます。
3. ハンドストラップを取り付けます。

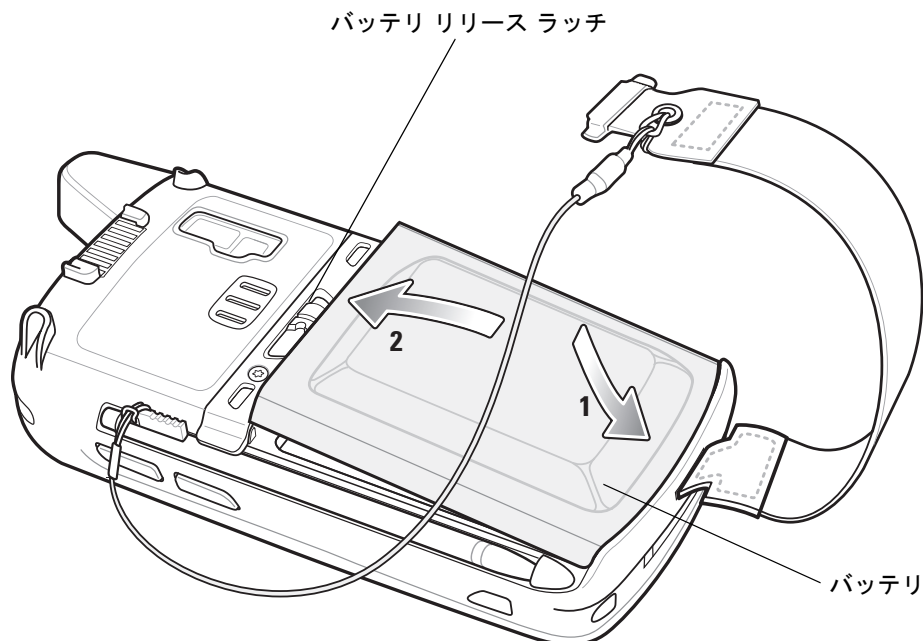


図 1-5 バッテリーの取り付け

バッテリーの充電



注意 11-3 ページの「バッテリーの安全に関するガイドライン」で説明している、バッテリーの安全に関するガイドラインに従ってください。

メインバッテリーの充電

MC65 を初めて使用する場合は、充電/バッテリー状態 LED が黄色で点灯し続けるまでメイン バッテリーを充電します (充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-6 ページの表 1-1](#)を参照してください)。MC65 を充電するには、ケーブルまたはクレードルを使って適切な電源に接続してください。MC65 のアクセサリの詳細については、[第 10 章「アクセサリ」](#)を参照してください。

MC65 にはメモリ バックアップ バッテリーが装備されており、このバッテリーは、フル充電されたメイン バッテリーから自動的に充電されます。MC65 を初めて使用する場合は、バックアップ バッテリーがフル充電されるまで約 40 時間かかります。また、メイン バッテリーを数時間取り外して、バックアップ バッテリーが放電した場合も、同じ時間がかかります。MC65 のメイン バッテリーを取り外した場合、メモリ内の RAM データは、バックアップ バッテリーによって少なくとも 15 分間 (室温の場合) 維持されます。MC65 のバッテリー残量が非常に少なくなった場合、メモリ内の RAM データは、メイン バッテリーとバックアップ バッテリーの両方によって少なくとも 36 時間維持されます。

ケーブルおよびクレードルの取り扱い方法および充電手順については、『MC65 Integrator Guide』を参照してください。

- USB 充電ケーブル
- 充電専用ケーブル
- シングル スロット USB クレードル
- 4 スロット充電専用クレードル
- 4 スロット イーサネット クレードル。

メイン バッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. 充電アクセサリを適切な電源に接続します。
2. MC65 をクレードルにセットするか、ケーブルを接続します。充電が始まります。充電中は、充電/バッテリー状態 LED が黄色で点滅し、フル充電されると黄色で点灯します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、表 1-1 を参照してください。

3600mAh バッテリーは 6 時間以内に充電が完了します。

表 1-1 LED 充電

充電/バッテリーの 状態 LED	意味
オフ	MC65 は充電されていません。 MC65 が正しくクレードルにセットされていないか、電源に接続されていません。 充電器/クレードルに電源が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅 (2 秒に 1 回点滅)	MC65 は充電中です。
黄色で点灯	充電が完了しました。 注: MC65 に初めてバッテリーを取り付けたときにバッテリー残量が少なかったり、 バッテリーが正しく入っていないと黄色の LED が 1 回点滅します。
黄色で速く点滅 (1 秒間に 2 回点滅)	充電エラーです。次のような場合に、この状態になります。 <ul style="list-style-type: none"> • 温度が低すぎる、または高すぎる。 • 充電完了までの時間が長すぎる (通常は、8 時間以上)。

予備バッテリーの充電

アクセサリを使用して予備バッテリーを充電する方法については、第 10 章「アクセサリ」を参照してください。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ～ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC65 によって精密に制御されています。

温度制御を実現するため、MC65 やアクセサリは、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC65 やアクセサリの LED にエラーが表示されます。表 1-1 を参照してください。

MC65 の電源の入れ方

電源ボタンを押して、MC65 の電源をオンにします。MC65 がフラッシュ ファイル システムを初期化している間、約 1 分間にわたって起動画面が表示され、その後調整ウィンドウが表示されます。

スクリーンの調整

✓ 注 調整画面にアクセスするにはブルー キーを押してから、バックスペース キーを押します。

タッチ スクリーンのカーソル位置とスタイラスの先端の位置が揃うようにスクリーンを調整するには、次の手順に従います。

1. MC65 の背面にあるホルダーからスタイラスを外します。
2. スタイラスの先端で、スクリーンに表示される各ターゲットの中央を短時間押し続けます。
3. スクリーン上を移動するターゲットに対して同じ操作を繰り返して、スクリーンをタップして続行します。

初回ネットワーク アクティベーション

GSM/UMTS アクティベーション

ネットワーク アクティベーション

GSM/UMTS ネットワークでアクティベートするには、次の手順に従います。


1. アクティブな SIM カードが MC65 にインストールされている場合、MC65 はアクティベーション プロセスを実行します。
2. **[Phone Network - GSM/UMTS Setup]** (電話ネットワーク - GSM/UMTS セットアップ) ダイアログボックスが表示されます。
3. **[Yes]** (はい)、**[OK]** の順にタップします。キャリアによっては、MC65 がリセットされます。
4. 起動中に、接続の設定のアップデートがないというメッセージが表示された場合は、**[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[Connection]** (接続) > **[Phone Network Setup]** (電話ネットワークのセットアップ) の順にタップしてから、**[Update Connection Settings]** (接続の設定のアップデート) ボタンをタップします。
5. ネットワークがサポートされていない場合は、手動でデータ接続と MMS 接続を設定するためのリンクを含んだメッセージが表示されます。

CDMA ネットワークでアクティベートするには、次の手順に従います。

1. SIM カードが取り付けられていない場合、**[No SIM card found]** (SIM カードがありません) ダイアログボックスが表示されます。
2. **[OK]** をタップします。**[Phone Network - CDMA Activation]** (電話ネットワーク - CDMA アクティベーション) ダイアログボックスが表示されます。
3. **[はい]** をタップすると、CDMA ネットワークでアクティベートされます。
4. **[CDMA Setup]** (CDMA のセットアップ) タブの **[優先ネットワーク]** オプションをタップして、ネットワークを選択します。
5. **[Yes]** (はい) をタップします。
6. **[Start Activation]** (アクティベーションの開始) ボタンをタップします。
7. **[Yes]** (はい) をタップしてアクティベートします。
8. 既存の電話からキャリアに問い合わせ、無線アクティベーションを要求します。
9. オペレータから指示されたら、**[Activate Now]** (今すぐアクティベートする) ボタンを押します。

別のネットワークでの電話の設定とアクティベーションの詳細については、『MC65 Integrator Guide』を参照してください。

バッテリーの状態を確認する

MC65 でメイン バッテリーの充電状態を確認するには、[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Power] (電源) をタップして、[Power] (電源) ウィンドウを表示するか、ステータス バー >  をタップします。

バッテリーを交換する



注意 MC65 のバックアップ バッテリーによって、データが最大 15 分間維持されます。アプリケーションの状態を維持し、データの損失を防ぐためには、15 分以内にバッテリーを交換してください。

1. MC65 がサスペンド モードの場合、赤色の電源ボタンを押して、ウェイクアップします。
2. 赤色の電源ボタンを約 5 秒間押し続けます。
3. 電源ボタンを放します。OEM バージョン 02.31.002 以上では、[バッテリー交換] をタップします。データ収集 LED が赤く点灯します。
4. LED がオフになったら、ハンドストラップを取り外します。
5. バッテリー ラッチを右にスライドさせます。バッテリーが少し外に出ます。

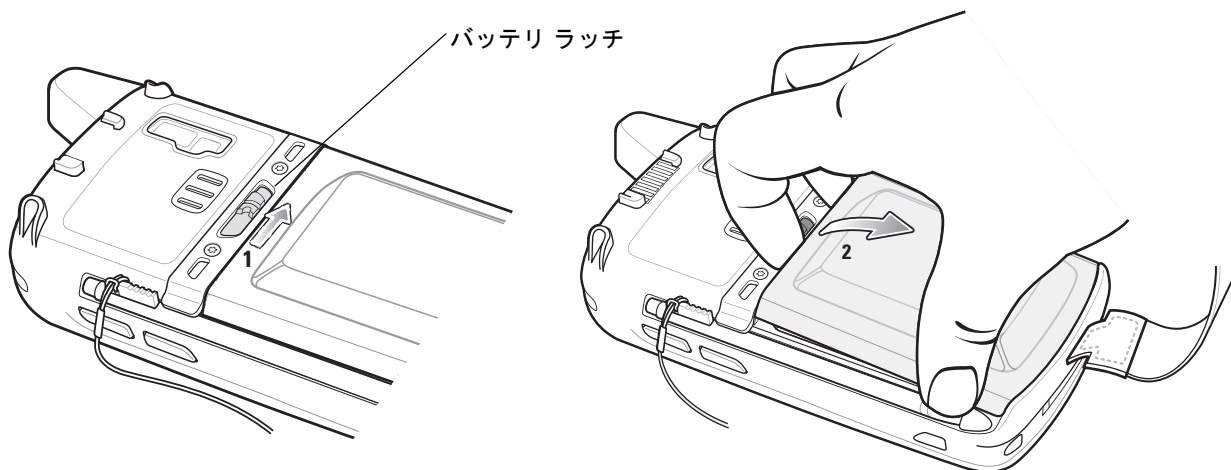


図 1-6 バッテリーの取り外し

6. バッテリーを MC65 から取り出します。
7. MC65 の背面のバッテリー コンパートメントに、交換用のバッテリーを取り付けます。この場合、バッテリーの下側を先に入れます。
8. バッテリー リリース ラッチが固定されるまで、バッテリーを押し下げます。
9. ハンドストラップを取り付けます。

microSD カードの交換



注意 MC65 のバックアップ バッテリによって、データが最大 15 分間維持されます。アプリケーションの状態を維持し、データの損失を防ぐためには、15 分以内にバッテリを交換してください。

microSD カードを交換するには、次の手順に従います。

1. MC65 がサスペンド モードの場合、赤色の電源ボタンを押して、ウェイクアップします。
2. 赤色の電源ボタンを約 5 秒間押し続けます。
3. 電源ボタンを放します。OEM バージョン 02.31.002 以上では、**【バッテリー交換】**をタップします。データ収集 LED が赤く点灯します。
4. LED がオフになったら、ハンドストラップを取り外します。
5. バッテリを取り外します。
6. ゴム製のアクセス ドアを持ち上げます。
7. SIM カードホルダー ドアを上方にスライドさせてロックを解除します。
8. SIM カードホルダー ドアを持ち上げます。
9. microSD カードホルダー ドアを持ち上げます。
10. microSD カードをホルダーから取り外します。
11. microSD カードホルダー ドアを閉じます。
12. microSD カードホルダー ドアを閉じます。
13. SIM カードホルダー ドアを下方にスライドさせて所定の位置にロックします。
14. ゴム製のアクセス ドアを閉じます。
15. バッテリを交換します。
16. ハンドストラップを取り付けます。
17. SIM カードを取り付けた場合は、MC65 をリセットします。[2-20 ページの「MC65 をリセットする」](#)を参照してください。

SIM カードの交換

SIM カードを交換するには、次の手順に従います。

1. MC65 がサスペンド モードの場合、赤色の電源ボタンを押して、ウェイクアップします。
2. 赤色の電源ボタンを約 5 秒間押し続けます。
3. 電源ボタンを放します。OEM バージョン 02.31.002 以上では、**【バッテリー交換】**をタップします。データ収集 LED が赤く点灯します。
4. LED がオフになったら、ハンドストラップを取り外します。

5. バッテリーを取り外します。
6. ゴム製のアクセス ドアを持ち上げます。
7. SIM カードホルダー ドアを上方にスライドさせてロックを解除します。
8. SIM カードホルダー ドアを持ち上げます。
9. SIM カードをホルダーから取り外します。
10. microSD カードホルダー ドアを閉じます。
11. SIM カードホルダー ドアを下方にスライドさせて所定の位置にロックします。
12. ゴム製のアクセス ドアを閉じます。



注意 MC65 のバックアップ バッテリーによって、データが最大 15 分間維持されます。アプリケーションの状態を維持し、データの損失を防ぐためには、15 分以内にバッテリーを交換してください。

13. バッテリーを交換します。
14. ハンドストラップを取り付けます。
15. MC65 をリセットします。2-20 ページの「MC65 をリセットする」を参照してください。


バッテリーの管理

バッテリーを節約するためのヒントを以下に示します。

- MC65 を使用しないときは、常に AC 電源に接続しておきます。
- アイドル状態で一定時間経過したら電源がオフになるように MC65 を設定します。
- アイドル状態で一定時間経過したらバックライトがオフになるように MC55 を設定します。
- 無線機能を使用していないときには、すべての無線機能をオフにします。


電力設定の変更

アイドル状態で一定時間経過したら電源がオフになるように MC65 を設定するには、次の手順に従います。

1. ステータス バー >  をタップします。
2. [Device timeout] (デバイスのタイムアウト) オプションを選択します。
3. リストから値を選択します。

バックライトの設定の変更

バックライトの設定を変更してバッテリー電力を節約するには、次の手順に従います。

1. [Start] (スタート) > ステータス バー >  をタップします。
2. [Backlight] (バックライト) オプションを選択します。
3. リストから値を選択します。

4. **[Brightness] (輝度)** オプションを選択します。
5. **[Manual] (手動)** オプションをタップし、スライダを使用して値を下げます。
6. **[Back] (戻る)** をタップします。


キーパッドのバックライトの設定変更

キーパッドのバックライトの設定を変更してバッテリー電力を節約するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Backlight & Keylight] (バックライトとキーライト) > [Battery Power] (バッテリー電力)** をタップします。
2. **[Keylight] (キーライト)** オプションをタップします。
3. リストから値を選択します。
4. **[Keylight] (キーライト)** オプションをタップします。
5. リストから低い値を選択します。
6. **[OK]** をタップします。

無線通信をオフにする方法

無線通信をオフにするには、次の手順に従います。

1. ステータス バー >  をタップします。
2. **[Phone radio] (電話無線)** をタップして、電話無線のオン/オフを切り替えます。
3. **[Wi-Fi]** をタップして、WLAN 無線通信のオン/オフを切り替えます。
4. **[Bluetooth]** をタップして、Bluetooth 無線のオン/オフを切り替えます。

ハンドストラップの交換

取り外し

MC65 からハンドストラップを取り外すには、次の手順に従います。



注意 ハンドストラップを交換する前に、実行中のアプリケーションをすべて終了します。バックアップ バッテリーによって、データが最大 15 分間維持されます。交換作業に 15 分間以上かかると、データが失われる場合があります。

1. MC65 がサスペンド モードの場合、赤色の電源ボタンを押して、ウェイクアップします。
2. 赤色の電源ボタンを約 5 秒間押し続けます。
3. 電源ボタンを放します。データ収集 LED が赤く点灯します。
4. LED がオフになったら、ハンドストラップを取り外します。

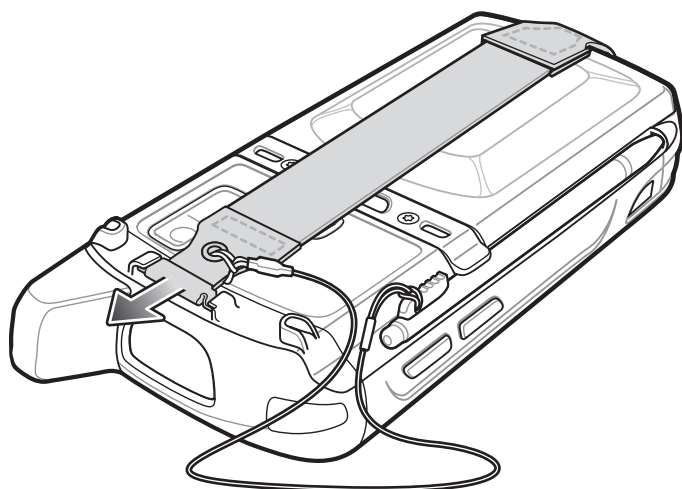


図 1-7 ハンドストラップクリップの取り外し

5. バッテリーを取り外します。



注意 ハンドストラップ ピンを取り外す際、ハンドストラップの取り付け位置を破損しないように気を付けてください。

6. 次の図のように、ハンドストラップ ピンと筐体の間に小型のマイナス ドライバの先端を押しこみます。

7. てこの原理を利用してハンドストラップとピンを押し上げ、ストラップ取り付け位置から取り外します。

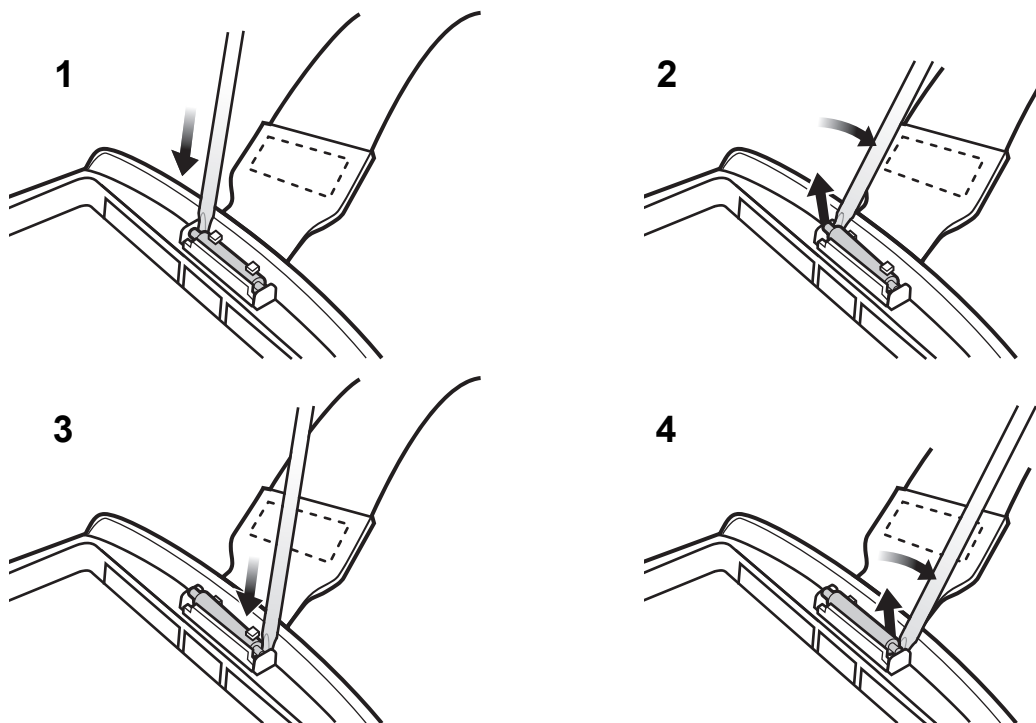


図 1-8 ハンドストラップとピンの取り外し

8. ハンドストラップの反対側でも同じ手順を繰り返します。

9. ハンドストラップからピンを取り外します。

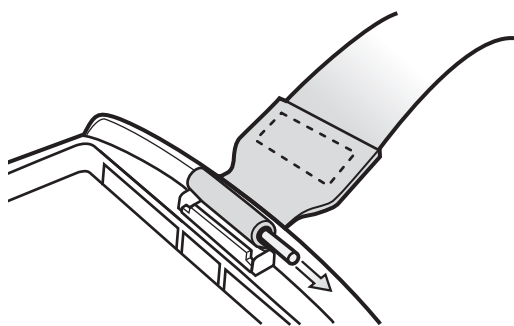


図 1-9 ピンの取り外し

10. ハンドストラップをハンドストラップのスロットを通してひっぱります。

機器の設置

新しいハンドストラップを取り付けるには、次の手順に従います。

1. MC65 底部にあるハンドストラップ スロットにハンドストラップの端を通します。

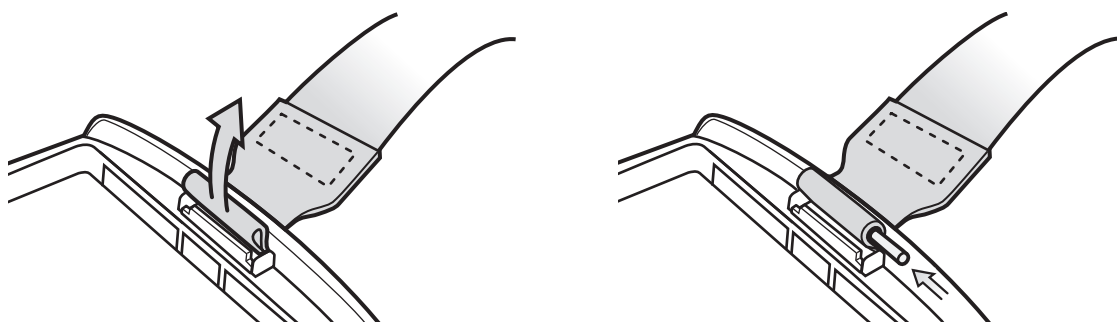


図 1-10 ハンドストラップ スロットにハンドストラップの端を通す

2. ハンドストラップの端にピンをスライドさせて入れます。
 3. ピンがハンドストラップのループの中央に来るようにします。
- ✓ 注 ハンドストラップとピンはハンドストラップ取り付け位置にしっかりとはめてください。ハンドストラップを引っ張る際には、ピンが所定の位置に収まるよう十分な力を加えてください。
4. ピンとハンドストラップの端が取り付け位置にきちんと収まるようにハンドストラップを引っ張ります。

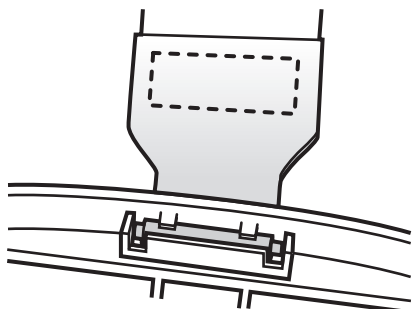


図 1-11 取り付け位置に収まったピンとハンドストラップ

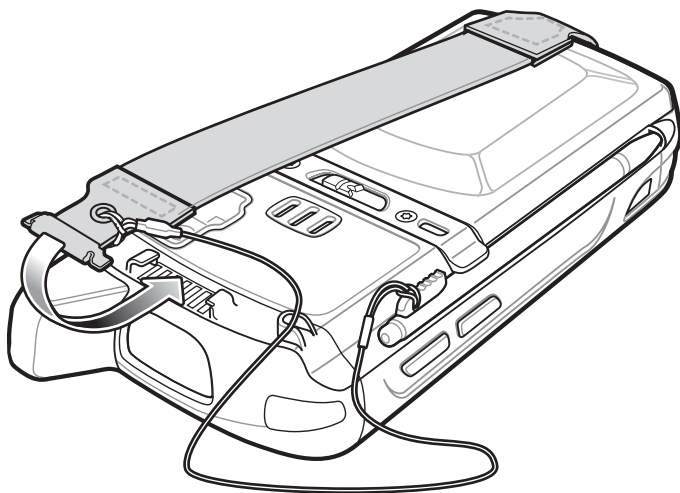


図 1-12 ハンドストラップ マウントにハンドストラップと留め具をスライドさせる

5. 留め具のループをハンドストラップの上にスライドさせます。
6. ハンドストラップ クリップをデバイスのスロットに挿入します。しっかりと固定されていることを確認します。

第2章 MC65 の使用方法

はじめに

ここでは、MC65 のボタン、ステータス アイコン、コントロールについて説明します。また、MC65 のリセット方法、データの入力やキャプチャ方法など、MC65 の基本的な使用方法についても説明します。

特徴

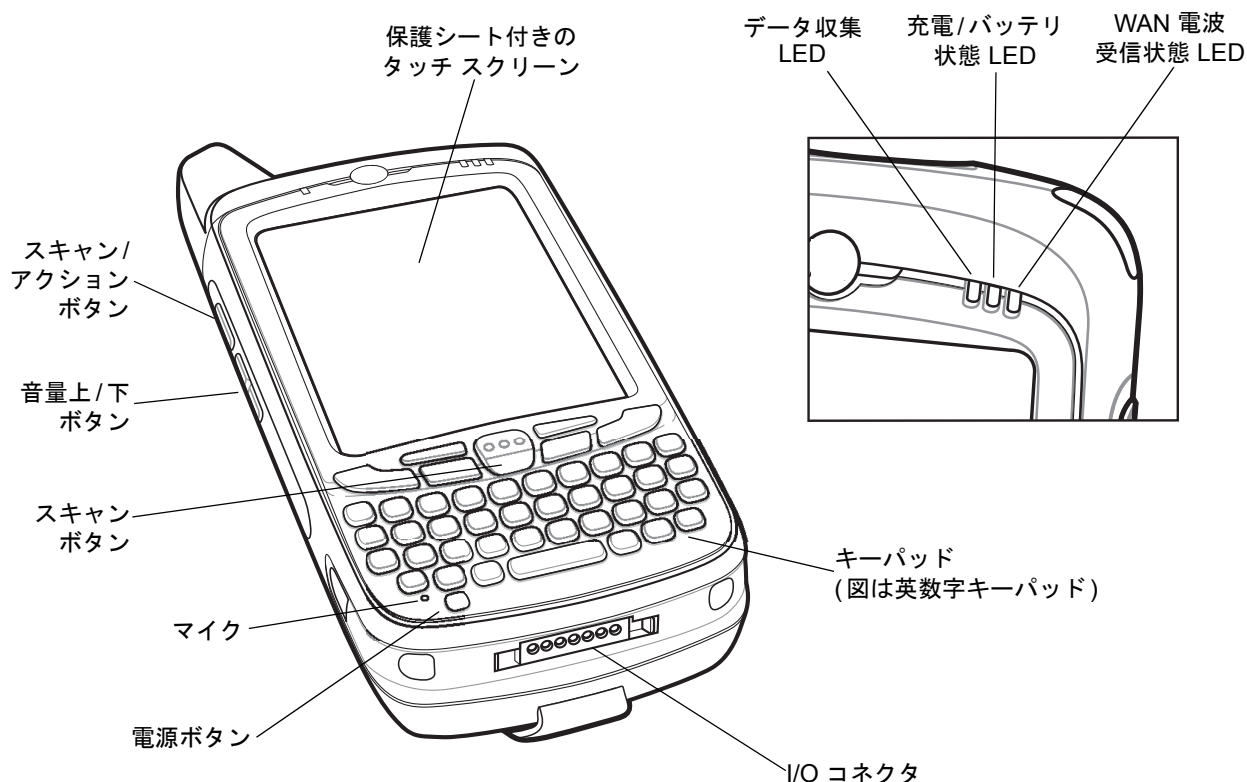


図 2-1 MC65 正面図

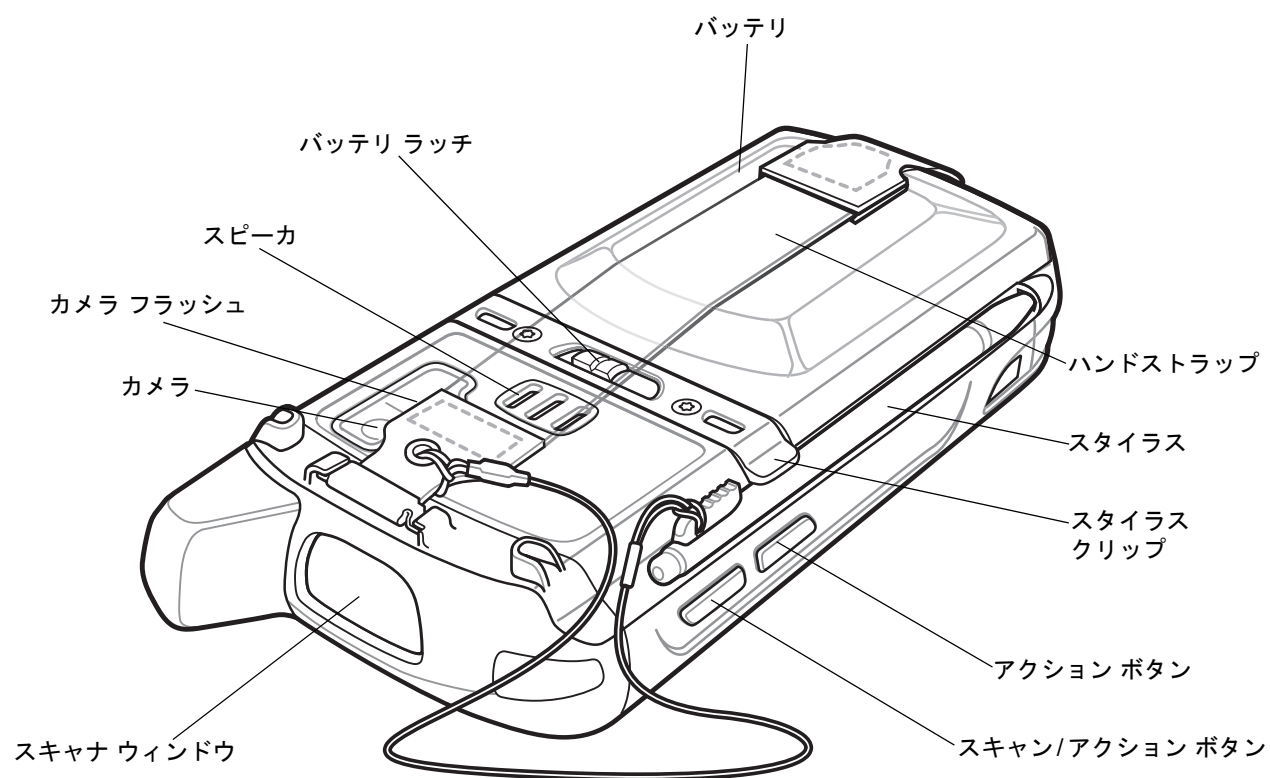


図 2-2 MC65 背面図

機能ボタン

MC65 のボタンは、次の機能を実行します。

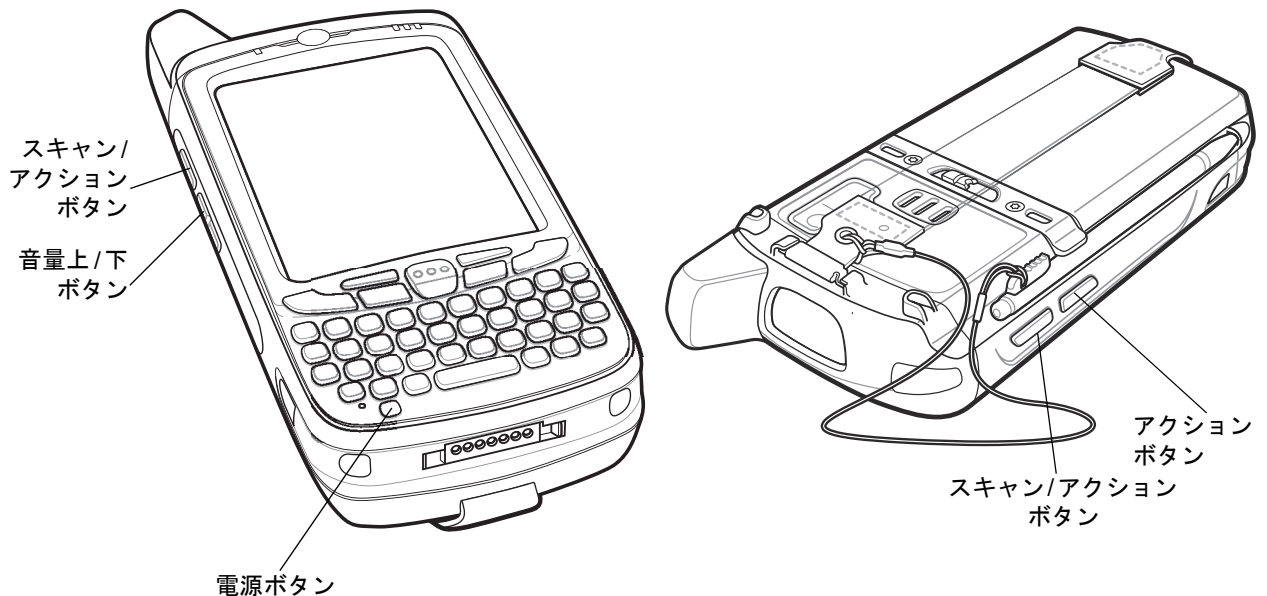


図 2-3 機能ボタン

- **電源:** 赤色の電源ボタンを押すと、MC65 の画面のオン/オフが切り替わります。画面がオフになっている場合、MC65 はサスペンドモードになっています。詳細については、1-6 ページの「MC65 の電源の入れ方」を参照してください。電源ボタンは、MC65 をリセットする際にも使用します。2-20 ページの「MC65 をリセットする」を参照してください。
- **スキャン/アクション:** バーコードをスキャンしたり、画像をキャプチャする場合に押します。2-23 ページの「データ収集」を参照してください。
または、アプリケーションを開いたり、機能を実行する場合に押します。アプリケーションを開くように設定する方法については、『Microsoft® Applications for Mobile 6 User Guide』を参照してください。
- **音量上/下:** MC65 の音量を調節する場合に押します。
- **アクション:** アプリケーションを開いたり、機能を実行する場合に押します。開くアプリケーションの設定方法については、『Microsoft® Applications for Windows Mobile 6 User Guide』を参照してください。

キーボード

MC65 には、数字、QWERTY、AZERTY、QWERTZ、DSD、PIM という 6 種類のキーボード構成があります。

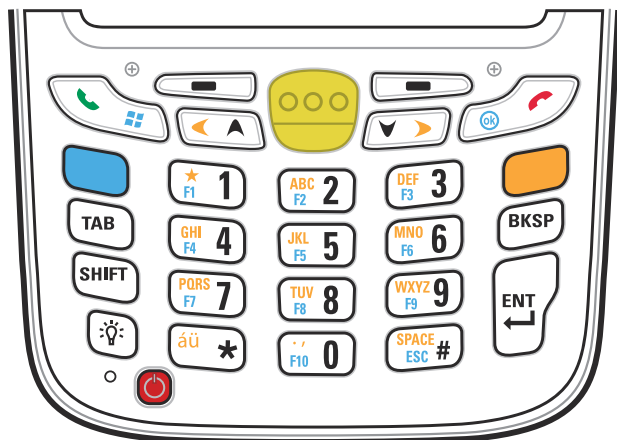


図 2-4 MC65 数字キーボード

キーボード構成の詳細については、[付録 B「キーボード」](#)を参照してください。

指のスクロール

指をスクロールさせると、Web ページ、ドキュメント、一覧 (連絡先、ファイル、メッセージ、予定表など) を上下にスクロールさせることができます。

指でスクロールする場合は、スクリーンを指でスワイプするか、軽くはじきます。

下方向にスクロールするには、指でスクリーンを上方向にスワイプします。上方向にスクロールするには、指でスクリーンを下方向にスワイプします。

自動スクロールするには、指でスクリーンを上方向または下方向に軽くはじきます。スクリーンをタッチすると、スクロールが停止します。

Zebra ホーム画面

カスタマイズ可能な Zebra ホーム画面で、機能やアプリケーションに簡単かつすばやくアクセスできます。また、インターフェースを好みに合わせて変更し、自分用にワークフローを改善したり、現場での業務効率を最大限に向上させたりすることができます。

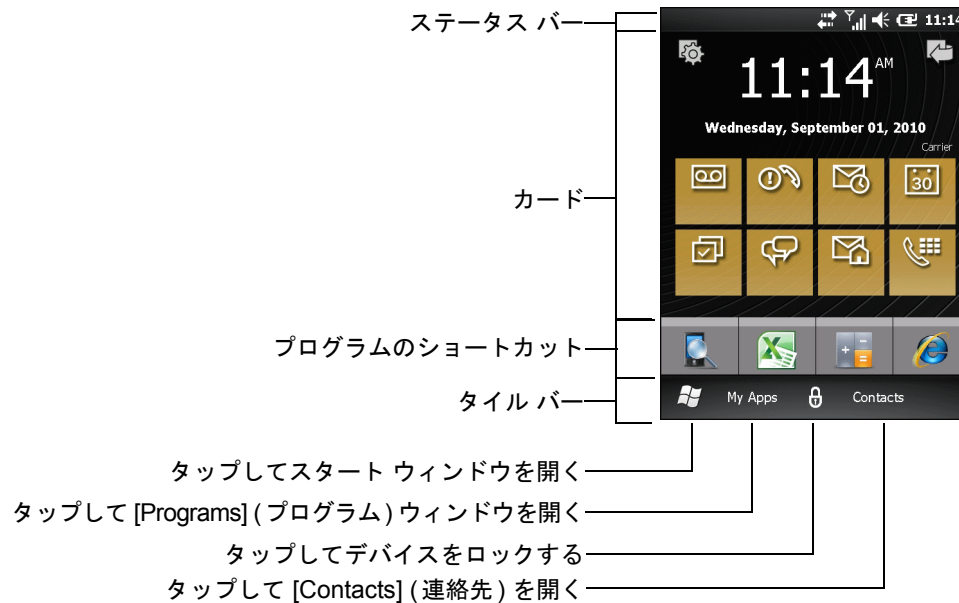


図 2-5 Zebra ホーム画面

画面の上部のステータス バーには、表 2-1 に示しているステータス アイコンが表示されます。ステータス バーをタップすると、デバイス管理ウィンドウが開きます。詳細については、2-12 ページの「デバイス管理」を参照してください。

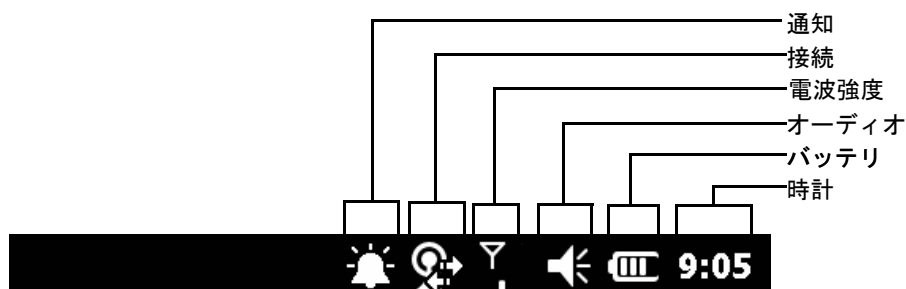



図 2-6 ステータス バーのアイコン

表 2-1 ステータス バーのアイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
通知			
	間近に迫ったカレンダーのイベントのリマインダです。		インスタント メッセージが届いています。
	テキスト メッセージが届いています。		ボイス メッセージが届いています。
	表示しきれない通知アイコンがあります。		Bluetooth 無線がオンになっています。
	電子メール メッセージが届いています。		MMS メッセージを受信しています。
	MMS メッセージを送信しています。		MMS メッセージは問題なく送信されました。
	MMS メッセージは問題なく受信されました。		Microsoft カスタマ フィードバックアララーです。
接続			
	接続がアクティブです。		接続が非アクティブです。
	同期中です。		Wi-Fi を使用できます。
	Wi-Fi 使用中です。		HSDPA を使用できます (GSM のみ)。
	3G を使用できます (GSM のみ)。		GPRS を使用できます (GSM のみ)。
	EGPRS を使用できます (GSM のみ)。		1xRTT を使用できます (CDMA のみ)。
	EVDO Rev.0 を使用できます (CDMA のみ)。		ローミング中です。
WAN			
	不在着信です。		SIM カードが装着されていない状態でダイヤルしました。
	通話中です。		通話を転送しました。
	通話保留中です。		スピーカがオンになっています。
	電話がオンで、電波強度が良好です。		電話がオフです。
	WAN サービスがありません。		WAN サービスを検索しています
	HSDPA 接続中です (GSM のみ)。		HSDPA 使用中です (GSM のみ)。
	3G 使用中です (GSM のみ)。		3G 接続中です (GSM のみ)。
	GPRS 使用中です (GSM のみ)。		GPRS 接続中です (GSM のみ)。
	EGPRS 使用中です (GSM のみ)。		EGPRS 接続中です (GSM のみ)。
	EVDO 使用中です (CDMA のみ)。		EVDO 接続中です (CDMA のみ)。
	SIM カードが装着されていません (GSM のみ)。		

表 2-1 ステータス バーのアイコン (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
オーディオ			
	すべてのサウンドがオンになっています。		すべてのサウンドがオフになっています。
	バイブがオンになっています。		
バッテリー			
	バッテリーを充電中です。		バッテリーがフル充電されています。
	バッテリーの充電残量は十分あります。		メイン バッテリーの充電残量が中程度です。
	メイン バッテリーの充電残量が少なくなっています。		メイン バッテリーの充電残量が非常に少なくなっています。

カード

カードを使用すると、一般的なのタスクをすばやく完了することができます。1 人のエンド ユーザーが使用できるカードの数と種類は、システム管理者またはエンド ユーザー自身が設定できます。デフォルト設定では、MC65 には 4 枚のカードが付属しています。

スクリーンを指で右または左にスワイプすると、隣接するカードが表示されます。

カードは、ホーム画面で順番の変更、削除、追加ができます。詳細については、[第 9 章「Settings \(設定\)」](#)を参照してください。

Simple Home カード

Simple Home カードには、現在の現在の日付と時間、通知が表示されます。



図 2-7 Simple Home カード

Full Home カード

Full Home カードには、現在の日付と時刻、通知機能 (拡張情報付き) が表示されます。

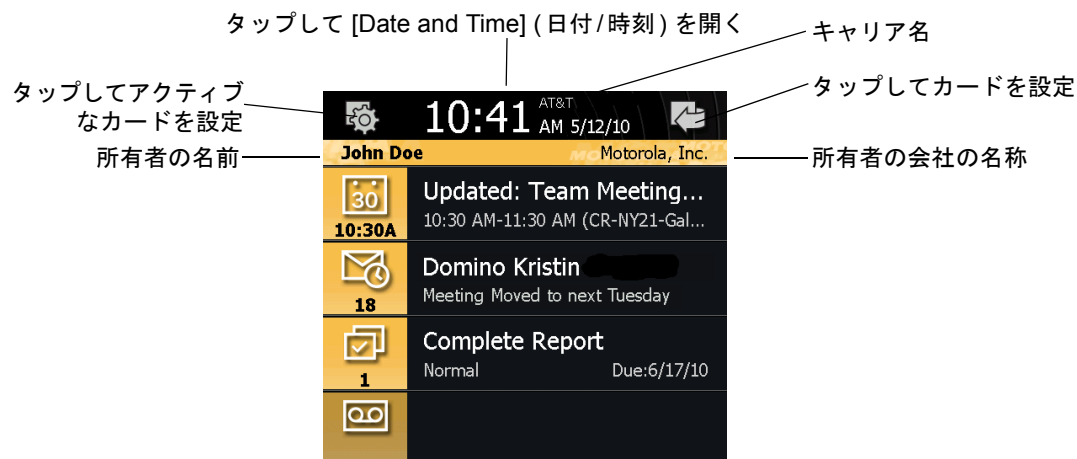


図 2-8 Full Home カード

表 2-2 は、Home カードのショートカット アイコンのリストです。

表 2-2 Home カード アイコン

アイコン	説明
	カレンダー: カレンダーに登録されている次の予定を示します。タップすると、Calendar (カレンダー) アプリケーションが開きます。
	Outlook 電子メール: Outlook メール内の未読の電子メールの数を示します。タップすると、Email (電子メール) アプリケーションが開きます。
	タスク: 未完のタスクの数を示します。タップすると、Task (タスク) アプリケーションが開きます。
	メッセージ: 未読の SMS メッセージと MMS メッセージの数を示します。タップすると、Messaging (メッセージング) アプリケーションが開きます。
	ボイスメール: ボイスメール ボックス内のボイス メッセージの数を示します。
	不在着信: 不在着信の数を示します。
	自宅の電子メール: 個人の電子メール アカウント内の未読電子メールの数を示します。タップすると、Messaging (メッセージング) アプリケーションが開きます。
	通話中ステータス: 通話ステータスを示します。

Weather カード

Weather カードには、選択した都市の天気が表示されます。



図 2-9 Weather カード

Weather カードの設定方法については、9-13 ページの「Weather カード」を参照してください。

Time Tracker カード

Time Tracker カードを使用すると、簡単に作業に費やした時間を記録し、使いやすい形式で情報を出力することができます。

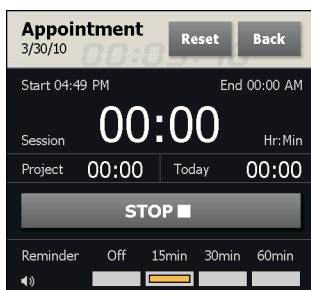


図 2-10 Time Tracker カード

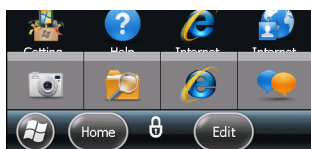
Weather カードの設定方法については、9-13 ページの「Weather カード」を参照してください。

カードの設定

カードは、ホーム画面で順番の変更、削除、追加ができます。詳細については、第 9 章「Settings (設定)」を参照してください。

プログラムのショートカット

プログラム ショートカット ボタンを使用すると、使用頻度の高い 4 つのアプリケーションに簡単にアクセスできます。アイコンをタップすれば、アプリケーションが起動します。プログラム ショートカットの設定方法については、9-9 ページの「プログラムのショートカットのセットアップ」を参照してください。



プログラムのショートカット ボタン

図 2-11 [My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウ

[My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウ

[My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウから、MC65 上のすべてのアプリケーションにアクセスできます。ウィンドウは設定可能ため、希望のアプリケーションを表示させることができます。[My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウの設定方法については、9-9 ページの「[My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウのセットアップ」を参照してください。

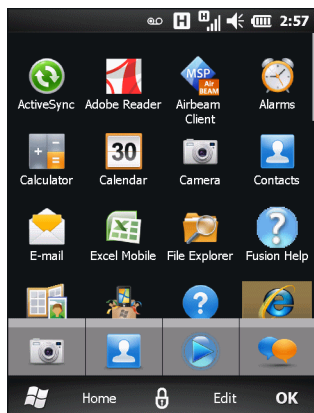


図 2-12 [My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウ

[My Apps] (マイ アプリケーション) スクリーンは設定可能です。詳細については、9-9 ページの「[My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウのセットアップ」を参照してください。

タイル バー


スクリーンの一番下にあるタイル バーには [Start] (スタート) タイル  があり、ここで [Start] (スタート) メニューを開きます。また、開いているアプリケーションにより、異なるタイルが表示されます。



図 2-13 タイル バーの例

表 2-3 [Start] (スタート) メニューで利用できるプログラム

アイコン	説明	アイコン	説明
	ActiveSync - MC65 とホスト コンピュータ または Exchange Server 間で情報を同期します。		AirBEAM Client - これによって従来のお客様はデバイスに AirBEAM Smart™ パッケージを導入できます。
	Alarms (アラーム) - 時計を自分の地域の日時に設定します。また、指定した曜日の時間にアラームを設定します。		Bing - インターネットを検索します。
	Calculator (電卓) - 加算、減算、乗算、除算などの基本的な演算と計算を行います。		Calendar (カレンダー) - 予定を管理したり、会議出席依頼を作成します。
	Contacts (連絡先) - 友人および同僚の連絡先を管理します。		E-mail (電子メール) - 電子メールを送信します。

表 2-3 [Start] (スタート) メニューで利用できるプログラム (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
	File Explorer (ファイル エクスプローラ) - デバイス上のファイルを整理および管理します。		Games (ゲーム) - ゲームをします。
	Getting Started (お使いになる前に) - Getting Started (お使いになる前に) アプリケーションを起動します。		Help (ヘルプ) - オンライン ヘルプ トピックにアクセスします。
	Internet Explorer - Web サイトや WAP サイトを参照したり、インターネットから新しいプログラムやファイルをダウンロードします。		Internet Sharing (インターネット共有) - MC65 のデータ接続を使用して、ノートブック コンピュータをインターネットに接続します。
	Marketplace (マーケットプレイス) - マーケットプレイスからアプリケーションを購入します。		Messenger - モバイル バージョンの Windows Live Messenger を使用します。
	Microsoft My Phone - MC65 の連絡先、カレンダー、タスク、テキスト メッセージ、音楽、写真、ビデオ、ドキュメントを Microsoft My Phone アカウントと同期します。		MSN Money (MSN マネー) - ファイナンスを管理します。
	MSN Weather (MSN 天気予報) - 地域の天気予報を確認します。		MSP Agent - MSP Server から MC65 を管理できます。必要なレベルの管理機能を使用するには、デバイスごとに適切な MSP クライアント ライセンスを購入する必要があります。
	Notes (メモ) - 手書きのメモやタイプしたメモ、図、音声録音を作成します。		Office Mobile 2010 - Excel Mobile、PowerPoint Mobile、OneNote Mobile、SharePoint Workspace Mobile、Word Mobile アプリケーションにアクセスできます。
	Phone (電話) - 電話をかけます。		Pictures & Videos (画像とビデオ) - 画像、アニメーション GIF、ビデオ ファイルを表示および管理します。
	Rapid Deployment Client - MC65 で MSP を使用可能にするために、使用前に設定、ファームウェア、ソフトウェアを展開します。デバイスごとに MSP クライアント ライセンスを購入する必要があります。		Remote Desktop Mobile - Windows NT サーバー環境のコンピュータにログオンして、そのコンピュータで使用可能なすべてのプログラムを MC65 から使用します。
	Search Phone (電話の検索) - MC65 上の連絡先、データ、その他の情報を検索します。詳細については、『Microsoft Applications for Windows Mobile 6 User Guide』を参照してください。		Settings (設定) - [Settings] (設定) フォルダを開きます。詳細については、 第 9 章「Settings (設定)」 を参照してください。

表 2-3 [Start] (スタート) メニューで使用できるプログラム (続き)

アイコン	説明	アイコン	説明
	SMS Staging - MSP Server から SMS メッセージを受信して処理し、それらを基に MC65 でステージングできます。デバイスごとにMSP クライアント ライセンスを購入する必要があります。		Task Manager (タスク マネージャ) - メモリと CPU の割り当てを表示し、実行中のプロセスを停止します。
	Tasks (タスク) - タスクを管理します。		Text (テキスト) - SMS メッセージまたは MMS メッセージを送信します。
	ツールボックス - Adobe Reader 、 StreamingPlayer 、 Voice Commander といったアプリケーションが入っています。		Wireless Companion - [Wireless Companion] フォルダを開きます。
	Windows Live - モバイル バージョンの Windows Live™ を使用して、Web で情報を検索します。		Windows Media - オーディオ ファイルとビデオ ファイルを再生します。
	デモ - Zebra のデモへのリンクを提供します。		デバッグ - RIL Logger と RTLogExport のアプリケーションがあります。Zebra サポート担当者が指示した場合に使用してください。

デバイス管理

デバイス管理ウィンドウを使用すると、MC65 の情報と設定にすばやくアクセスできます。

ステータス バーをタップすると、デバイス管理ウィンドウが開きます。

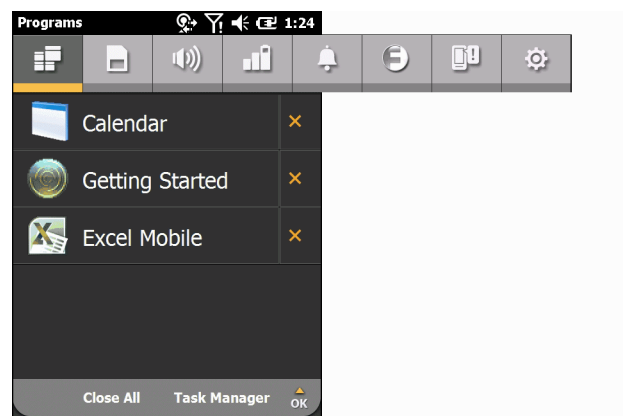


図 2-14 デバイス管理ウィンドウ

ナビゲーション バーには 8 個のタブがあります。

- Programs (プログラム) 
- Memory Manager (メモリ マネージャ) 
- Sound Profiles (サウンド プロファイル) 
- 電源 / 無線 
- Alarms (アラーム) 
- Fusion [Fusion] 
- Status (ステータス) 
- Settings (設定) 

アイコンをタップすると、関連付けられたタブが開きます。左方向または右方向にスクロールすると、その他のアイコンが表示されます。

Programs (プログラム)

[Programs] (プログラム) タブには、MC65 で現在実行中のプログラムのリストが表示され、簡単にプログラムを切り替えたり、プロセスをすばやく終了したりできます。

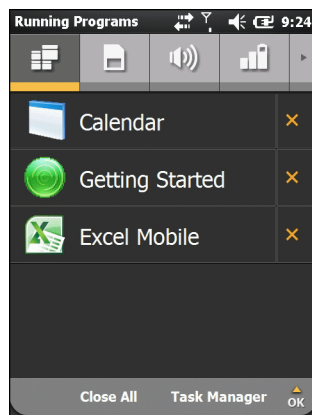


図 2-15 **[Programs] (プログラム) タブ**

- プログラムを切り替えるには、プログラム名をタップします。
- 実行中のプログラムを終了するには、プログラム名の隣の X をタップします。
- 実行中のプログラムをすべて閉じるには、**[Close All] (すべて閉じる)** をタップします。
- **Task Manager (タスク マネージャ)** アプリケーションに移動するには、**[Task Manager] (タスク マネージャ)** をタップします。

メモリ マネージャ

[Memory Manager] (メモリ マネージャ) タブにはメモリの使用状況の概要が表示されるので、メモリ解放が必要かどうか簡単に知ることができます。

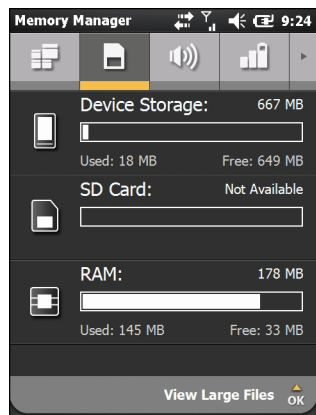


図 2-16 **[Memory Manager] (メモリ マネージャ)** タブ

- Device Storage (デバイス ストレージ) - 使用可能なフラッシュ メモリの総量と現在使用中のフラッシュ メモリの総量を示します。
- SD Card (SD カード) - 使用可能なメモリの総量と現在使用中のメモリの総量を示します。
- RAM - 使用可能な RAM の総量と現在使用中の RAM の総量を示します。

[View Large Files] (大きなファイルの表示) をタップすると、MC65 で特定のバイト数を超過しているファイルが表示されます。

サウンド プロファイル

[Sound Profiles] (サウンド プロファイル) タブを使用すると、サウンド関連のプロファイルに直接アクセスできます。

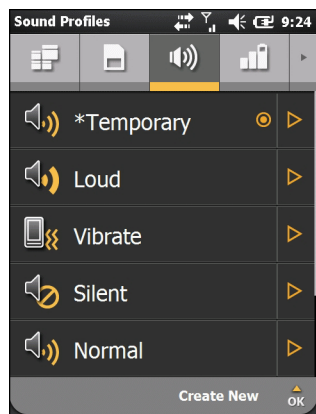


図 2-17 **[Sound Profiles] (サウンド プロファイル)** タブ

プロファイルを選択するには、プロファイル名をタップします。

- **Vibrate (バイブ)** - 着信音のタイプ、リマインダ、通知は [Vibrate] (バイブ) に設定されています。着信音とシステムの音量は 0 (オフ) に設定されています。
- **Silent (サイレント)** - 着信音のタイプ、リマインダ、通知は [None] (なし) に設定されています。着信音とシステムの音量は 0 (オフ) に設定されています。
- **Schedule (スケジュール)** - 予定表の会議が行われている時は、着信音のタイプ、リマインダ、通知は [Vibrate] (バイブ) に設定されます。
- **Normal (ノーマル)** - 着信音のタイプは [Ring] (着信音) に、リマインダは [Vibrate & Sound] (バイブとサウンド) に、通知は [Play Sound] (サウンドの再生) に設定されています。着信音とシステムの音量はレベル 4 に設定されています。
- **Loud (大音量)** - 着信音のタイプは [Vibrate & Ring] (バイブと着信音) に、リマインダと通知は [Vibrate & Sound] (バイブとサウンド) に設定されています。着信音とシステムの音量はレベル 5 に設定されています。
- **Ambient (アンビエント)** - プロファイルの設定は、周囲の環境の音量レベルに基づいて設定されます。

ユーザーが音量ボタンで音量を調節するなど、システム側で変更が行われると、一時プロファイルが作成されます。

サウンド プロファイルの新規作成については、9-5 ページの「サウンド プロファイル」を参照してください。

電源 / 無線

[Power & Radio] (電源/無線) タブには、現在のバッテリー状態が表示されます。このタブから、電源プロファイルと電源/無線関連のオプションに直接アクセスできます。

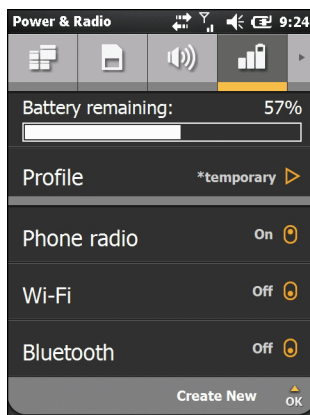


図 2-18 [Power & Radio] (電源/無線) タブ

[Battery remaining] (バッテリー残量) グラフには、バッテリーの残量が棒グラフとパーセンテージで表示されます。

[Profile] (プロファイル) 行には、現在使用中のプロファイルが表示されます。定義済みプロファイルを設定するには、**[Profile] (プロファイル)** をタップします。プロファイルのリストが表示されます。リストからプロファイルを選択します。選択したプロファイルの横にラジオ ボタンが表示されます。リスト内のプロファイルのプロパティを見るには、プロファイル横の **▶** をタップします。

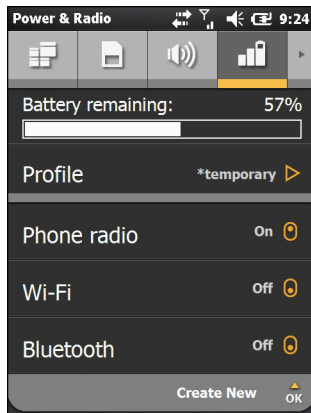


図 2-19 プロファイル ページ

[Back] (戻る) をタップすると、**[Profile] (プロファイル)** タブに戻ります。

ユーザーは、次の設定を手動で変更できます (ディスプレイをスライドさせると、他のオプションも表示されます)。

- Phone radio (電話無線) - 電話無線のオンとオフを切り替えます。
- Wi-Fi - Wi-Fi ラジオのオンとオフを切り替えます。
- Bluetooth - Bluetooth ラジオのオンとオフを切り替えます。
- Device timeout (デバイスのタイムアウト) - MC65 がサスペンド モードになる非アクティブな時間を設定します。
- Backlight (バックライト) - MC65 がサスペンド モードになる非アクティブな時間を設定します。
- Brightness (輝度) - ディスプレイの明るさを設定します。
- ActiveSync Peak time (ActiveSync ピーク時) - MC65 が電子メールとカレンダーのイベントをチェックする間隔を設定します。
- ActiveSync オフピーク時 - MC65 が電子メールとカレンダーのイベントをチェックする間隔を設定します。

プロファイルの新規作成については、9-6 ページの「電源プロファイル」を参照してください。

Alarms (アラーム)

[Alarms] (アラーム) タブで、Windows Mobile のアラームを制御します。

ステータス バー >  をタップします。

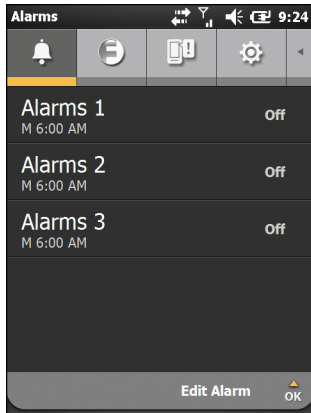


図 2-20 [Alarms] (アラーム) タブ

アラームのオンとオフを切り替えるには、アラームの名前をタップします。

アラームの設定を変更するには、[Edit Alarm] (アラームの編集) をタップします。

アラームの設定については、9-7 ページの「Alarms (アラーム)」を参照してください。

Fusion [Fusion]

[Fusion] タブで、Fusion インタフェースにアクセスできます。

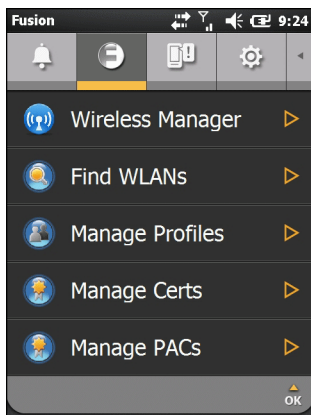


図 2-21 [Fusion] タブ

WLAN の使用方法とセットアップについては、第 4 章「WLAN の使用」を参照してください。

Status (ステータス)

[Status] (ステータス) タブには、システムのすべての通知機能が表示されます。

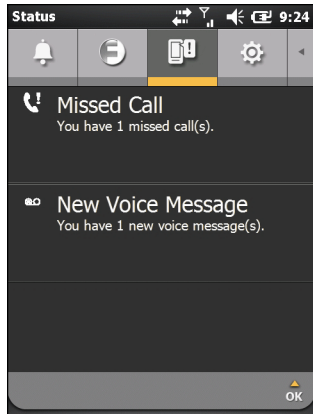


図 2-22 [Status] (ステータス) タブ

通知機能をタップすると、関連情報が読み込まれます。

Settings (設定)

[Settings] (設定) タブには、MC65 に搭載されている Settings (設定) アプリケーションのリストが表示されます。リストの項目をタップすると、関連付けられた Settings (設定) アプリケーションまたはフォルダが開きます。リストをスライドさせると、それ以外の設定アイコンが表示されます。

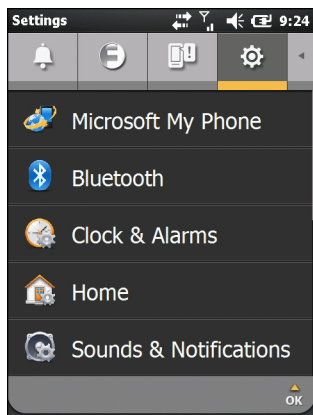


図 2-23 [Settings] (設定) タブ

Settings (設定) アプリケーションのアイコンとその他の説明については、[9-1 ページの表 9-1](#) を参照してください。

音量を調節する

システムの音量を調節するには、次の手順に従います。

1. システムの音量を調節するには、MC65 の右側にある音量ボタンを押します。**[Volume] (音量)** ダイアログボックスが表示されます。
2. 音量を上げたり下げたりすると、それに応じてスライダが動きます。スライダを動かして音量を調節することもできます。
3. **[Vibrate] (バイブ)** ラジオ ボタンを選択して、システムの音声をオフにすると、システムからの通知に対して MC65 がバイブするようになります。
4. **[Off] (オフ)** ラジオ ボタンを選択すると、システムの音声通知機能はすべてオフになります。

バッテリー ステータス表示

Battery (バッテリー) アイコンは、**ステータス バー**に表示され、バッテリー電力の残量を示します。バッテリー電力の残量が定義済みのレベルを下回ると、アイコンによりステータスが示され、バッテリー電力のステータスを示すバッテリー ダイアログ ボックスが表示されます。

メッセージは、**[Dismiss] (消去)** をタップするまで表示されます。**ステータス バー**をタップして、**デバイス管理**ウィンドウを表示することもできます。📶 をタップします。

LED インジケータ

MC65 には、3 つの LED インジケータがあります。データ収集 LED は、スキャンのステータスを示します。充電/バッテリー状態 LED は、バッテリーの残量と状態を示します。電波受信状況 LED は、WWAN 無線通信の状態を示します。[表 2-4](#)で、LED 表示の意味について説明します。

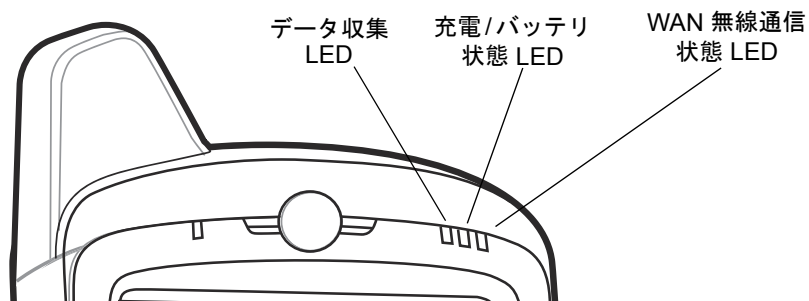


図 2-24 LED インジケータ

表 2-4 LED インジケータ

LED の状態	意味
データ収集 LED	
緑色の点灯	読み取り / 収集が正常に完了しました。
赤色の点灯	レーザは有効になっており、スキャン/イメージングを実行中です。
緑色に点滅	ソフトウェアからの通知を示します。
赤色の点灯 (電源ボタンを押した後)	バッテリー交換のために MC65 を終了しています。
オフ	データ収集が有効になっていません。
充電/バッテリー状態 LED	
黄色でゆっくり点滅	MC65 内のメイン バッテリーを充電中です。
黄色で点灯	MC65 内のメイン バッテリーがフル充電されました。
黄色で速く点滅	充電エラーです。
オフ	充電していません。
WAN 電波受信状態 LED	
緑色でゆっくり点滅	RF (WWAN) 無線通信がオンになっています。
オフ	RF (WWAN) 無線通信がオフになっています。







注 スキャン/読み取りについては、**2-23 ページの「データ収集」**を参照してください。WWAN 無線通信の状態と設定については、**第 3 章「電話をかける」**を参照するか、『MC65 Integrator Guide』を参照してください。

MC65 をリセットする

リセットは、実行中の全プログラムを終了して MC65 を再起動します。フラッシュ メモリやメモリ カードに保存したデータは失われません。

リセットを実行するには、次の手順に従います。

- 数字キーパッドの場合、赤色の電源ボタンと  および  キーを同時に押します。
- 英数字キーパッドの場合、赤色の電源ボタンと  および  キーを同時に押します。

MC65 のロック

キーやスクリーン タップを無効にするか、パスワードを要求することで MC65 をロックし、データのセキュリティを確保できます。デバイスのロックのセットアップについては、**9-4 ページの「MC65 のロック」**を参照してください。

✓ **注** MC65 がロックされている場合でも、緊急通話は行えます。

MC65 をロックすると、必ずロック画面が表示されます。MC65 がロックされても、新着メッセージ、不在着信、および今後の予定についての通知は受け取れます。また、MC65 がロックされていても着信できます。タイムアウトに達したり、手動で MC65 をロックした場合も、MC65 はロックされます。

MC65 を手動でロックするには、ホーム画面のタイル バーの中央にある [Lock] (ロック) アイコンをタップします。

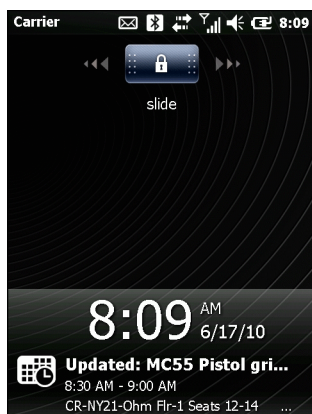






図 2-25 ロック画面

 を画面の右側または左側にドラッグします。

パスワードがセットアップされている場合は、パスワードを入力します。 をタップすると、ロックが解除されてホーム画面、 をタップするとロックが解除されて [Contacts] (連絡先) ウィンドウ、 をタップするとロックが解除されて [Messaging] (メッセージング) ウィンドウが表示されます。

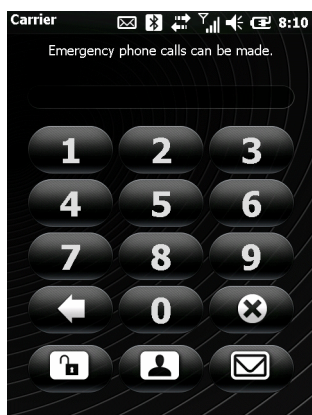


図 2-26 [Password] (パスワード) ウィンドウ

スタイラス

MC65 のスタイラスを使用して、項目を選択したり、情報を入力します。スタイラスはマウスと同様に機能します。

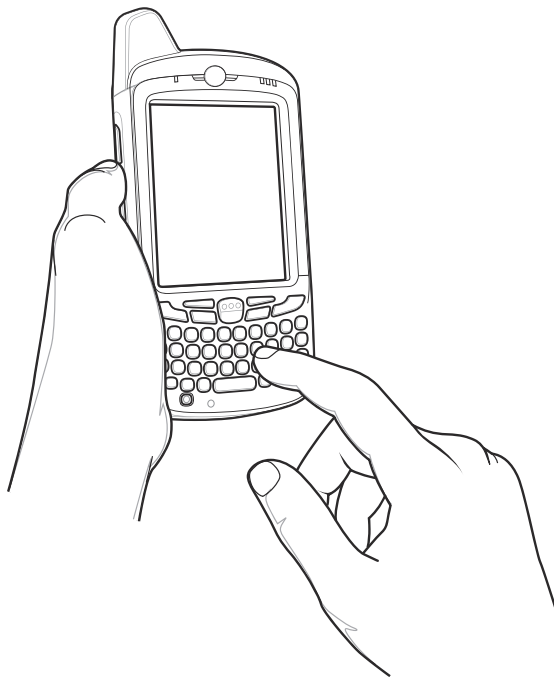
- **タップ:** オプション ボタンを押したり、メニュー項目を開くには、スタイラスでスクリーンを 1 回タッチします。
- **タップして押し続ける:** ある項目で実行可能な操作の一覧を表示するには、スタイラスでその項目をタップして押し続けます。表示されるポップアップ メニューで、実行する操作をタップします。
- **ドラッグ:** テキストや画像を選択するには、スタイラスでスクリーンをタップして、スタイラスを押したままドラッグします。複数の項目を選択するには、リストにドラッグします。



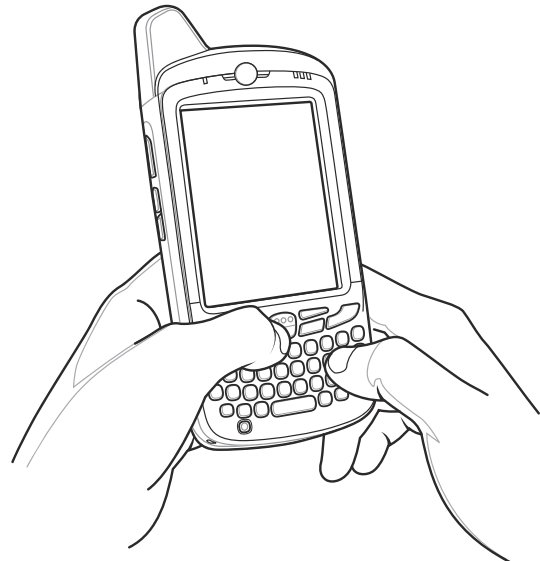
注意 画面を傷めないように、Zebra 製のスタイラス以外は使用しないでください。

データを入力する

キーパッドでデータを入力する際には、片手または両手で入力します (図 2-27 を参照)。



片手での操作



両手での操作

図 2-27 キーパッドでのデータの入力

データ収集

MC65 には、次の 2 種類のデータ収集オプションがあります。

- イメージング
- デジタル カメラ

✓ **注** データ収集を実行するには、スキャン対応アプリケーションが MC65 にインストールされている必要があります。サンプルのスキャン アプリケーションを Zebra Support サイト (<http://www.zebra.com/support>) からダウンロードすることができます。

イメージング

イメージャー搭載の MC65 は、次の機能を備えています。

- 最も一般的なリニア コード、ポスタル コード、PDF417 コード、2D マトリックス コードを含む、各種バーコード シンボルの無指向読み取り。
- 画像を収集して、各種画像処理アプリケーションで処理するためにホストにダウンロードする機能。
- (十字およびドット照準) 容易な読み取り操作を可能にする直感的な高性能半導体レーザ照準機能。

イメージャーは、デジタル カメラの技術を使用してバーコードのデジタル画像を撮影し、画像をメモリに保存して、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からデータを抽出します。

動作モード

統合イメージャー搭載の MC65 は、次の 3 つの動作モードをサポートしています。各モードは、**スキャン** ボタンを押して有効にします。

- **読み取りモード**: このモードでは MC65 は、読み取り幅内にあるバーコードを見つけて読み取ります。スキャン ボタンを押している間、またはバーコードを読み取るまで、イメージャーはこのモードのままになります。

✓ **注** ピック リスト モードを有効にするには、Support Central Web サイト (<http://www.zebra.com/support>) から Control Panel (コントロール パネル) アプレットをダウンロードしてください。ピック リストは、API コマンドを使用してアプリケーション内で設定することもできます。

- **ピック リスト モード**: このモードでは、MC65 の読み取り幅内に複数のバーコードが存在する場合に、選択的にバーコードを読み取ることができます。選択的に読み取るには、目的のバーコードに照準の十字またはドットを合わせて、そのバーコードのみを読み取ります。この機能は、複数のバーコードが含まれているピック リストや、複数のタイプ (1D または 2 D) のバーコードが含まれている製造ラベルや輸送ラベルを読み取るのに適しています。
- **画像読み取りモード**: このモードは、MC65 の読み取り幅内にある画像を読み取るのに使用します。この機能は、署名を収集したり、損傷した箱の画像などを収集するのに便利です。

デジタル カメラ

統合デジタル カメラ搭載の MC65 は、次の機能を備えています。

- 最も一般的なリニア コード、ポスタル コード、PDF417 コード、2D マトリックス コードを含む、各種バーコード シンボルの無指向読み取り。
- 容易な読み取り操作を可能にする直感的な高性能照準機能。

カメラは、デジタル カメラの技術を使用してバーコードのデジタル画像を撮影し、画像をメモリに保存して、先進のソフトウェア読み取りアルゴリズムを実行して画像からデータを抽出します。

スキャン操作に関する考慮事項

通常、スキャン操作は、照準合わせ、スキャン、読み取りなど、すぐに習得可能ないくつかの読み取り試行操作から構成されますが、最適なスキャン効率を実現するためにも次のことを考慮してください。

- 範囲

スキャン デバイスは、特定の読み取り幅 (バーコードからの最小距離と最大距離の範囲内) にある場合に正しく読み取りを行います。この範囲は、バーコードの密度とスキャン デバイスの光学系によって異なります。

範囲内でスキャンすることで、すばやく連続して読み取ることができます。近すぎたり遠すぎたりすると、正しく読み取ることができません。スキャナを近づけたり遠ざけたりして、スキャンするバーコードの適切な読み取り幅を見つけてください。

- 角度

スキャン角度は、すばやく読み取るために重要です。バーコードに当たったレーザ光線が反射してスキャナに直接戻ってくるような角度でスキャンした場合、この正反射によりスキャナは読み取れなくなります。

これを回避するには、光線が正反射しないような角度でバーコードをスキャンしてください。ただし、正しく読み取るためにスキャナは散乱した反射光線を収集する必要があるため、あまりに鋭角な角度ではスキャンしないでください。練習することで、適切な作業範囲をすばやく確認できます。

- 大きなシンボルの場合は、MC65 を離してください。
- バーの間隔が狭いシンボルの場合は、MC65 を近づけてください。



注 スキャン手順は、アプリケーションと MC65 の構成によって異なります。アプリケーションによっては、スキャン手順が上記とは異なる場合があります。

イメージャー スキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。MC65 には、ユーザーがイメージャーでバーコード データをデコードしたり、バーコード コンテンツを表示したりできる、**DataWedge** アプリケーションがあります。

1. DataWedge を有効にします。

- a. **[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [DataWedge]** をタップします。
- b. **[Basic configuration] (基本設定) > [1 Barcode input] (1. バーコード入力) > [1 Block Buster Imager]** をタップします。
- c. **[1 Enabled] (1. 有効)** をタップします。
- d. **[0 Back] (0. 戻る)** をタップします。

- e. **[0 Back] (0. 戻る)**、**[OK]** をタップします。
 - f. **[Running] (実行中)** をタップして、DataWedge プロセスを開始します。DataWedge ステータスが **[Ready] (対応)** に変わります。
 - g. **[OK]** をタップします。
2. **Word Mobile 2010** または **Excel Mobile 2010** などのテキスト入力をサポートするアプリケーションを起動します。
 3. MC65 の上部にあるスキャナ ウィンドウをバーコードに向けます。

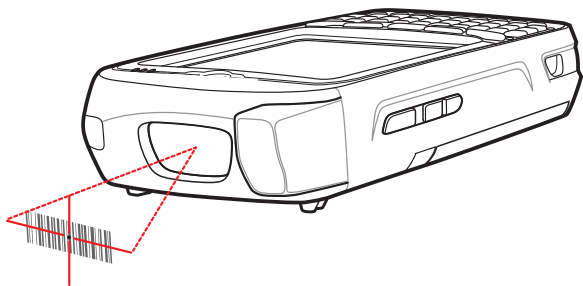


図 2-28 イメージャー スキャン

4. スキャン ボタンを押し続けます。

照準を合わせるための赤色のレーザ照準パターンがオンになります。照準パターンのブラケット内の領域にバーコードが納まっていることを確認します。照準ドットは明るい照明条件下で表示性能を向上するために使用されます。

スキャン/読み取り LED が赤色で点灯し、スキャン中であることを示します。その後、緑色で点灯してピープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。MC65 がピック リスト モードの場合、十字またはドットの照準がバーコードに当たるまでイメージャーはバーコードを読み取りません。



図 2-29 イメージャーの照準パターン: バーコードが中央にある場合



図 2-30 イメージャーの照準パターン: バーコードが中央にない場合



図 2-31 ピック リスト モード: 複数のバーコードが照準パターン内にある場合


5. スキャン ボタンを放します。

✓ **注** イメージャーの読み取りは、通常、瞬時に行われます。精度の悪いバーコードや読み取りづらいバーコードの場合は、スキャン ボタンを押し続けると、デジタル写真 (画像) を撮影する手順が繰り返されます。

6. **DataWedge** を無効にします。
 - a. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) > **[DataWedge]** をタップします。
 - b. **[Running]** (実行中) オプションをタップして、DataWedge プロセスを終了します。DataWedge ステータスが **[Stopped]** (停止) に変わります。
 - c. **[OK]** をタップします。

デジタル カメラによるスキャン

バーコードを読み取るには、スキャン対応アプリケーションが必要です。MC65 には、ユーザーがカメラでバーコード データをデコードしたり、バーコード コンテンツを表示したりできる、**DataWedge** アプリケーションがあります。

1. **DataWedge** を有効にします。
 - a. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) > **[DataWedge]** をタップします。
 - b. **[Basic configuration]** (基本設定) > **[1 Barcode input]** (バーコード入力) > **[2 Camera Scanner Driver]** (2. カメラ スキャナ ドライブ) をタップします。
 - c. **[1 Enabled]** (1. 有効) をタップします。
 - d. **[0 Back]** (0. 戻る) をタップします。
 - e. **[0 Back]** (0. 戻る)、**[OK]** をタップします。
 - f. **[Running]** (実行中) をタップして、DataWedge プロセスを開始します。DataWedge ステータスが **[Ready]** (対応) に変わります。
 - g. **[OK]** をタップします。
2. **Word Mobile 2010** または **Excel Mobile 2010** などのテキスト入力をサポートするアプリケーションを起動します。
3. MC65 の背面にあるカメラのレンズをバーコードに向けます。
4.  を押し続けます。ディスプレイ ウィンドウにプレビュー ウィンドウが表示され、赤い照準ラインが MC65 から照射されます。赤い LED ライトはデータ収集中であることを示します。
5. 赤い照準ラインがバーコード全体を照射するように MC65 を動かします。

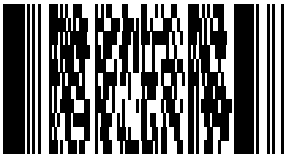


図 2-32 サンプル バーコード

6. LED が緑色で点灯してピープ音が鳴り (デフォルト設定の場合)、バーコードの読み取りが正常に完了したことを示します。
7. バーコード コンテンツ データが、テキスト フィールドに表示されます。
8. **DataWedge** を無効にします。
 - a. **[Start]** (スタート) > **[Settings]** (設定) > **[System]** (システム) > **[DataWedge]** をタップします。
 - b. **[Running]** (実行中) オプションをタップして、DataWedge プロセスを終了します。DataWedge ステータスが **[Stopped]** (停止) に変わります。
 - c. **[OK]** をタップします。

VoIP を使用する

MC65 は Zebra またはサードパーティの音声クライアントを使用して Voice over IP over WLAN (VoWLAN) をサポートします。MC65 では、複数のオーディオ出力 (バック スピーカ電話、前面レシーバ、前面ハンドセット、および Bluetooth ヘッドセットなど) を使用して VoIP による通信が可能です。

音声アプリケーションでは、無線ネットワークに 802.11a (5 GHz) を使用することをお勧めします。5 GHz を使用すると、802.11b/g (2.4 GHz) で無線干渉により発生する可能性があるノイズを避けることができます。

MC65 と VoWLAN で Bluetooth ヘッドセットを使用する場合、必ずハンズフリー プロファイルではなく、Bluetooth Headset (ヘッドセット) プロファイルを使用してください。通話を開始および終了するには、MC65 のボタンを使用します。Bluetooth Headset (ヘッドセット) プロファイルの設定方法については、[第 7 章「Bluetooth の使用」](#)を参照してください。

第3章 電話をかける

はじめに

✓ 注 Windows Mobile Dialer を使用している場合、ダイヤラの詳細については **C-5 ページの「Windows Mobile Dialer」** を参照してください。

MC65 を使用して、電話をかけたり、通話を管理したり、テキスト メッセージを送信したりすることができます。また、無線サービス プロバイダによっては、音声メール、通話転送、発信者 ID などのサービスが提供されていることもあります。

また、セルラー回線を使用して High-Speed Packet Access (HSPA) または Evolution Data-Optimized (EvDO) を経由し、電話から ISP や企業ネットワークに接続して、Web を閲覧したり電子メールを読んだりすることもできます。

電話をかける

✓ 注 MC65 がロックされていたり、無効になっている場合でも、緊急通話は可能です。詳細については、**3-6 ページの「緊急通話」** を参照してください。

MC65 では、電話キーパッド、連絡先、およびコール ログから電話をかけることができます。

電話キーパッドの使用




電話をかけるには、次の手順に従います。



1.  を押します。



図 3-1 Enterprise Dialer

✓ **注** 電話番号を間違えて入力した場合は、[Delete] (削除) キーをタップして、カーソルの後ろにある数字を1つつ消去できます。電話番号全体を消去するには、[Delete] (削除) キーをタップして押したままにします。

1. ダイヤラまたはキーパッドで電話番号を入力します。入力した電話番号は、電話番号欄に表示されます。
2. 緑色の電話番号欄をタップし、 を押します。
3. 通話をキャンセルするには **[Cancel] (キャンセル)** をタップし、MC65 をスピーカ モードにするには **[Speaker] (スピーカ)** をタップします。
4. 電話がつながると、電話番号欄に名前と電話番号が表示されます。通話を保留にするには (GSM/UMTS のみ)、 を押します。通話を再開するには、 をもう一度押します。

✓ **注** 電話番号欄を使用した通話の保留は、有効にすることができます。有効にするには、 >  > **[保留を有効にする]** を押します。アイコンが **[On] (オン)** に切り替わります。

5.  をタップするか、 を押して、通話を終了します。

表 3-1 は、ステータス バーの下および電話番号欄の上に表示される [Phone] (電話) ダイアラ アイコンの一覧です。アイコンは、キャリアやネットワークに応じて変化します。

表 3-1 [Phone] (電話) ダイアラのステータス アイコン

アイコン	説明	アイコン	説明
	Bluetooth ヘッドセットが接続されています。		場所が無効になっています。
	自動転送が有効になっています。		電話のロックが解除されています。
	電話の音声ミュートになっています。		

スマートダイヤル

スマートダイヤルにより、電話番号を容易に入力することができます。数字または文字を入力するときに、スマートダイヤル機能によって自動的に SIM カード上の [Contacts] (連絡先) 内の連絡先エントリ、および [Call Log] (コールログ) (着信、発信、不在着信など) の電話番号が検索され、並び替えられます。その後、その検索結果から、目的の電話番号または連絡先を選択して、ダイヤルすることができます。

発信する電話番号または連絡先に対応する MC65 キーパッドのキーを押します。連絡先パネルに、入力した内容に一致する連絡先が表示されます。

スマートダイヤル機能によって、入力した内容に一致する番号または連絡先の検索が開始されます。

電話番号を検索するには、次の手順に従います。

- [Call History] (通話履歴) で電話番号を探すには、最初の 1 桁または 2 桁を入力します。
- 保存されている [Contacts] (連絡先) および SIM カードから電話番号を探すには、最初の 3 桁以上を入力します。

連絡先名を検索するには、次の手順に従います。

- 連絡先の姓または名前の最初の 1 文字を入力します。スマートダイヤル機能では、その文字を、連絡先名の先頭文字だけではなく、連絡先名のスペース、ハイフン、アンダースコアに続く文字から検索します。
- 検索結果が多い場合は、別の文字を入力して結果を絞り込みます。

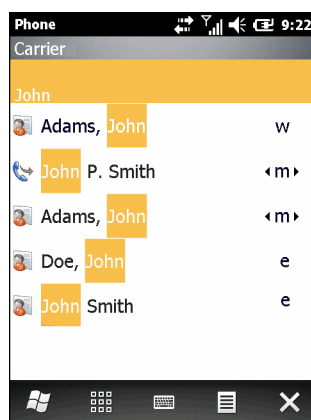





図 3-2 連絡先の検索



スマートダイヤル機能を使用して、電話をかけたり、メッセージを送信するには、次の手順に従います。

1. 目的の番号または文字の先頭から数文字を入力します。
2. **[Smart Dialing] (スマートダイヤル)** パネルで、キーパッドのナビゲーションキーを使用して、目的の連絡先または電話番号に移動します。
3. 目的の連絡先が選択されたら、 を押して音声通話を開始します。
4. 選択されている連絡先にメッセージを送信するには、 > **[Send Text Message] (SMS メッセージの送信)** をタップしてテキストメッセージを送信するか、 > **[Send MMS] (MMS の送信)** タップして MMS メッセージを送信します。
5. 選択されている連絡先に関連付けられている異なる電話番号に電話をかけるには、連絡先名をタップして、電話番号を選択します。

連絡先の使用





連絡先を使用することで、電話番号を探したり入力したりすることなく電話をかけることができます。

連絡先から電話をかけるには、次の手順に従います。

1.  を押します。
2. 電話のショートカットで、 をタップします。
3. 連絡先のリストで、連絡先の名前をタップして押し続けます。
4. **[Call Work] (仕事)**、**[Call Home] (自宅)**、または **[Call Mobile] (携帯電話)** をタップします。

コール ログを使用する



コール ログを使用して電話をかけるには、次の手順に従います。

1.  を押します。
2. 電話のショートカットで、 をタップします。
3. 連絡先または電話番号をタップします。
4. **[SEND] (送信)** をタップするか、 を押します。
5. ダイアル操作や通話を終了するには、**[Cancel] (キャンセル)** をタップするか、 を押します。


短縮ダイヤルを使用する

短縮ダイヤルを使用して電話をかけるには、次の手順に従います。

✓ **注** 短縮ダイヤルを設定するには、**3-11 ページの「短縮ダイヤルの設定」**を参照してください。

1.  を押します。
2. ダイアルパッドで、**[連絡先]** で設定する短縮ダイヤルの数字を押し続けます。
3. ダイアル操作や通話を終了するには、**[キャンセル]** をタップするか、 を押します。


前回の通話ダイヤル

前回受けた、またはかけた電話番号に電話をかけるには、 を 2 回押します。

✓ 注 前回の通話ダイヤルを無効にするには、 >  > **[前回の通話ダイヤル]** を押します。アイコンが **[Off] (オフ)** に切り替わります。

電話に応答する






着信すると、MC65 にダイアログ ボックスが表示されます。呼び出し音が鳴るように設定されている場合は、呼び出し音が鳴ります。着信に応答するか無視します。

着信に応答するには、**[Answer] (応答)** をタップするか、 を押します。

着信を無視するには、**[Ignore] (無視)** をタップします。サービス プロバイダによっては、この操作により、発信者が音声メールに接続されます。それ以外の場合は、発信者に話中音が流れます。


 をタップするか、 を押して、通話を終了します。

着信機能

- 通話中に MC65 で他のプログラムを使用することができます。[Phone] (電話) に戻るには、 を押します。通話を終了するには、 を押します。
- 現在の通話を保留にして、待機中の着信に応答するには、**[Answer] (応答)** をタップします。
- GSM/UMTS で通話を保留にして別の番号に電話をかけるには、電話番号欄をタップするか、 を押します。
- CDMA で通話を保留にして別の番号に電話をかけるには、電話番号を入力してから  を押します。
- 通話を切り替えるには、電話番号欄をタップするか、 を押します。

不在着信通知

着信に応答しなかった場合、ホーム画面に **[Missed Call] (不在着信)** アイコンが表示されます。

不在着信エントリを表示するには、ホーム画面で  をタップします。

緊急通話

サービス プロバイダは、あらゆる状況下で通話可能な 1 つまたは複数の緊急電話番号 (911 や 999 など) を用意しています。この番号には、電話がロックされている場合や SIM カードが装着されていない場合、電話が有効でない場合でも電話をかけることができます。サービス プロバイダは、追加の緊急番号を SIM カードに設定することができます。ただし、SIM カードに保存されている番号を使用するには、MC65 に SIM カードが装着されている必要があります。詳細については、サービス プロバイダにお問い合わせください。

キーパッドがロックされている場合は、オレンジ キーを 2 回押して、キーパッドを数字モードに切り替えて、緊急番号を入力します。

音声モード

MC65 は、3 つの通話音声モードを備えています。

- **ハンドセット モード:** MC65 の前面上部にあるレシーバから音声が出力され、MC65 をハンドセットとして使用できます。これがデフォルトのモードです。
- **スピーカ モード:** MC65 をスピーカホンのように使用できます。このモードにするには、**[Speaker]** (スピーカ) をタップします。ハンドセット モードに戻すには、再度 **[Speaker]** (スピーカ) をタップします。
- **ヘッドセット モード:** Bluetooth ヘッドセットを接続すると、自動的に音声出力がヘッドセットに切り替わります。

MC65 のデフォルトのモードは、ハンドセット モードです。Bluetooth ヘッドセットが MC65 で使用できるように設定されていれば、イヤープースとスピーカフォンはミュートになり、音声はヘッドセットから出力されます。

Bluetooth ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、Bluetooth ヘッドセットを使用して音声通信を行うことができます。Bluetooth ヘッドセットを MC65 に接続する方法については、[第 7 章「Bluetooth の使用」](#)を参照してください。ヘッドセットを装着する前に、MC65 の音量を適切に調節します。Bluetooth ヘッドセットを接続すると、スピーカはミュートになります。

音量の調節

通話していないときの呼び出し音、および通話中の音声の音量を調節するには、音量ボタンを使用します。



注 通話音量は、通話中に調節してください。通話していないときに音量を調節すると、呼び出し音および通知音の音量が変わります。

通話をミュートする

通話中にマイクをミュートにして、相手の声は聞こえるが、こちらの声は聞こえないようにすることができます。この機能は、こちら側で会話しているときや騒音が激しい場合に便利です。

通話のミュート/ミュート解除を切り替えるには、ダイヤラで **[Mute]** (ミュート) をタップして、音声をミュートにします。**[Mute]** (ミュート) ボタンは黄色になります。

コール ログを使用する

[Call Log] (コール ログ) を使用して、最近通話を行った相手に電話をかけることができます。**[Call Log]** (コール ログ) には、すべての通話 (着信、発信、不在着信) の発着信時間が表示されます。表 4-1 に、**[Call Log]** (コール ログ) ウィンドウに表示される Call Log (コール ログ) アイコンを示します。







[Call Log] (コール ログ) ウィンドウを開くには、 を押してから  をタップします。



図 3-3 [Call Log] (コール ログ) ウィンドウ

表 3-2 コール ログ アイコン

アイコン	説明
	すべての発信の連絡先情報の横に表示されます。
	すべての着信の連絡先情報の横に表示されます。
	すべての未接続の発信の連絡先情報の横に表示されます。
	すべての不在着信の連絡先情報の横に表示されます。

コール ログの管理

表示を変更したり、通話タイマーをリセットしたり、通話を削除するなど、[Call Log] (コール ログ) に保存されている通話を管理することができます。

[Call Log] (コール ログ) メニューの使用

[Call Log] (コール ログ) メニューでは、通話、SMS の送信、連絡先の追加、ログの削除を行います。

1.  を押し、 をタップします。

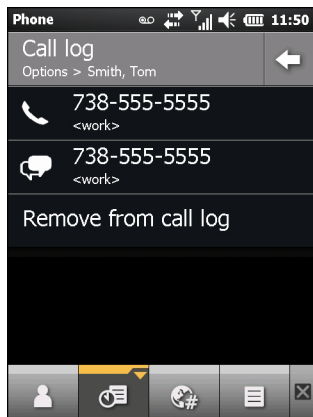


図 3-4 [Call Log] (コール ログ) ウィンドウ




2. 項目をタップしてその番号に電話をかけるか、▶ をタップして [Options] (オプション) ウィンドウを開きます。
3. メニューから該当するオプションを選択します。
4. 選択したオプションに応じて、適切なウィンドウが表示されます。たとえば、[Text Messages] (テキストメッセージ) ウィンドウを表示するには、[SMS] を選択します。
5. ◀ をタップして [Options] (オプション) ウィンドウを閉じます。

Conference Calling (会議通話)

✓ 注 GSM/UMTS ネットワーク向けです。

一部のサービスでは、Conference Calling (会議通話) 機能を使用できないことがあります。また、会議通話の数が異なることがあります。Conference Calling (会議通話) 機能を使用できるかどうかについては、サービス プロバイダにお問い合わせください。

複数の相手との会議通話セッションを確立するには、次の手順に従います。

1.  を押して、ダイヤラを表示します。
2. 最初の電話番号を入力して、電話番号欄をタップします。電話がつながると、電話番号欄に名前と電話番号が表示されます。
3.  をタップします。
4.  をタップします。ダイヤラが再表示されます。
5. 2 番目の番号を入力して、[Send] (送信) をタップします。
6. 電話がつながると、最初の通話が保留になり、2 番目の通話が有効になります。

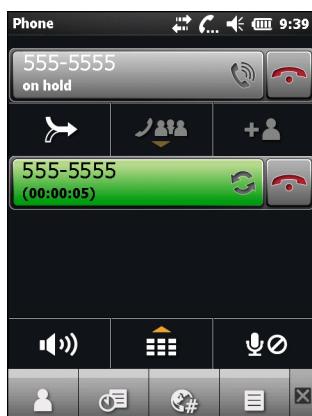



図 3-5 2つの通話

7. 電話番号欄 1 をタップして、最初の通話を有効にします。2 番目の通話が保留になります。
8.  をタップして、会議通話 (3 者通話) を確立します。

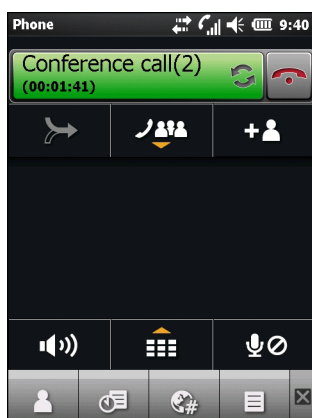



図 3-6 2つの通話の結合

9. 3 番目の相手を追加するには、 をタップします。ダイヤラが表示されます。電話がつながると、新しい通話が有効になり、会議が保留になります。

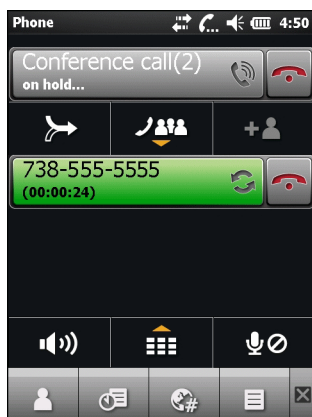



図 3-7 3 番目の通話の追加

10. 新しい通話先相手を会議に追加するには、 をタップします。

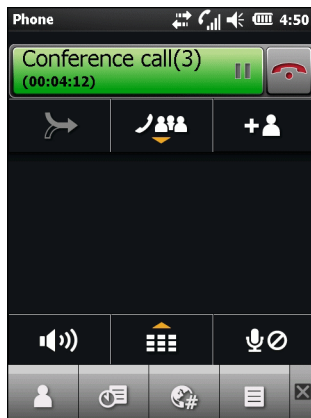



図 3-8 3 者通話

11.  をタップして、すべての通話先相手を表示します。

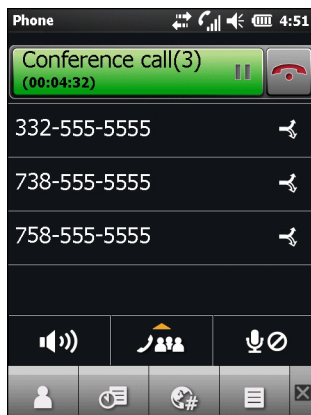







図 3-9 通話の結合解除

12. 通話先相手を会議から削除するには、通話先相手をタップし、通話先相手の横の  をタップするか、 を押します。

13. 会議通話を終了するには、電話番号欄の横の  をタップするか、 を押します。

[通話 終了] 画面が表示され、ダイヤラが表示されます。


- ✓ 注 会議通話で 1 人の相手と 2 人だけで話すには、 をタップし、通話先相手の横の  をタップします。すべての通話先相手を再度参加させるには、 をタップします。

3 者通話を行う

✓ 注 CDMA ネットワーク向けです。

3 者通話は、一部のサービスでは利用できない場合があります。利用できるかどうかについては、サービスプロバイダにお問い合わせください。

3 者通話では、同時に 2 人に話すことができます。この機能の使用中は、2 つの通話それぞれに通常の通信料金ががかかります。

1. 電話番号を入力し、 を押します。
2. 接続が確立されたら、電話番号を入力または選択し、**[Flash] (フラッシュ)** をタップします。
3. 2 番目の相手に接続したら、**[Flash] (フラッシュ)** をタップして、3 者通話を開始します。




通話中に 1 人が電話を切った場合、残りの 2 人が接続された状態になります。通話を開始した発信者が最初に電話を切ると、すべての通話先相手が切断されます。

短縮ダイヤルの設定

短縮ダイヤルを作成すると、頻繁に電話する番号を 1 回タップするだけでダイヤルできるようになります。短縮ダイヤル エントリを作成する前に、電話番号が **[連絡先]** に存在することを確認してください。




短縮ダイヤル エントリの追加

電話キーパッドで短縮ダイヤル エントリを追加するには、次の手順に従います。

1. 連絡先と電話番号が **[連絡先]** に存在することを確認します。
2.  >  を押します。
3. リスト内の目的の連絡先名をタップします。
4.  > **[短縮ダイヤルに追加]** をタップします。
5. **[場所]** ドロップダウン リストで、新しい短縮ダイヤル エントリとして割り当てる場所を選択します。1 番目の短縮ダイヤルの場所は、音声メール用に予約されています。
6. **[OK]** をタップして、連絡先を短縮ダイヤル リストに追加します。
7. **[OK]** をタップして **[Edit Contacts] (連絡先の編集)** ウィンドウを閉じます。
8. **[OK]** をタップして **[連絡先]** ウィンドウを閉じます。





短縮ダイヤル エントリの編集

短縮ダイヤル エントリを変更するには、次の手順に従います。

1.  >  を押します。
2. リスト内の目的の連絡先名をタップします。
3.  > **[Edit Speed Dial] (短縮ダイヤルの編集)** をタップします。
4. **[場所]** ドロップダウン リストで、新しい短縮ダイヤル エントリとして割り当てる別の場所を選択します。
1 番目の短縮ダイヤルの場所は、音声メール用に予約されています。
5. **[OK]** をタップして、短縮ダイヤル リストを変更します。
6. **[OK]** をタップして **[Edit Contacts] (連絡先の編集)** ウィンドウを閉じます。
7. **[OK]** をタップして **[連絡先]** ウィンドウを閉じます。

短縮ダイヤル エントリの削除

短縮ダイヤル エントリを削除するには、次の手順に従います。

1.  >  を押します。
2. リスト内の目的の連絡先名をタップします。
3.  > **[Edit Speed Dial] (短縮ダイヤルの編集)** をタップします。
4.  をタップします。
5. **[はい]** をタップして、短縮ダイヤル エントリを完全に削除します。

✓ **注** **[Speed Dial] (短縮ダイヤル)** から名前や電話番号を削除しても、**[連絡先] ([スタート] > [連絡先])** の連絡先情報は削除されません。

6. **[OK]** をタップして **[Edit Contacts] (連絡先の編集)** ウィンドウを閉じます。
7. **[OK]** をタップして **[連絡先]** ウィンドウを閉じます。

ボイス コマンダー

ボイス コマンダーは、MC65 とシームレスに通信を行うための自然なヒューマン インタフェースを提供する音声ダイアログ システムです。通話、連絡先情報の検索、プログラムの起動、予定表の確認を行うことができます。ボイス コマンダーの機能は、以下のとおりです。

- 視覚的および身体的な障害に対応する音声による命令および制御
- トレーニング不要で、話し手に依存しない音声認識技術
- 使いやすい対話型のユーザー インタフェース
- Personal Voice Tag (個人用音声タグ) と Digit Model Adaptation (ディジット モデルの適合) でユーザビリティを強化

ボイス コマンダーを開始するには、[Start] (スタート) > [Toolbox] (ツールボックス) > [Voice Commander] (ボイス コマンダー) の順にタップするか、Bluetooth ヘッドセットの通話ボタンを押します。「Say a Command」(コマンドを音声で伝えてください) と指示されたら、次のいずれかのコマンドを伝えます。

- Call (通話)
- Find (検索)
- Redial/Callback (再ダイヤル/コールバック)
- Play Music (音楽の再生)
- Play (再生)
- Next/Previous (次へ/前に戻る)
- Start (スタート)
- Appointments (予定)
- Read/Call History (読み取り/通話履歴)
- What time is it? (今何時ですか?)
- What can I say? (ヘルプを表示する)
- Goodbye (さようなら)

Call (通話)

通話先相手を名前で呼び出すには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください) と指示されます。
2. 「Call Michael Archer」(Michael Archer に電話をかける) と伝え、「Call Michael Archer work, is it correct?」(Michael Archer の職場に電話をかけます。よろしいですか?) と尋ねられます。
3. 「Yes」(はい) と答えると、「Dialing」(ダイヤルしています) という応答があります。

通話先相手を場所で呼び出すには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください) と指示されます。
2. 「Call Mary Smith at home」(Mary Smith の自宅に電話をかける) と伝え、「Call Mary Smith home, is it correct?」(Mary Smith の自宅に電話をかけます。よろしいですか?) と尋ねられます。
3. 「Yes」(はい) と答えると、「Dialing」(ダイヤルしています) という応答があります。

複数の電話番号で通話先相手に電話をかけるには、次の手順を実行します。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください) と指示されます。
2. 「Call Alex Jordan」(Alex Jordan に電話をかける) と伝え、「Call Alex Jordan, home, work, mobile or cancel?」(Alex Jordan に電話をかけます。自宅、職場、携帯電話、またはキャンセルを選択してください) と指示されます。
3. 「Home」(自宅) と答えると、「Dialing」(ダイヤルしています) という応答があります。

2 人の名前が似ている場合、次の手順に従います。

1. **ボイス コマンダー**を開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「Call Halley Johnson」(Halley Johnson に電話をかける)と伝え、と、「More than one Halley Johnson, please select」(複数の Halley Johnson がいます。選択してください)と指示されます。
3. 電話をかけたい通話先相手を選択します。

✓ **注** **ボイス コマンダー**では、自動的に最大 2000 件の連絡先が認識データベースに保存されます。この設定を変更するには、**9-19 ページの「連絡先の設定」**を参照してください。

ボイス コマンダーでコマンドを認識できない場合、「Please say again」(もう一度言ってください)と指示されます。これは、騒音の多い環境や**ボイス コマンダー**で録音が始まる前にコマンドを伝えた場合によく起こります。「Say Command」(コマンドを音声で伝えてください)と指示された後、1～2 秒経ってからコマンドを伝えるようにしてください。

認識可能な連絡先の長さは 48 文字です。48 文字を超える連絡先は無視されます。

検索

連絡先の情報を検索するには、次の手順を実行します。

1. **ボイス コマンダー**を開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「Find Mary Smith」(Mary Smith を探す)と伝え、と、「Mary Smith home 5555551212」(Mary Smith の自宅は 5555551212 です)という答が返ってきます。

特定の電話番号を検索するには、次の手順を実行します。

1. **ボイス コマンダー**を開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「Find Michael Archer at work」(Michael Archer の職場を探す)と伝え、と、「Michael Archer, work, 5555551212」(Michael Archer の職場は 5555551212 です)という答が返ってきます。

連絡先の 2 人の名前が似ている場合、次の手順を実行します。

1. **ボイス コマンダー**を開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「Find Halley Johnson at work」(Halley Johnson の職場を探す)と伝え、と、「More than one Halley Johnson, please select」(複数の Halley Johnson がいます。選択してください)と指示されます。**ボイス コマンダー**のウィンドウに 2 人の連絡先が表示されます(選択可能な連絡先には、Halley Johnson と Haley Johnson の 2 人が表示されます)。

連絡先が見つからない場合、次の手順に従います。

1. **ボイス コマンダー**を開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「Find Michael Archer at home」(Michael Archer の自宅を探す)と伝えます。
3. 「Michael Archer has no home number」(Michael Archer の自宅の電話番号はありません)という答が返ってきます。

Redial (再ダイヤル)

以前かけた番号に再ダイヤルするには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください) と指示されます。
2. 「Redial」(再ダイヤルする) と伝え、「Call Mary Smith at home, is it correct?」(Mary Smith の自宅に電話します。よろしいですか?) と尋ねられます。
3. 「Yes」(はい) と答え、「Dialing」(ダイヤルしています) という応答があります。

Callback (コールバック)

1. ボイス コマンダーを開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください) と指示されます。
2. 「Callback」(コールバック) と伝え、「Call Mary Smith at home, is it correct?」(Mary Smith の自宅に電話します。よろしいですか?) と尋ねられます。
3. 「Yes」(はい) と答え、「Dialing」(ダイヤルしています) という応答があります。

Start (スタート)

アプリケーションを開始するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください) と指示されます。
2. 「Start calendar」(カレンダを開始する) と伝え、「Go to Calendar」(カレンダに移動します) という応答があります。**Calendar (カレンダ)** アプリケーションが開始します。

Appointments (予定)

今日、明日、または今週の予定を把握するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください) と指示されます。
2. 「Today's appointment」(今日の予定) と伝え、「You have 3 appointments」(3 つの予定があります) という応答があります。

✓ 注 「Previous」(前へ)、「Next」(次へ)、「Repeat」(繰り返し)、「Abort」(中止) などのコマンドを使うと、カレンダの読み取りを制御することができます。ボイス コマンダーは新しい予定のみ再生します。古い予定は無視されます。

Read (読み取り)

テキスト メッセージまたは電子メール メッセージを読み取るには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください) と指示されます。
2. 「Read SMS」(SMS を読み取る) と伝え、「You have 3 SMS」(3 つの SMS があります) という応答があり、SMS メッセージが読み上げられます。

What time is it? (今何時ですか?)

時間を調べるには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください) と指示されます。
2. 「What time is it?」(今何時ですか?) と伝えると、「The time is 3 p.m」(今は午後 3 時です) という応答があります。

Call History (通話履歴)

[Call History] (通話履歴) ウィンドウを表示するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください) と指示されます。
2. 「Call History」(通話履歴) と伝えると、「Dialing」(ダイヤルしています) という応答があります。
3. [Call History] (通話履歴) ページが表示されます。

Play Music (音楽の再生)

特定の音楽ファイルを再生するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください) と指示されます。
2. 「Play The Moment」(The Moment を再生する) と伝えると、「The Moment」 という応答があります。
3. Windows Media で The Moment が再生されます。

すべての音楽ファイルを再生するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください) と指示されます。
2. 「Play music」(音楽を再生する) と伝えると、「Play music」(音楽を再生します) という応答があります。
3. Windows Media ですべての音楽ファイルが再生されます。

再生中に別の音楽ファイルを再生するには、次の手順に従います。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください) と指示されます。
2. 「Next」(次へ) と伝えると、「Next」(次を再生します) という応答があります。
3. Windows Media で次の音楽ファイルが再生されます。

再生中の音楽ファイルを一時停止したり、再開したりするには、次の手順を実行します。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください) と指示されます。
2. 「Pause」(一時停止) または「Resume」(再開) と伝えると、再生中の音楽が一時停止または再開されます。



注 「Pause」(一時停止) や「Resume」(再開) などのコマンドを使うと、音楽の再生を制御できます。「Resume」(再開) は Windows Media の実行時のみに使用できます。「Previous」(前へ) と「Next」(次へ) は、すべての音楽ファイルの再生時のみに使用できます。

ボイス コマンダーでは、.mp3 形式および .wma 形式のメディア ファイルのみがサポートされます。ボイス コマンダーでは、再生リスト内の音楽ファイルや、**[My Documents]** とそのサブフォルダ、または microSD カードとそのサブフォルダにある、Active Sync で同期されたメディア ファイルがサポートされます。

What can I say (ヘルプを表示する)

ヘルプ情報を表示するには、次の手順を実行します。

1. ボイス コマンダーを開始すると、「Say command」(コマンドを音声で伝えてください)と指示されます。
2. 「What can I say」(ヘルプを表示する)と伝えると、ヘルプ ファイルが表示されます。

または、[Menu] (メニュー) > [Help] (ヘルプ) をタップして、ヘルプ ファイルを開きます。

Goodbye (さようなら)

ボイス コマンダー アプリケーションを終了するには、「Goodbye」(さようなら)と伝えます。「Goodbye」(さようなら)という応答があり、アプリケーションが終了します。

ボイス コマンダーは、[Menu] (メニュー) > [Exit] (終了) の順にタップして、手動で終了することもできます。音声数字ダイヤル操作中は、「Goodbye」(さようなら) コマンドは使用できません。

✓ 注 10 秒間無音状態が続いた後、ボイス コマンダーは終了します。

第 4 章 WLAN の使用

はじめに


WLAN を使用すると、MC65 で屋内でも無線で通信できるようになります。WLAN で MC65 を使用するには、WLAN を実行するために必要なハードウェア (インフラストラクチャとも呼ばれる) を施設に設定する必要があります。この通信を有効にするには、インフラストラクチャと MC65 を正しく設定する必要があります。

インフラストラクチャの設定方法については、インフラストラクチャ (アクセス ポイント (AP)、アクセス ポート、スイッチ、Radius サーバーなど) に付属しているマニュアルを参照してください。

インフラストラクチャを設定し、選択した WLAN セキュリティ方式を適用したら、Fusion ソフトウェアまたは Wireless Zero Config (WZC) ソフトウェアを使用して、有効な WLAN を検索できるように MC65 を設定してください。

Fusion の概要

Fusion ソフトウェアには、無線プロファイルを作成するアプリケーションが含まれています。各プロファイルでは、ESSID で識別された特定の WLAN に接続するためのセキュリティ パラメータを指定します。また、Fusion ソフトウェアでは、一連のプロファイルの中から接続に使用するプロファイルを管理することもできます。その他の Fusion アプリケーションでは、現在の WLAN の接続ステータスを監視し、トラブルシューティングのための診断ツールを起動することができます。

Fusion にアクセスするには、**ステータス バー**の  をタップします。

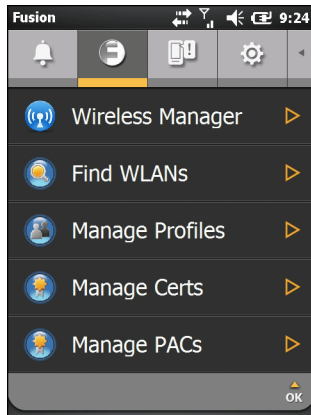



図 4-1 ステータス - Fusion タブ

Fusion の使用方法と設定の詳細については、『Wireless Fusion Enterprise Mobility Suite User Guide for Version 3.20』を参照してください。

オンデバイスの Fusion ヘルプにアクセスするには、ステータス バー >  > [Help] (ヘルプ) の順にタップします。

インターネットとの接続

Fusion を使用して WLAN でインターネットと接続するには、ネットワーク カードをインターネットに対して次のように設定します。


1. Fusion が有効になっており、プロファイルが設定されていることを確認します。
2. [スタート] > [設定] > [接続] > [Wi-Fi] をタップします。
3. [My network card Connects to] (マイ ネットワーク カードの接続先) ドロップダウン リストの [The Internet] (インターネット) を選択します。
4. [OK] をタップします。

Wireless Zero Config の概要

WZC は、ユーザーの設定やさまざまなデフォルト設定に基づいて、接続先の無線ネットワークを動的に選択する、Microsoft の無線接続管理ユーティリティです。

Fusion と WZC を切り替える


Fusion から WZC に切り替えるには、次の操作を行います。

1. ステータス バー >  > [Options] (オプション) の順にタップします。
2. ドロップダウン リストから [WLAN Management] (WLAN 管理) を選択します。
3. [Microsoft Manages WLAN] (Microsoft で WLAN を管理する) ラジオ ボタンを選択します。
4. [Save] (保存) をタップします。

5. [OK] をタップします。

6. リポートします。

WZC から Fusion に切り替えるには、次の操作を行います。

1. ステータス バー >  > [Options] (オプション) の順にタップします。
2. ドロップダウン リストから [WLAN Management] (WLAN 管理) を選択します。
3. [Fusion Manages WLAN] (Fusion で WLAN を管理する) ラジオ ボタンを選択します。
4. [Save] (保存) をタップします。
5. [OK] をタップします。
6. リポートします。

サポートしているアプリケーション

表 4-1 は、Fusion のメニュー項目と対応するアプリケーションについてまとめたものです。

表 4-1 サポートしているアプリケーション

アプリケーション	説明	Fusion サポート	WZC サポート
WLAN の検出	通信圏内で有効な WLAN の一覧を表示する Find WLAN (WLAN の検出) アプリケーションを起動します。	はい	いいえ
プロファイルの管理	WLAN プロファイルの管理および編集を行う Manage Profiles (プロファイルの管理) アプリケーション (プロファイル編集ウィザードを含む) を起動します。	はい	いいえ
Wireless Zero Config	WLAN を設定する Wireless Zero Config アプリケーションを起動します。	いいえ	はい
証明書の管理	認証に使用する証明書を管理できる Manage Certs (証明書の管理) アプリケーションを起動します。	はい	はい
PAC の管理	EAP-FAST 認証に使用する Protected Access Credentials の一覧を管理できる PAC Manager (PAC マネージャ) アプリケーションを起動します。	はい	いいえ
オプション	Fusion のオプションを設定できる Options (オプション) アプリケーションを起動します。	はい	はい
無線ステータス	現在の無線接続のステータスを表示できる Wireless Status (無線ステータス) アプリケーションを起動します。	はい	はい

表 4-1 サポートしているアプリケーション (続き)

アプリケーション	説明	Fusion サポート	WZC サポート
無線の診断	無線接続時の問題を診断するツールを提供する Wireless Diagnostics (無線の診断) アプリケーションを起動します。	はい	はい
Log On/Off (ログオン/オフ)	特定のプロファイルにログオンしたり、現在アクティブになっているプロファイルからログオフしたりできる [Network Login] (ネットワーク ログイン) ダイアログを表示します。	はい	いいえ


Fusion のセットアップ

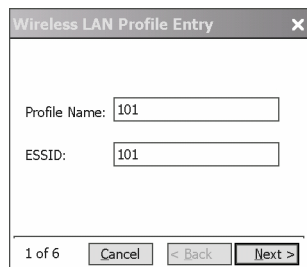
Fusion を使用して WLAN を詳細にセットアップする場合、Fusion の使用と設定の方法について、『Wireless Fusion Enterprise Mobility Suite User Guide for Version 3.20』を参照してください。

Fusion を使用して WLAN をセットアップするには、次の操作を行います。

- ✓ **注** システム管理者から適切な WLAN の設定情報を入手してから、Fusion のセットアップ手順を実行してください。

次のセットアップ手順は、WEP 暗号化を使用した場合の WLAN のセットアップの一例です。

1. ステータス バー >  > **[Manage Profiles] (プロファイルの管理)** の順にタップします。**[Manage Profiles] (プロファイルの管理)** ウィンドウが表示されます。
2. ウィンドウをタップしたままにして、ポップアップメニューから **[Add] (追加)** を選択します。**[Wireless LAN Profile Entry] (無線 LAN プロファイル エントリ)** ウィンドウが表示されます。
3. **[Profile Name] (プロファイル名)** テキスト ボックスにプロファイルの名前を入力します。
4. **[ESSID] テキスト ボックスに該当する ESSID を入力します。**



The image shows a dialog box titled "Wireless LAN Profile Entry" with a close button (X) in the top right corner. Inside the dialog, there are two text input fields. The first field is labeled "Profile Name:" and contains the text "101". The second field is labeled "ESSID:" and also contains the text "101". At the bottom of the dialog, there is a status bar that says "1 of 6" followed by three buttons: "Cancel", "< Back", and "Next >".

図 4-2 プロファイル ID を設定するダイアログ ボックス

5. **[Next] (次へ)** をタップします。動作モードを設定するダイアログ ボックスが表示されます。
6. **[Operating Mode] (動作モード)** ドロップダウン リストから、**[Infrastructure] (インフラストラクチャ)** または **[Ad-hoc] (アドホック)** を選択します。

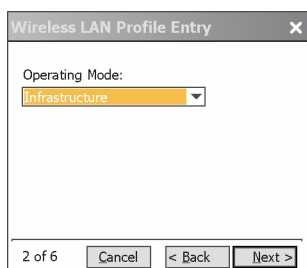


図 4-3 動作モードを設定するダイアログ ボックス

7. **[Next] (次へ)** をタップします。セキュリティ モードを設定するダイアログ ボックスが表示されます。
8. **[Security Mode] (セキュリティ モード)** ドロップダウン リストから **[Legacy (Pre-WPA)] (従来式 (Pre-WPA))** を選択します。

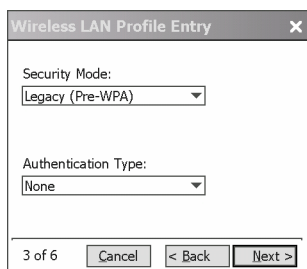


図 4-4 セキュリティと認証を設定するダイアログ ボックス

9. **[Authentication Type] (認証の種類)** ドロップダウン リストから **[None] (なし)** を選択します。
10. **[Next] (次へ)** をタップします。暗号化を設定するダイアログ ボックスが表示されます。
11. **[Encryption Type] (暗号化の種類)** ドロップダウン リストから **[WEP-40 (40/24)]** を選択します。

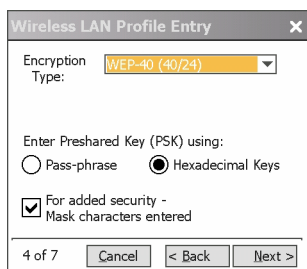


図 4-5 暗号化を設定するダイアログ ボックス

12. **[Pass-phrase] (パスフレーズ)** または **[Hexadecimal Keys] (16 進キー)** ラジオ ボタンを選択して、パスフレーズや 16 進キーを次のページに入力するかどうかを指定します。
13. **[For added security - Mask characters entered] (追加したセキュリティの場合 - 入力した文字を非表示にする)** チェック ボックスをオンにして、入力した文字を非表示にします。入力した文字を表示するには、このチェック ボックスをオフにします。
14. **[Next] (次へ)** をタップします。

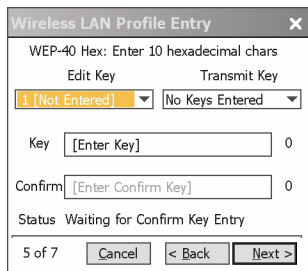


図 4-6 WEP-40 WEP キーを設定するダイアログ ボックス

15. **[Edit Key] (キーの編集)** ドロップダウン リストから、入力するキーを選択します。
16. **[Key] (キー)** フィールドに 10 桁の 16 進文字列を入力します。
17. **[Confirm] (確認)** フィールドに文字列を再入力します。キーが一致すると、一致したことを示すメッセージが表示されます。
18. WEP キーごとに手順を繰り返します。
19. **[Transmit Key] (キーの送信)** ドロップダウン リストから送信するキーを選択します。
20. **[Next] (次へ)** をタップします。IPv4 アドレス エントリを設定するダイアログ ボックスが表示されます。

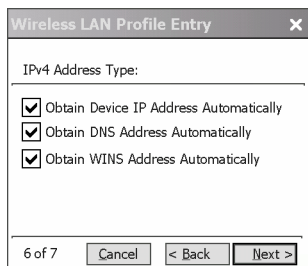


図 4-7 IP アドレス エントリを設定するダイアログ ボックス

21. 3 つのチェック ボックスがすべてオンになっていることを確認します。
22. **[Next] (次へ)** をタップします。バッテリーの使用を設定するダイアログ ボックスが表示されます。
23. **[Battery Usage Mode] (バッテリーの使用モード)** ダイアログ ボックスで、いずれかの消費電力のオプションを選択します。

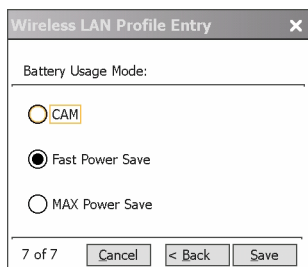


図 4-8 バッテリーの使用を設定するダイアログ ボックス

24. **[Save] (保存)** をタップします。

Wireless Zero Config のセットアップ

WZC を使用して WLAN をセットアップするには、次の手順に従います。

- ✓ **注** システム管理者から適切な WLAN の設定情報を入手してから、WZC のセットアップ手順を実行してください。

次のセットアップ手順は、WEP 暗号化を使用した場合の WLAN のセットアップの一例です。

1. ステータス バー >  > **[Wireless Zero Config]** の順にタップします。

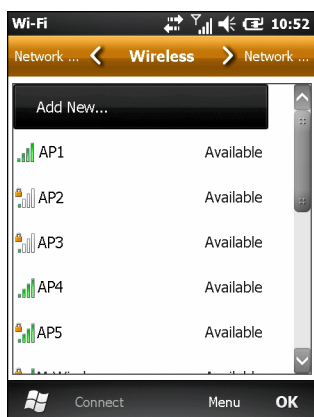


図 4-9 **[Wireless Zero Config]** ウィンドウ

2. MC65 は、通信圏内の無線ネットワークを検索し、その結果をウィンドウに表示します。
3. ネットワーク名をタップします。

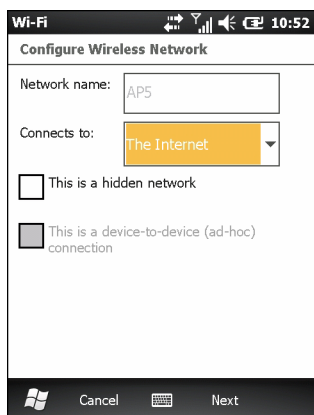


図 4-10 **[Configure Wireless Network]** (無線ネットワークの設定) ウィンドウ

4. **[Connects to]** (接続先) ドロップダウン リストから、**[The Internet]** (インターネット) または **[Work]** (勤務先) を選択します。
5. ネットワークが非表示のネットワークである場合は、**[This is a hidden network]** (非表示のネットワーク) チェック ボックスをオンにします。
6. **[Next]** (次へ) をタップします。

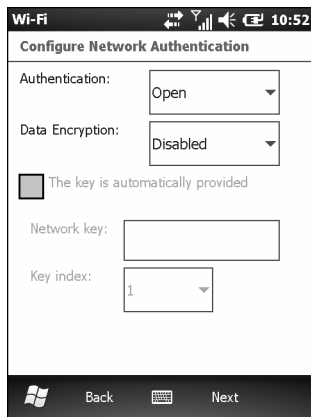


図 4-11 [Configure Network Authentication] (ネットワーク認証の設定) ウィンドウ

7. **[Authentication] (認証)** ドロップダウン リストから認証の種類を選択します。
8. **[Data Encryption] (データの暗号化)** ドロップダウン リストからデータの暗号化の種類を選択します。
9. **[WEP encryption] (WEP 暗号化)** を選択した場合は、**[Network key] (ネットワーク キー)** テキスト ボックスに暗号化キーを入力します。
10. **[Next] (次へ)** をタップします。

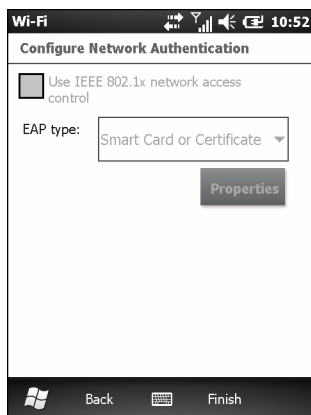


図 4-12 [Configure Network Authentication] (ネットワーク認証の設定) ウィンドウ

11. 必要に応じて、**[Use IEEE 802.1x network access control] (IEEE 802.1x ネットワーク アクセス コントロールを使用)** チェック ボックスをオンにします。
12. **[EAP type] (EAP の種類)** ドロップダウン リスト ボックスから、EAP の種類を選択します。
13. **[Finish] (完了)** をタップします。

WZC の詳細情報

Microsoft Wireless Zero Config の詳細については、Microsoft Software Developer Network (MSDN) (<http://msdn.microsoft.com>) を参照してください。

第 5 章 MESSAGING (メッセージ)

はじめに




この章では、電子メール、SMS メッセージング、MMS メッセージングの使用方法について説明します。

Email (電子メール)

電子メールを使用して、メッセージを他のユーザーに送信します。



電子メール メッセージの作成

電子メール メッセージを作成するには、次の手順に従います。





1. **[Start]** (スタート) > **[E-mail]** (電子メール) を押します。
2. 電子メール アカウントを選択します。
3.  > **[New]** (新規) をタップします。
4. 受信者を追加するには、電子メール アドレスをセミコロン (;) で区切って入力します。**[To]** (受信者) をタップして、**[Contacts]** (連絡先) に保存された電子メール アドレスを追加します。
5. 件名を入力して、メッセージを作成します。
6. メッセージに添付ファイルを追加するには、 > **[Insert]** (挿入) をタップして、**[Picture]** (画像)、**[Voice Note]** (ボイス メモ) または **[File]** (ファイル) などの添付する項目をタップします。
7.  をタップします。

電子メール メッセージの表示

電子メール メッセージを表示するには、次の手順に従います。

1. ホーム画面で、Outlook メールの場合は  を、個人の電子メール アカウントの場合は  をタップします。
2. 電子メールをタップして開きます。

メッセージの返信または転送

1. ホーム画面で、Outlook メールの場合は  を、個人の電子メール アカウントの場合は  をタップします。
2. 電子メールをタップして開きます。
3.  をタップします。
4. 返信メッセージを入力して、 をタップします。

SMS メッセージング

テキスト メッセージを使用して、その他のモバイル デバイス間と短いテキスト メッセージ (SMS) を送受信できます。テキストには、160 文字以内で文字、数字、または英数字の組み合わせを含めることができます。

テキスト メッセージの送信

テキスト メッセージを送信するには、次の手順に従います。




1. **[Start]** (スタート) > **[Text]** (テキスト) を押します。
2.  > **[New]** (新規) > **[SMS]** をタップします。



図 5-1 テキスト メッセージの作成

3. **[To]** (受信者) をタップして、**[Contacts]** (連絡先) から受信者を選択するか、アドレス領域に電話番号を入力します。
4. メッセージを作成します。
 - オートコレクト機能により、メッセージの入力時に一般的なスペルミスが自動的に修正されるため、正確なメッセージを作成できます。
 - ステータス バーの文字カウンタは、作成しているメッセージのサイズを示します。
 -  > **[Message Options]** (メッセージ オプション) をタップして、**[Request message delivery notification]** (メッセージの配信通知を要求する) チェック ボックスをオンにして、テキスト メッセージを受信するときの通知を要求します。
5.  をタップして、メッセージを送信します。

MC65 の電話機能がオンの場合、テキスト メッセージが送信されます。オフの場合は、電話機能をオンにするようプロンプトが表示されます。メッセージは、**[Drafts]** (下書き) フォルダに保存され、MC65 の電話機能がオンになったときに送信されます。

ネットワークの圏外にいる場合は、メッセージは **[Drafts]** (下書き) フォルダに保存され、圏内に戻ったときに送信されます。

テキスト メッセージの表示

着信テキスト メッセージが届いたとき、テキスト通知アイコンがステータス バーに表示され、ダイアログ ボックスが表示されます。

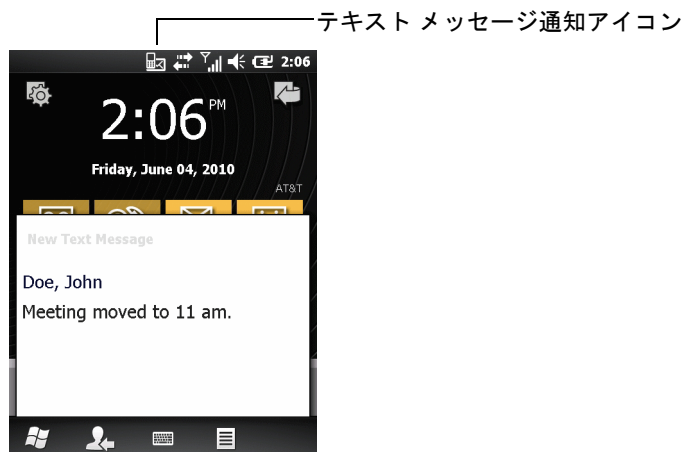



図 5-2 新規テキスト メッセージの通知

Caller Identification (発信者識別) 機能は、着信テキスト メッセージ番号と **[Contacts]** (連絡先) に保存されている番号を照合して、メッセージの送信者を表示します。ユーザーは、すぐにテキスト メッセージに対応することも、後で読むこともできます。メッセージに返信するには、 をタップします。また、**[New Text Message]** (新規テキスト メッセージ) ダイアログ ボックスでは、送信者に発信したり、メッセージを保存、消去、削除することもできます。テキスト メッセージを削除するには、**[Menu]** (メニュー) > **[Delete]** (削除) をタップします。送信者に発信するには、**[Menu]** (メニュー) > **[Call sender]** (送信者に発信) をタップします。ダイアログ ボックスを閉じて、テキスト メッセージを後で読むには、**[Menu]** (メニュー) > **[Save as read]** (既読として保存) をタップします。

以前に受信したテキスト メッセージを表示するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Text]** (テキスト) をタップします。

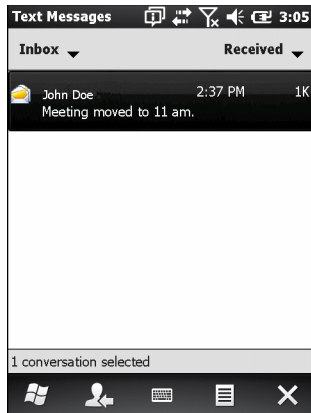


図 5-3 **[Text Messages]** (テキスト メッセージ) ウィンドウ

2. メッセージ リストでテキスト メッセージをタップします。ウィンドウに以前のテキスト会話が表示されます。

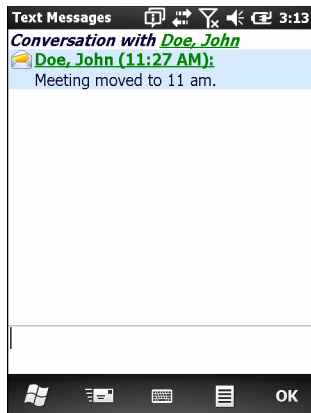



図 5-4 テキスト メッセージ - 会話

SMS メッセージへの返信

テキスト メッセージに返信するには、次の手順に従います。


1. **[Start]** (スタート) > **[Text]** (テキスト) をタップします。
2. メッセージ リストでテキスト メッセージをタップします。ウィンドウに以前のテキスト会話が表示されます。
3. 応答フィールドにテキストを入力します。
4.  をタップします。

MMS メッセージング

MMS メッセージングにより、画像、ビデオ、オーディオ ファイル、その他の種類のファイルを別のモバイルコンピュータに送信できます。

MMS メッセージの作成と送信

MMS メッセージを送信するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Text] (テキスト)** をタップします。
2.  > **[New] (新規) > [MMS]** をタップします。

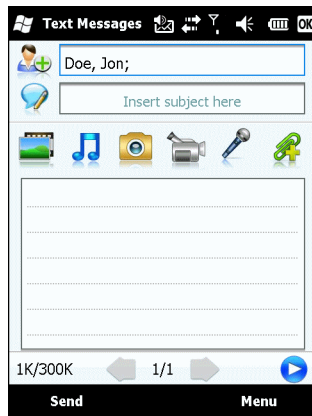










図 5-5 MMS ウィンドウ

3. 連絡先を追加するには、 をタップします。連絡先の一覧のウィンドウが表示されます。1 つまたは複数の連絡先を選択して、**[Done] (完了)** をタップします。
4.  をタップして、メッセージの件名を追加します。ウィンドウに件名のテキストを入力して、**[Done] (完了)** をタップします。
5. テキスト ウィンドウ内をタップして、テキスト メッセージを入力します。ウィンドウが表示されて、テキスト メッセージのほか、顔文字、お気に入りの Web アドレス、定義済みテキスト、連絡先情報、カレンダー情報を入力できます。情報を追加後、**[Done] (完了)** をタップします。
6. MC65 に保存された画像やビデオをメッセージに添付するには、 をタップします。
7. MC65 に保存されたサウンド ファイルをメッセージに添付するには、 をタップします。
8. 画像を撮影してメッセージに添付するには、 をタップします。
9. ビデオを取り込んでメッセージに添付するには、 をタップします。
10. メッセージを録音してメッセージに添付するには、 をタップします。
11. MC65 に保存されたファイルをメッセージに添付するには、 をタップします。
12. すべてのアイテムをメッセージに添付したら、**[Send] (送信)** をタップします。

MMS メッセージの表示

MMS メッセージを表示するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Text] (テキスト)** をタップします。
2. MMS メッセージをタップします。

3. メッセージのスレッドで、MMS アイコンをタップしてメッセージを表示します。
4. **[Contents] (コンテンツ)** をタップして、メッセージに含まれるファイルの一覧を表示します。

[Message Contents] (メッセージ コンテンツ) 画面で、次の操作を実行します。

1. ファイルを保存するには、**[Menu] (メニュー) > [Save] (保存)** をタップします。
2. テキスト ファイルのコンテンツを **[My Text] (マイ テキスト)** リストに保存するには、**[Menu] (メニュー) > [Save into My Text] (マイ テキストへの保存)** をタップします。
3. 写真を連絡先に関連付けるには、**[Menu] (メニュー) > [Assign to Contact] (連絡先への割り当て)** をタップします。
4. オーディオ ファイルを呼び出しトーンに関連付けるには、**[Menu] (メニュー) > [Set as Ringtone] (呼び出しトーンとして設定)** をタップします。

MMS メッセージへの返信

MMS メッセージに返信するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Text] (テキスト)** をタップします。
2. MMS メッセージをタップします。
3. メッセージのスレッドで、MMS メッセージをタップして、MMS メッセージを開いて表示します。
4. MMS メッセージを表示してから、**[Menu] (メニュー) > [Reply] (返信) > [via MMS] (MMS 経由)** をタップして MMS メッセージで返信するか、**[Menu] (メニュー) > [Reply] (返信) > [via SMS] (SMS 経由)** をタップしてテキスト メッセージで返信します。

SMS メッセージ着信のブロック

特定の送信者からの MMS メッセージ着信をブロックするには、次の手順に従います。

1. MMS メッセージを開いて表示します。
2. **[Menu] (メニュー) > [Show] (表示) > [Contact Details] (連絡先の詳細)** をタップします。
3. **[Menu] (メニュー) > [Save to Blacklist] (ブラックリストに保存)** をタップします。
4. **[Done] (完了)** をタップします。

送信者のブロックを解除するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Text] (テキスト)** をタップします。
2. **[Menu] (メニュー) > [MMS Options] (MMS オプション) > [Blacklist] (ブラックリスト)** をタップします。
3. 電話番号をタップしたままにします。
4. ポップアップ メニューから **[Delete] (削除)** を選択します。
5. **[OK]** をタップします。

第6章 カメラの使用

はじめに

[Pictures & Videos] (画像とビデオ) を使用して、写真を撮ったり、ビデオを録画して、それらを MC65 で表示できます。

写真を撮る

写真を撮るには、次の手順に従います。

1. [Start] (スタート) > [Pictures & Videos] (画像とビデオ) をタップします。
2. [Camera] (カメラ) をタップします。



図 6-1 カメラ ウィンドウ

カメラ ウィンドウにビュー ファインダが表示されます。現在の設定や MC65 に保存できる残り写真数などの情報が画面右下に表示されます。

3. ビュー ファインダで画像を確認して、必要に応じて調整します。
4. **Enter** キーを押して、写真を撮影します。

[Burst] (バースト) モード

[Burst] (バースト) モードにより、一連の写真を連写できます。

1. **[Start] (スタート)** > **[Pictures & Videos] (画像とビデオ)** をタップします。
2. **[Camera] (カメラ)** をタップします。
3. **[Menu] (メニュー)** > **[Mode] (モード)** > **[Burst] (バースト)** をタップします。
4. ビュー ファインダーで画像を確認して、必要に応じて調整します。
5. **Enter** キーを押して、写真を撮影します。

すべての写真を撮り終える前に連写を停止するには、**[OK]** をタップします。

[Timer] (タイマ) モード

タイマを使用して写真を撮るには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート)** > **[Pictures & Videos] (画像とビデオ)** をタップします。
2. **[Camera] (カメラ)** をタップします。
3. **[Menu] (メニュー)** > **[Mode] (モード)** > **[Timer] (タイマ)** をタップします。

✓ **注** デフォルトでは、セルフ タイマの時間は 5 秒に設定されています。

4. ビュー ファインダーで画像を確認して、必要に応じて調整します。
5. **Enter** キーを押して、写真を撮影します。

画像の編集

画像の回転、トリミング、ズーム、および輝度やカラー コントラストの調整を行います。

1. **[Start] (スタート)** > **[Pictures & Videos] (画像とビデオ)** をタップします。
2. 表示する画像のサムネイルをタップします。
3. **[Menu] (メニュー)** > **[Zoom] (ズーム)** をタップすると、ズーム パネルが表示され、画像にズーム インまたはズーム アウトできます。もう一度 **[Menu] (メニュー)** > **[Zoom] (ズーム)** をタップすると、ズーム パネルが閉じます。
4. 画像を反時計回りに 90 度回転させるには、**[Menu] (メニュー)** > **[Edit] (編集)** をタップし、**[Rotate] (回転)** をタップします。
5. 画像をトリミングするには、**[Menu] (メニュー)** > **[Edit] (編集)** をタップし、**[Menu] (メニュー)** > **[Crop] (トリミング)** をタップします。画面上のスタイラスをドラッグして、トリミング領域を選択します。領域の内側をタップすると画像をトリミングでき、領域の外側をタップするとトリミングをキャンセルできます。

画像を壁紙として設定

MC65 のホーム画面 (Windows のホーム画面) をカスタマイズするには、任意の画像を壁紙として設定します。画像をホームの壁紙として設定するには、次の手順に従います。

1. サムネイルをタップして押し続け、**[Set as Home Background]** (ホームの背景として設定) を選択します。
2. 上下矢印をタップして透過性レベルを設定します。
3. **[OK]** をタップします。

カメラの設定

カメラの設定を行うには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Pictures & Videos]** (画像とビデオ) をタップします。
2. **[Menu]** (メニュー) をタップして、デバイスの設定を行います。
 - **Video** (ビデオ) - タップすると **[Video]** (ビデオ) モードに切り替わります。
 - **Mode** (モード) - 写真を撮る際のモードを次の中から選択します。
 - **Normal** (標準) - デフォルト設定を使用して写真を撮ります。
 - **Burst** (バースト) - 連続モードで写真を連写します。
 - **Timer** (タイマ) - **Enter** キーを押した 5 秒後に写真を撮ります。
 - **Brightness** (輝度) - カメラの輝度レベルを設定します。
 - **Resolution** (解像度) - カメラの解像度レベルを設定します。高解像度の画像を選択すると、ファイルのサイズが大幅に増えます。
 - **Flash** (フラッシュ) - フラッシュのオン/オフを切り替えます。
 - **Auto Focus** (オートフォーカス) - オートフォーカスのオン/オフを切り替えます。
 - **Full Screen** (全画面表示) - ビューファインダのモード (全画面表示モードとウィンドウ モード) を切り替えます。
 - **Options** (オプション) - カメラのオプション ウィンドウが表示されます。
3. **[OK]** をタップして終了します。

ビデオを録画する

ビデオを録画するには、次の手順に従います。

1. **[Start]** (スタート) > **[Pictures & Videos]** (画像とビデオ) をタップします。
2. **[Camera]** (カメラ) をタップします。
3. **[Menu]** (メニュー) > **[Video]** (ビデオ) をタップします。

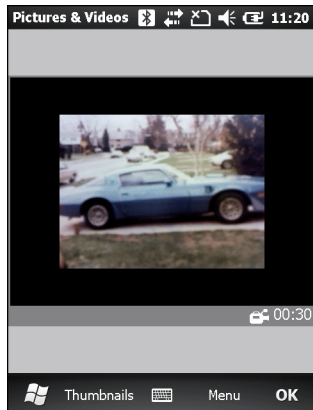


図 6-2 **[Video]** (ビデオ) ウィンドウ

録画可能な時間が画面に表示されます。

✓ **注** デフォルトでは、ビデオの録画時間は 30 秒に設定されています。

4. **Enter** キーを押して録画を開始します。
5. **Enter** キーを押して録画を終了します。

ビデオの設定

ビデオの設定を行うには、次の手順に従います。

1. **Video** (ビデオ) アプリケーションを起動します。
2. **[Menu]** (メニュー) をタップして、デバイスの設定を行います。
 - **Still** (スチール) - タップしてスチール (カメラ) モードに切り替えます。
 - **Brightness** (輝度) - ビデオの輝度レベルを設定します。
 - **Quality** (品質) - 録画するビデオの品質 (ビデオの解像度と音声の忠実度) とサイズを設定します。ビデオクリップの品質が高いほど、多くのメモリが必要となります。
 - **Full Screen** (全画面表示) - ビューファインダーのモード (全画面表示モードとウィンドウ モード) を切り替えます。
 - **Options** (オプション) - ビデオのオプション ウィンドウが表示されます。
3. **[OK]** をタップして終了します。

画像とビデオを表示する

画像やビデオを表示するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [Pictures & Videos] (画像とビデオ)** をタップします。
2. 画像またはビデオのサムネイルをタップします。
 - **[Show] (表示)** ドロップダウン リストをタップして、フォルダを参照します。
 - **[Sort By] (分類条件)** ドロップダウン リストをタップして、名前、日付、またはサイズごとにファイルを分類します。

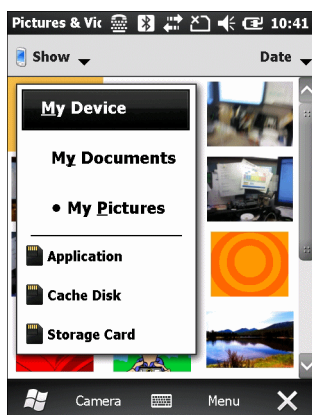


図 6-3 Pictures & Videos (画像とビデオ)

画像とビデオをカスタマイズする

[Options] (オプション) コマンドを使用すると、**[Pictures & Videos] (画像とビデオ)** の使用方法に関する設定を行うことができます。

[Pictures & Videos] (画像とビデオ) をカスタマイズするには、次の手順に従います。

1. サムネイルまたは全画面表示モードで、**[Menu] (メニュー) > [Options] (オプション)** をタップします。
2. **[General] (全般)** タブで、次のオプションを設定します。
 - 電子メールで送信する画像のサイズを選択します。電子メールで送信する画像のサイズのみが変更されます。元の画像のサイズは変更されません。
 - 画像のサイズを変更することにより、電子メールですばやく転送することが可能になります。
 - 画像を右または左に回転します。
3. **[Slide Show] (スライドショー)** タブで、次のオプションを設定します。
 - **[Portrait pictures] (縦向き画像)** または **[Landscape pictures] (横向き画像)** ラジオ ボタンを選択して、スライドショーの向きを設定します。
 - **[Play a screen saver when connected to my PC and idle for 2 minutes] (PC に接続されており、アイドル時間が 2 分間続いた場合はスクリーンセーバーを表示する)** チェック ボックスをオンにします。デバイスが USB 同期ケーブルに接続されており、アイドル時間が 2 分間続いた場合に、**[My Pictures] (マイピクチャ)** フォルダ内の画像ファイルをスクリーンセーバーとして表示するよう設定します。

4. **[Camera] (カメラ)** タブで、次のオプションを設定します。

- **[Type filename prefix] (ファイル名プレフィックスの入力)** テキスト ボックスに、画像ファイルのデフォルト タイトルとして使用するプレフィックスを入力します。
- **[Save files to] (ファイルの保存先)** ドロップダウン リストで、画像ファイルをオンボード メモリまたは内蔵ストレージに保存するよう選択します。
- **[Still image compression level] (スチール画像の圧縮レベル)** ドロップダウン リストで、画像を保存する際の圧縮レベルを設定します。高品質に設定すると画像の品質が高くなりますが、より多くのメモリが必要となります。

5. **[Video] (ビデオ)** タブで、次のオプションを設定します。

- **[Include audio when recording video files] (ビデオ ファイルの録画時に音声も含める)** チェックボックスをオンにするとビデオ録画の際に音声も録音できます。
- **[Time limit for videos] (ビデオの録画時間)** ドロップダウン リストで、ビデオの録画時間を設定します。

第 7 章 BLUETOOTH の使用

はじめに

Bluetooth を装備しているデバイスは、周波数ホッピング方式スペクトル拡散 (FHSS: frequency-hopping spread spectrum) 無線周波数 (RF: radio frequency) を使用して 2.4GHz の産業科学医療用 (ISM: Industry Scientific and Medical) バンド (802.15.1) でデータを送受信することで、無線通信をすることができます。Bluetooth 無線テクノロジーは、短距離 (10m/32.8 フィート) 通信用に特別に開発された、低消費電力の通信技術です。

Bluetooth 搭載の MC65 は、プリンタやアクセス ポイント、他の Zebra スマートフォンなどのデバイスと、ファイル、予定、タスクなどの情報交換ができます。MC65 をモデムとして使用するには、コンピュータと MC65 間でダイヤルアップ モデム接続を確立します。

適応型周波数ホッピング

適応型周波数ホッピング (AFH: Adaptive Frequency Hopping) は、固定周波数干渉を回避する方式で、Bluetooth 音声通信に使用することができます。AFH を機能させるためには、piconet (Bluetooth ネットワーク) 内のすべてのデバイスが AFH に対応している必要があります。デバイスの接続時および検出時に AFH は行われません。重要な 802.11b 通信中は、Bluetooth 接続を確立したり、検出を行わないでください。Bluetooth の AFH は、次の 4 つの主なセクションから構成されています。

- チャンネル分類 - チャンネルごとに干渉を検出する方式、または定義済みのチャンネル マスクで干渉を検出する方式です。
- リンク管理 - AFH 情報を調整して、Bluetooth ネットワーク全体に AFH 情報を配信します。
- ホップ シーケンス修正 - ホッピング チャンネル数を選択的に削減することで干渉を回避します。
- チャンネル メンテナンス - 定期的にチャンネルを再評価する方法です。

AFH が有効な場合、Bluetooth 無線は 802.11b 高速チャンネルを通るのではなく、「ホッピング」します。AFH の共存性により、Zebra 製のスマートフォンはあらゆるインフラストラクチャで動作することができます。

MC65 の Bluetooth 無線は、Class 2 デバイス パワー クラスとして動作します。最大出力は 2.5mW で、予想 伝送距離は 10m (32.8 フィート) です。伝送距離は、出力やデバイスの違いや空間 (開放空間または閉鎖された オフィス空間) によって左右されるため、パワークラスに基づいて伝送距離を判断することは困難です。

✓ **注** 802.11b での高速な動作が求められる場合は、Bluetooth 無線テクノロジーの照会を実行することはお勧めしません。

セキュリティ

現在の Bluetooth 仕様は、リンク レベルでセキュリティを定義しています。アプリケーションレベルのセキュリティは指定されていません。このため、アプリケーション開発者は、各自のニーズに応じてカスタマイズしたセキュリティ メカニズムを定義することができます。リンクレベルのセキュリティは、ユーザー間ではなくデバイス間に適用されるのに対して、アプリケーションレベルのセキュリティはユーザーごとに実装することができます。Bluetooth の仕様では、デバイスの認証に必要なセキュリティ アルゴリズムとプロシージャ、および必要に応じてデバイス間で伝送されるデータを暗号化するためのセキュリティ アルゴリズムとプロシージャを定めています。デバイスの認証は、Bluetooth の必須の機能ですが、リンクの暗号化は任意の機能です。

Bluetooth デバイスのペアリングは、デバイスを認証して、デバイスのリンク キーを作成するための初期化 キーを作成することで行われます。ペアリングしたデバイスの共通 PIN 番号を入力することで、初期化キーが生成されます。PIN 番号は無線で送信されません。デフォルトでは、Bluetooth スタックは、キーが要求されたときにキーなしで応答します (キー要求イベントに応答するかどうかはユーザー次第です)。Bluetooth デバイスの認証は、チャレンジレスポンス トランザクションをベースにしています。Bluetooth では、他の 128 ビットキーの作成に使用した PIN 番号またはパスキーをセキュリティおよび暗号化のために使用することができます。暗号化キーは、ペアリング デバイスの認証に使用したリンク キーから導出されます。また、Bluetooth 無線の制限された伝送距離と高周波ホッピングにより、離れた場所からの盗聴が困難であることも特長の一つです。

推奨事項

- セキュリティ保護された環境でペアリングを行う
- PIN コードを公開しない。または PIN コードを MC65 に保存しない
- アプリケーションレベルのセキュリティを実装する

Microsoft のスタックは Smart-pairing をサポートしています。詳細は、Microsoft MSDN を参照してください。

Bluetooth の設定

次のサービスがサポートされています。

- OBEX Object Push (OBEX オブジェクト プッシュ) サービス
- Hands-Free Audio Gateway (ハンズフリー音声ゲートウェイ) サービス
- Serial Port (シリアル ポート) サービス
- Personal Area Networking (パーソナル エリア ネットワーク) サービス
- PBAP サービス
- Dial-Up Networking (ダイヤルアップ ネットワーク) サービス
- HID Client (HID クライアント) サービス
- A2DP/AVRCP サービス
- File Transfer Profile (ファイル転送プロファイル)
- General Audio/Video Distribution Profile (一般オーディオ/ビデオ配信プロファイル)
- SIM Access Profile (SIM アクセス プロファイル)
- Headset Profile (ヘッドセット プロファイル)
- Generic Object Exchange Profile (一般オブジェクト交換プロファイル)
- Service Discovery Access Profile (サービス検索アクセス プロファイル)
- Generic Access Profile (一般アクセス プロファイル)

他のサービスに使用されていないければ、COM2、COM3、COM4、および COM7 の COM ポートを使用できます (MSR は COM2 を使用します)。

Bluetooth の電源の状態

サスペンド

アクティブな Bluetooth 接続が確立されている場合、Bluetooth 無線は低電力モードに入り、アクティブな接続を保持します。



注

MC65 と他の Bluetooth デバイス間でアクティブな Bluetooth 接続が確立されていて、データの通信状況がない場合、MC65 はタイムアウトします。ただし、MC65 の電源ボタンを押すと MC65 はサスペンドモードになります (通話中の場合を除く)。リモートの Bluetooth デバイスからデータを受信すると MC65 はサスペンドモードからウェイクアップします (たとえば、MC65 にヘッドセットからリダイヤル信号が送信された場合や Bluetooth スキャナからデータが送信された場合)。

再開

サスペンド前に Bluetooth がオンになっていた場合、MC65 が再開されると Bluetooth はオンになります。

Bluetooth オン/オフの切り替え

バッテリーを節約する場合、または無線機器の使用が制限されている区域（航空機内など）に入る場合は、Bluetooth 無線をオフにします。無線をオフにすると、他の Bluetooth デバイスは MC65 を検出したり接続したりすることができなくなります。通信圏内の他の Bluetooth デバイスと情報を交換するには、Bluetooth 無線をオンにします。デバイスが近接した場所にある場合のみ Bluetooth 無線で通信してください。

✓ **注** 未使用時に無線をオフにすることで、バッテリーを節約することができます。

Bluetooth の有効化

Bluetooth を有効にするには、次の手順を行います。

1. ステータス バー >  > [Bluetooth] > [Mode] (モード) をタップします。

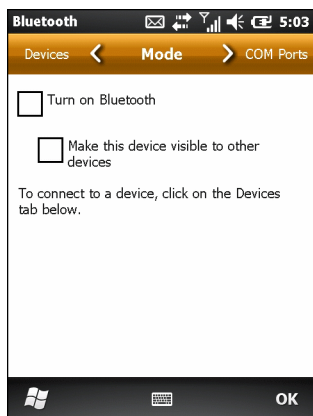



図 7-1 [Bluetooth] の [Mode] (モード) タブ

2. [Turn On Bluetooth] (Bluetooth を有効にする) チェック ボックスをオンにします。
3. [OK] をタップします。

Bluetooth の無効化


Bluetooth を無効にするには、次の手順を行います。

1. ステータス バー >  > [Bluetooth] > [Mode] (モード) をタップします。
2. [Turn On Bluetooth] (Bluetooth を有効にする) チェック ボックスをオフにします。
3. [OK] をタップします。

Bluetooth デバイスを検出する

MC65 は、検出されたデバイスと結合していなくても、そのデバイスから情報を受信することができます。ただし、結合しておく、Bluetooth 無線をオンにしたときに MC65 と結合済みのデバイスは自動的に情報を交換します。

通信圏内の Bluetooth デバイスを検出するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
4. ステータス バー >  > [Bluetooth] > [Devices] (デバイス) をタップします。

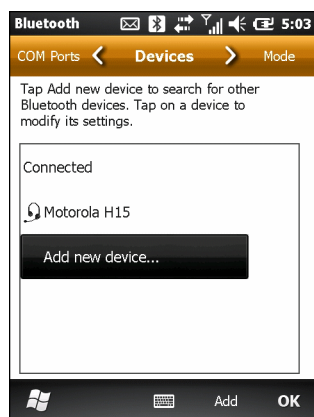


図 7-2 [Bluetooth] - [Devices] (デバイス) タブ

5. [Add new device] (新しいデバイスを追加) をタップします。MC65 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
6. リストからデバイスを選択します。

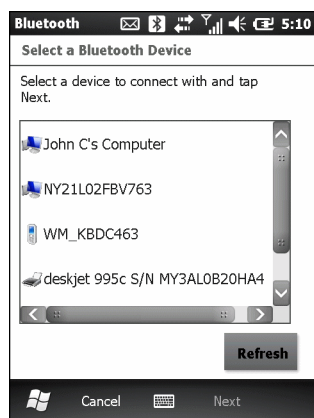


図 7-3 [Select a Bluetooth Device] (Bluetooth デバイスの選択)

7. **[Next] (次へ)** をタップします。**[Enter Passcode] (パスコードの入力)** ウィンドウが表示されます。

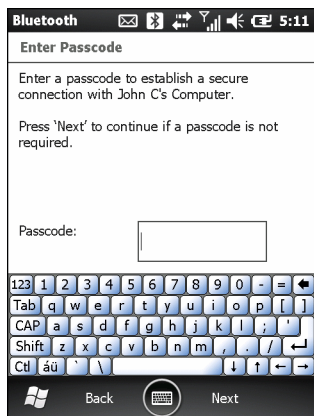


図 7-4 **[Enter Passcode] (パスコードの入力)**

8. 接続先デバイスのパスコードを入力します。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。

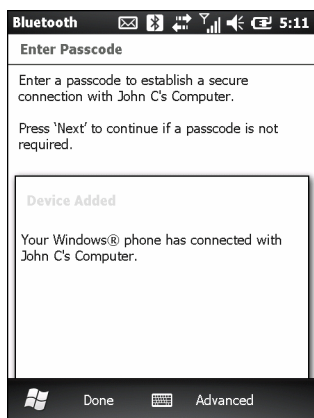


図 7-5 Bluetooth 接続の確認

パスコードの入力を求めるメッセージが表示されます。デバイスに特定のパスコードがある場合は、それを **[Passcode] (パスコード)** フィールドに入力して **[Next] (次へ)** をタップします。デバイスに特定のパスコードがない場合は、任意のパスコードを **[Passcode] (パスコード)** フィールドに入力して **[Next] (次へ)** をタップします。Bluetooth 無線がそのデバイスとの接続を試行します。

9. パスコードを作成した場合は、接続先デバイスに、同じパスコードを入力するよう求めるメッセージが表示されます。作成したパスコードを入力すると、ペアリング接続が確立されます（特定のパスコードを入力した場合は、接続先デバイスでの作業は必要ありません）。
10. 接続が完了すると、マッチング リストとそのデバイスでサポートされているサービスが表示されます。
11. 使用したいサービスを選択して、**[Finish] (完了)** をタップします。新しいデバイス上のサービスを選択する必要があります。そうしないと、デバイスのペアリングが確立されても、ペアリングにサービスが含まれません。サービスを選択しないと、パスコードを求めるメッセージが何度も表示されます。
12. デバイスがメイン ウィンドウ上のリストに表示されます。

パスコードが両側で受け入れられると、信頼された (ペアリングされた) 接続が確立されます。

使用可能なサービス

✓ 注 デバイスによっては、PIN を必要としないものもあります。必要とするかどうかは、デバイスの認証によって異なります。

Microsoft Bluetooth スタックが搭載された MC65 は、次のサービスを提供します。

- OBEX Object Push Services via Beam (ビームによる OBEX オブジェクト プッシュ) サービス
- Hands-Free Audio Gateway (ハンズフリー音声ゲートウェイ) サービス
- Serial Port (シリアル ポート) サービス
- Personal Area Networking (パーソナル エリア ネットワーク) サービス
- PBAP サービス
- Dial-Up Networking (ダイヤルアップ ネットワーク)
- HID Client (HID クライアント)
- A2DP/AVRCP

これらのサービスについては、以降のセクションを参照してください。

Object Push Services via Beam (ビームによるオブジェクト プッシュ) サービス

✓ 注 ビーム機能で可能なのはリモート デバイスへのファイル送信だけです。

OBEX プッシュ サービスを使用して、別の Bluetooth デバイスにファイルや連絡先を送信できます。MC65 と他の Bluetooth 対応デバイス間でファイルを転送するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
3. **[My Apps] (マイ アプリケーション) > [File Explorer] (ファイル エクスプローラ)** をタップします。
4. 転送するファイルに移動します。
5. ファイル名をタップし、ポップアップ メニューが表示されるまで押したままにします。

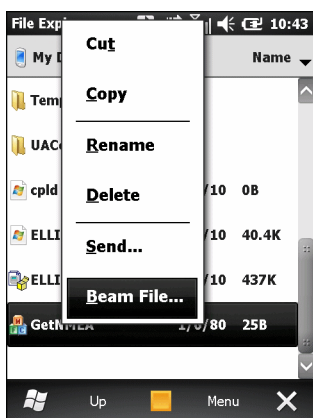


図 7-6 File Explorer (ファイル エクスプローラ) ウィンドウ

6. **[Beam File] (ファイルのビーム)** を選択します。MC65 は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。
7. ファイル送信先の Bluetooth デバイスの横にある **[Tap to send] (タップして送信)** をタップします。MC65 はそのデバイスと通信しファイルを送信します。完了すると、**[Tap to send] (タップして送信)** が **[Done] (完了)** に変わります。

MC65 と他の Bluetooth 対応デバイス間で連絡先を転送するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
3. **[Contacts] (連絡先)** をタップします。
4. 転送する連絡先に移動します。
5. その連絡先をタップし、ポップアップメニューが表示されるまで押したままにします。
6. **[Send Contact] (連絡先の送信) > [Beam] (ビーム)** を選択します。MC65 は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。
7. Bluetooth デバイスの横にある **[Tap to send] (タップして送信)** をタップします。MC65 はそのデバイスと通信し連絡先を送信します。完了すると、**[Tap to send] (タップして送信)** が **[Done] (完了)** に変わります。

Internet Sharing (インターネット共有)

Internet Sharing (インターネット共有) では、MC65 にコンピュータまたはラップトップを接続し、オフィスのネットワークまたは ISP に接続するためのモデムとして MC65 を使用できます。

Bluetooth によって、MC65 をモデムとして使用するには、次の手順に従います。

1. デバイスがコンピュータまたはラップトップに接続されていないことを確認します。
2. MC65 で、**[Phone] (電話)** が有効になっていて、データ接続が設定されていることを確認します。
3. **[Start] (スタート) > [Internet Sharing] (インターネット共有)** をタップします。
4. **[PC Connection] (PC 接続)** リストで、**[Bluetooth PAN]** を選択します。
5. **[Network Connection] (ネットワーク接続)** リストで、接続の種類を選択します。
そのデバイスがインターネット接続に使用するネットワーク接続を選択します。
6. **[Connect] (接続)** をタップします。
7. コンピュータまたはラップトップで、ご使用のデバイスとの Bluetooth PAN をセットアップします。
 - a. **[Start] (スタート) > [Control Panel] (コントロール パネル) > [Network Connections] (ネットワーク接続)** を選択します。
 - b. **[Personal Area Network] (パーソナル エリア ネットワーク)** で、**[Bluetooth Network Connection] (Bluetooth ネットワーク接続)** を選択します。
 - c. **[Bluetooth Network Connection] (Bluetooth ネットワーク接続)** を右クリックして、**[View Bluetooth network devices] (Bluetooth ネットワーク デバイスの表示)** を選択します。
 - d. **[Bluetooth Personal Area Network Devices] (Bluetooth パーソナル エリア ネットワーク デバイス)** ウィンドウで、ご使用のデバイスを選択します。

e. **[Connect] (接続)** をクリックします。コンピュータが Bluetooth を通じてデバイスに接続されます。

✓ **注** コンピュータが Bluetooth に対応していて、PC 接続として Bluetooth を選択する場合、Bluetooth PAN パートナーシップを開始し、完了しないと、インターネット共有は機能しません。詳細は、Windows のヘルプおよびサポートを参照してください。

8. 確認するには、コンピュータで **Internet Explorer** を起動して Web サイトを開きます。

9. ダイアルアップ ネットワーキングを終了するには、MC65 で **[Disconnect] (切断)** をタップします。

Hands-free (ハンズフリー) サービス

Bluetooth ヘッドセットに接続するには、次の手順に従います。

✓ **注** 最近の Bluetooth ヘッドセットは、デバイス依存型で、前回接続したデバイスを記憶しています。ヘッドセットの接続時に問題が発生した場合は、ヘッドセットを検出モードにしてください。詳細については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

WAN 音声およびボイス コマンダー音声のみがヘッドセットに送信されます。システムの音声は、MC55 のスピーカーから出力されます。

Hands-free (ハンズフリー) プロファイルを使用して、通話を受けたりリダイヤルすることができます。

Hands-free (ハンズフリー) プロファイルは、3 者通話をサポートしていません。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
3. **[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Bluetooth] > [Devices] (デバイス)** をタップします。
4. **[Add new device] (新しいデバイスを追加)** をタップします。MC65 は、通信圏内の Bluetooth デバイスを検索します。
5. ヘッドセット名を選択して、**[Next] (次へ)** をタップします [Passcode] (パスコード) ウィンドウが表示されます。
6. 必要場合は、ヘッドセットのパスコードを入力します。
7. **[Next] (次へ)** をタップします。MC65 がヘッドセットに接続されます。Bluetooth デバイスとの通信に関する指示については、ヘッドセットのユーザー マニュアルを参照してください。

Serial Port (シリアル ポート) サービス

無線 Bluetooth シリアル ポート接続は、物理的なシリアル ケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアル ポートに設定します。

シリアル ポート接続を確立するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
3. **[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Bluetooth] > [Devices] (デバイス)** をタップします。

4. **[Add new device] (新しいデバイスを追加)** をタップします。MC65 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
5. リストからデバイスを選択します。
6. **[Next] (次へ)** をタップします。**[Enter Passcode] (パスコードの入力)** ウィンドウが表示されます。
7. パスコードを入力して **[Next] (次へ)** をタップします。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。
8. デバイス リストで、そのシリアル デバイスをタップします。**[Partnership Settings] (パートナーシップの設定)** ウィンドウが表示されます。
9. **[Serial Port] (シリアル ポート)** チェック ボックスをオンにします。
10. **[Save] (保存)** をタップします。
11. **[COM Ports] (COM ポート)** タブをタップします。
12. **[New Outgoing Port] (新しい発信ポート)** をタップします。**[add device] (デバイスの追加)** ウィンドウが表示されます。
13. リストでシリアル デバイスを選択して、**[Next] (次へ)** をタップします。
14. ドロップダウン リストから COM ポートを選択します。
15. **[Finish] (完了)** をタップします。

✓ **注** この時点では接続は確立されていません。Microsoft Bluetooth スタックが接続を開始するには、選択した COM ポートをアプリケーションで開く必要があります。

Bluetooth を使用した ActiveSync

ActiveSync 用の無線 Bluetooth シリアル ポート接続は、物理的な USB ケーブル接続の場合と同様に使用します。その接続を使用するアプリケーションを、適切なシリアル ポートに設定します。

Bluetooth ActiveSync 接続を設定するには、次の手順に従います。

✓ **注** セキュリティを確保するには、コンピュータに接続してインターネットまたはネットワークへのパススルーを行う前に、コンピュータのネットワーク ブリッジングを無効にします (特にリモート NDIS アダプタへのブリッジング)。ネットワーク ブリッジングについての詳細は、ご使用のコンピュータの **Windows ヘルプ** を参照してください。

以下の手順は、Windows XP SP2 以降のバージョンのオペレーティング システムをサポートするコンピュータに適用されます。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
3. コンピュータで、**[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Control Panel] (コントロール パネル)** をクリックします。
4. **[Bluetooth Devices] (Bluetooth デバイス)** をダブルクリックします。

5. **[Options] (オプション) タブ**で、**[Turn discovery on] (発見機能を有効にする)** と **[Allow Bluetooth devices to connect to this computer] (Bluetooth デバイスによる、このコンピュータへの接続を許可する)** のチェック ボックスをオンにします。

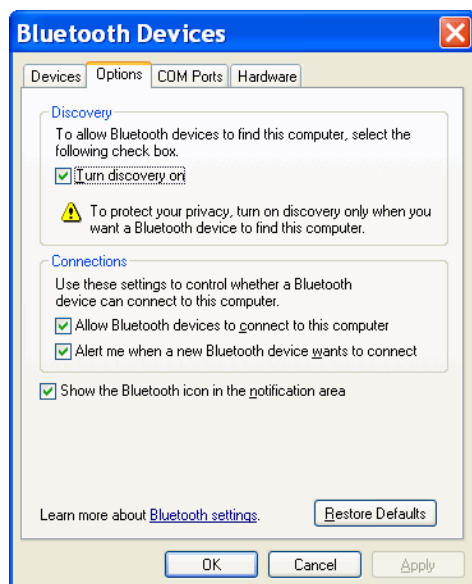


図 7-7 コンピュータの [Bluetooth Devices] (Bluetooth デバイス) ウィンドウ

6. **[COM Ports] (COM ポート) タブ**で、**[Add] (追加)** をクリックします。
7. **[着信] (デバイスが接続を開始する) オプション**を選択して、**[OK]** をクリックします。
追加された COM ポートの番号を書き留めます。
8. **[OK]** をクリックします。
9. **[Start] (スタート) > [All Programs] (すべてのプログラム) > [Microsoft ActiveSync]** をクリックします。
10. **[File] (ファイル) > [Connection Settings] (接続の設定)** をクリックします。



図 7-8 ActiveSync の [Connection Settings] (接続の設定)

11. **[Allow connections to one of the following] (以下のいずれかの接続を有効にする)** ドロップダウン リストで、先ほど書き留めた番号の COM ポートを選択します。
12. MC65 で、**[Start] (スタート) > [ActiveSync]** をタップします。

13. **[Menu] (メニュー) > [Connect via Bluetooth]** (Bluetooth から接続) をタップします。

自動的に同期が開始されます。

認証が必要な場合は、**[Enter Passcode] (パスコードの入力)** 画面が表示されるので、英数字のパスキー (PIN コード) を入力して、**[Next] (次へ)** をタップします。もう一方のデバイスと同じパスキーを入力してください。

セキュリティを強化するため、パスキーの使用を推奨します。パスキーは 1 ~ 16 文字の英数字で指定してください。

パスキーの必要がない場合は、**[Next] (次へ)** をタップします。

14. ActiveSync 接続を切断するには、**[Start] (スタート) > [ActiveSync]** をタップします。

15. **[Disconnect] (切断)** をタップします。

Phone Book Access Profile サービス

Phone Book Access プロファイル (PBAP) を使用すると、リモート デバイスと MC65 の間で連絡先を同期させることができます。PBAP 同期を確立するには、次の手順に従います。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていて、検出可能であることを確認します。
2. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
3. **[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Bluetooth] > [Devices] (デバイス)** をタップします。
4. **[Add New Device] (新しいデバイスを追加)** をタップします。MC65 は自動車用キットなどの Bluetooth デバイスを検索します。
5. リストからデバイスを選択します。
6. **[Next] (次へ)** をタップします。**[Enter Passcode] (パスコードの入力)** ウィンドウが表示されます。
7. パスコードを入力して **[Next] (次へ)** をタップします。そのデバイスが Bluetooth リストに追加されます。
8. その自動車用キットに連絡先を転送するかどうかを問うダイアログ ボックスが表示されます。
9. **[Yes] (はい)** または **[No] (いいえ)** を選択します。
10. **[Yes] (はい)** を選択した場合、MC65 の連絡先がその自動車用キットに転送されます。

Dial-Up Networking (ダイヤルアップ ネットワーク) サービス

ダイヤルアップ ネットワークにより、MC65 に PC またはラップトップを接続して、MC65 をオフィスのネットワークまたは ISP に接続するモデムとして使用することができます。

ダイヤルアップ ネットワークの設定を行う前に、オフィスのネットワークまたは ISP に接続するのに必要なダイヤルアップ情報およびその他の必要な設定 (ユーザー名、パスワード、ドメイン名など) を取得してください。新しい Bluetooth 接続を作成するには、次の手順に従います。

1. MC65 が検出可能および接続可能になっていることを確認します。
2. PC またはラップトップで、製造元の指示に従って Bluetooth の設定を行います。
3. PC またはラップトップの Bluetooth ソフトウェアで、MC65 を検索して、[Dial-up Networking] (ダイヤルアップ ネットワーク) サービスを選択します。
4. PC またはラップトップのダイヤルアップ ソフトウェアを使用して、MC65 に接続します。
5. MC65 の電話機能により ISP の番号がダイヤルされて、ISP に接続します。
6. 確認するには、PC またはラップトップで Internet Explorer を起動して Web サイトを開きます。

HID デバイスの接続

MC65 は、Bluetooth キーボードやマウスなどのヒューマン インタフェース デバイス (HID) を接続できます。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
4. **[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Bluetooth] > [Devices] (デバイス)** をタップします。
5. **[Add new device] (新しいデバイスを追加)** をタップします。MC65 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
6. リストから HID デバイスを選択します。
7. **[Next] (次へ)** をタップします。**[Enter Passcode] (パスコードの入力)** ウィンドウが表示されます。詳細については、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
8. **[Connect] (接続)** をタップします。MC65 が HID デバイスに接続されます。

A2DP/AVRCP サービス

A2DP/AVRCP は高品質ステレオ ヘッドセットに接続する場合に使用します。

1. 両方のデバイスで Bluetooth が有効になっていることを確認します。
2. 検出する Bluetooth デバイスが検出可能および接続可能なモードになっていることを確認します。
3. 2 つのデバイスの距離が 10m (32.8 フィート) 以下であることを確認します。
4. **[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Bluetooth] > [Devices] (デバイス)** をタップします。
5. **[Add new device] (新しいデバイスを追加)** をタップします。MC65 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
6. 一覧からステレオ ヘッドセットを選択します。
7. **[Next] (次へ)** をタップします。**[Enter Passcode] (パスコードの入力)** ウィンドウが表示されます。詳細については、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
8. **[Connect] (接続)** をタップします。MC65 がステレオ ヘッドセットに接続されます。

ハンズフリー サービスを使用できるステレオ ヘッドセットの場合は、A2DP サービスに接続後、ハンズフリー サービスに接続します。

1. **[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Bluetooth] > [Devices] (デバイス)** をタップします。
2. **[Add new device] (新しいデバイスを追加)** をタップします。MC65 は、通信圏内の検出可能な Bluetooth デバイスの検索を開始します。
3. 一覧からステレオ ヘッドセットを選択します。
4. **[Next] (次へ)** をタップします。**[Enter Passcode] (パスコードの入力)** ウィンドウが表示されます。詳細については、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。
5. **[Connect] (接続)** をタップします。MC65 がステレオ ヘッドセットに接続されます。

第 8 章 GPS ナビゲーションの使用

はじめに

MC65 には、グローバル ポジショニング システム (GPS) テクノロジが搭載されています。GPS テクノロジは、地球を周回してデジタル電波信号を連続的に送信する GPS 衛星の世界的なシステムを基礎としています。この電波信号には衛星の場所や正確な時刻に関するデータが含まれており、地球上での自分の位置の特定に使用されます。



警告 車両内で MC65 を使用する場合、ユーザーは、事故や身体的損傷、物的損傷が生じたり、視界を妨げたりしないように設置、固定、および使用する義務があります。ドライバーは、車両を安全に操作し、常にすべての運転状況を観察し、MC55 のために安全な運転が妨げられるほど注意散漫にならないようにする義務があります。運転中の MC55 の操作は危険です。

ソフトウェアのインストール

サードパーティ製の GPS ナビゲーション ソフトウェアが必要です。評価用ソフトウェアはさまざまなサプライヤーから提供されています。たとえば VisualGPS というソフトウェアがあります。詳しくは <http://www.visualgps.net/VisualGPSce/> をご覧ください。

GPS ナビゲーション ソフトウェアを購入される場合は、ソフトウェアの購入、ダウンロード、インストール等をする前に、GPS ソフトウェアのベンダーに問い合わせて、そのアプリケーションと MC65 の間に互換性があるか確認してください。アプリケーションのインストールおよびセットアップについては、アプリケーションのユーザー ガイドを参照してください。

MC65 GPS のセットアップ

GPS 対応の MC65 は、GPS レシーバへのアクセスを自動的に管理し、複数のプログラムによる GPS データへの同時アクセスを可能にします。

MC65 のデフォルト設定は次のとおりです。

1. **[スタート] > [設定] > [システム] > [外部 GPS]** をタップします。
2. **[Programs] (プログラム)** タブでは、**[GPS program port] (GPS プログラム ポート)** が **[COM6]** に設定されています。
3. **[Hardware] (ハードウェア)** タブでは、**[GPS hardware port] (GPS ハードウェア ポート)** が **[None] (なし)** に設定されています。

動作

衛星信号の取得に数秒から数分かかることがあります。最適な結果を得るには、空がはっきり見え、遮る物のない屋外に出てください。空がはっきり見えない場合、MC65 では信号の取得および初期位置の算出に時間がかかることがあります。室内で MC65 を操作すると、GPS 信号へのアクセスが制限される場合や、アクセスできない場合があります。

✓ **注** GPS ナビゲーション アプリケーションを使用する場合は、MC65 がサスペンド モードにならないようにしてください。MC65 がサスペンド状態になると、GPS 無線の電源が切れます。GPS 受信機を再開するには有効な GPS 信号を取得し直す必要があるため、位置情報の取得に遅延が生じます。

microSD カード上の GPS マップ

GPS ナビゲーション ソフトウェアのベンダーから、microSD カードでマップが発売されている場合があります。GPS ナビゲーション ソフトウェアで microSD カードを使用するには、**1-2 ページの「microSD カードの取り付け」**の手順に従って microSD メモリ カードを取り付けます。

GPS 使用中の電話への応答

GPS ナビゲーション ソフトウェアの使用中に着信に応答するには、次の手順に従います。

1. **[Answer] (応答)** ボタンを押して電話に出ます。
2. 通話が終了したら、**[End Call] (通話終了)** ボタンを押して、GPS ソフトウェアの音声を再開します。

✓ **注** MC65 で GPS の使用中に電話を受けると、GPS ナビゲーション ソフトウェアの音声は通話が終了するまでミュートになります。

車両に乗っているときに GPS 信号が失われた場合

車両の窓やフロントガラスが耐熱ガラス製の場合、衛星からの GPS 信号の受信がブロックされるため、MC65 での GPS のパフォーマンスに影響が出る場合があります。GPS 信号の強度を改善するには、空がはっきり見える場所に MC65 を置いてください。衛星からの情報にアクセスするには、MC65 と GPS 衛星の間が直線で見通せる必要があります。

アシスト GPS

GPS は、スタンドアロン モードでもアシスト GPS (A-GPS) モードでも使用できます。スタンドアロン型の GPS 受信機は、GPS 衛星からデータをダウンロードします。環境によっては、データのダウンロードには数分かかることがあります。GPS Location サーバーを使用すると、通常では GPS 衛星からダウンロードする必要のあるデータが A-GPS によって供給されるため、GPS 受信機の初期位置算出時間 (TTFF) が劇的に短縮されます。A-GPS データを使用すると、GPS 受信機によるより高速かつ信頼性の高い操作が可能になります。

GPS Assist (GPS アシスト) アプリケーションでは、GPS データの取得に関連する設定を変更できます。

[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Connections] (接続) > [GPS Assist] (GPS アシスト) をタップします。

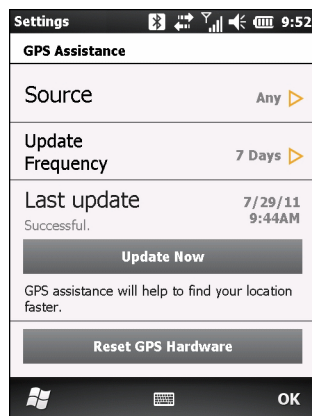


図 8-1 GPS アシスタンス ウィンドウ

データ ソースを設定するには、[ソース] をタップし、[任意] (デフォルト)、[なし] のいずれかのオプションを選択します。

データ更新の頻度を設定するには、[Update Frequency] (更新頻度) をタップし、[On Demand] (オン デマンド) (デフォルト)、[1 Day] (1 日)、[2 Days] (2 日)、[4 Days] (4 日)、[7 Days] (7 日) のいずれかのオプションを選択します。

手動でデータを更新するには、[Update Now] (今すぐ更新) ボタンをタップします。

GPS のリセット

GPS 機能を工場出荷時の設定に戻すには、次の手順に従います。

1. GPS を使用しているすべてのアプリケーションを閉じます。
2. **[Reset GPS Hardware] (GPS ハードウェアのリセット)** ボタンをタップします。**[Reset GPS Hardware] (GPS ハードウェアのリセット)** ダイアログ ボックスに、GPS チップがリセットされたことが表示されます。
3. **[OK]** をタップします。

第 9 章 SETTINGS (設定)

はじめに

この章では、MC65 のカスタマイズ方法について説明します。

Settings (設定) フォルダ


表 9-1 に、MC65 にあらかじめインストールされている設定アプリケーションを示します。ステータス バー >  をタップするか、[スタート]>[設定]をタップして、[設定] タブを開きます。

表 9-1 Settings (設定) アプリケーション

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	Bluetooth	Bluetooth を有効にして、MC65 を可視モードに設定し、範囲内の他の Bluetooth デバイスをスキャンします。		Lock (ロック)	MC65 のパスワードを設定します。
	Clock & Alarms (時計とアラーム)	デバイスの時計を自分の地域の日時に設定します。また、指定した曜日の時間にアラームを設定します。		Power (電源)	バッテリー残量を確認したり、バッテリー電力を節約するためにディスプレイをオフにするタイムアウトを設定します。
	Home (ホーム)	ホーム画面の外観と表示される情報をカスタマイズします。		Sounds & Notifications (サウンドと通知)	イベントや通知などのサウンドを有効にしたり、各イベントの通知の種類を設定します。
	Connections (接続) フォルダ	接続設定アプリケーションが含まれています。		System (システム) フォルダ	システム設定アプリケーションが含まれています。

表 9-1 Settings (設定) アプリケーション (続き)











アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
	Personal (個人) フォルダ	個人設定アプリケーションが含まれています。		Microsoft My Phone	電話の連絡先、カレンダー、タスク、テキストメッセージ、音楽、写真、ビデオ、その他のドキュメントと、 www.microsoft.com の My Phone アカウントを同期します。
Connections (接続) フォルダ					
	Beam (ビーム)	受光 IrDA ビームを受信するように MC65 を設定します。		Domain Enroll (ドメインへの登録)	デバイス管理およびセキュリティのため、AD ドメインメンバーに登録します。
	Connections (接続)	電話のダイヤルアップ、セルラ、Bluetooth など、1 つまたは複数の種類のモデム接続をセットアップして、MC65 がインターネットやプライベートローカル ネットワークにアクセスできるようにします。		Phone Network Setup (電話ネットワークのセットアップ)	MC65 ネットワークを設定します。
	GPS アシスト	場所の検索補助の他のデータ ソース使用に関連する設定を変更します。		USB Connect (USB 接続)	USB 通信ポートを設定します。『MC65 Integrator Guide』を参照してください。
	Wi-Fi	無線ネットワーク接続をセットアップしたり、設定をカスタマイズします。		Wireless Manager (無線マネージャ)	MC65 の無線通信を有効または無効にしたり、Wi-Fi、Bluetooth、および電話の設定をカスタマイズします。
Personal (個人) フォルダ					
	Buttons (ボタン)	ボタンにプログラムを割り当てます。		Owner Information (オーナー情報)	個人情報を MC65 に入力します。
	Phone (電話)	電話を設定します。		Input (入力)	各キーボード入力のオプションを設定します。
	ボイス コマンダー の設定	Voice Commander (ボイス コマンダー) アプリケーションを設定します。			

表 9-1 Settings (設定) アプリケーション (続き)

アイコン	名前	説明	アイコン	名前	説明
System (システム) フォルダ					
	About (バージョン情報)	Windows Mobile® のバージョンや MC65 に搭載されているプロセッサの種類などの基本的な情報を表示します。		加速度計	MC65 の動作を設定します。 9-8 ページの「加速度計」 を参照してください。
	Backlight & Keylight (バックライトとキーライト)	バックライトとキーライトを設定します。 9-7 ページの「バックライトとキーライトの設定」 を参照してください。		Certificates (証明書)	MC65 にインストールされている証明書に関する情報を表示します。
	Customer Feedback (カスタムフィードバック)	Windows Mobile 6 ソフトウェアに関するフィードバックを送信します。		Encryption (暗号化)	ストレージカード上のファイルを暗号化できます。暗号化されたファイルは、自分のデバイスでのみ読み取ることができます。
	External GPS (外部GPS)	必要に応じて、適切な GPS 通信ポートを設定します。 8-2 ページの「MC65 GPS のセットアップ」 を参照してください。		Error Reporting (エラー報告)	Microsoft のエラー報告機能を有効または無効にします。
	デバイス情報	MC65 のソフトウェアおよびハードウェア情報を表示します。		メモリ	デバイスのメモリ割り当てステータスとメモリカードの情報を確認したり、現在実行中のプログラムを停止します。
	Managed Programs (管理プログラム)	Mobile Device Manager を使用して MC65 にインストールされたプログラムを表示します。		Regional Settings (地域)	数字、通貨、日付、時刻の表示形式など、MC65 で使用する地域設定を行います。
	Screen (スクリーン)	スクリーンの向きを変更したり、スクリーンを調整したり、スクリーンのテキストのサイズを変更します。		Remove Programs (プログラムの削除)	MC65 にインストールしたプログラムを削除します。
	Task Manager (タスクマネージャ)	プログラムの実行を停止します。		System Info (システム情報)	システム情報を入手します。
	DataWedge	カメラまたはイメージャーを使用したデータ収集を有効にします。			

MC65 のロック

[Password] (パスワード) ウィンドウでパスワードを設定し、MC65 への不正なアクセスを防止します。

✓ 注 ネットワークに接続できるよう設定されている場合は、強力な (解読されにくい) パスワードを設定してネットワークのセキュリティを保護します。パスワード解読ツールは日々向上しており、パスワードの解読に使用されるコンピュータはかつてないほど性能がよくなっています。

1. [スタート] > [設定] > [ロック] > [パスワード] をタップします。
2. [Prompt if device unused for] (パスワード入力が必要になるまでの時間) チェック ボックスをオンにして、パスワード保護を有効にします。
3. アイドル状態からパスワード保護を有効にするまでの時間をドロップダウン リストから選択します。
4. [Password type:] (パスワード タイプ:) ドロップダウン リストから、[Simple PIN] (数字の簡易パスワード) または [Strong alphanumeric] (強力な英数字のパスワード) のいずれかを選択します。
5. 簡易パスワードの場合は、4 桁のパスワードを [Password] (パスワード) フィールドに入力します。
強力なパスワードの場合は、
 - a. [Password:] (パスワード:) フィールドに 7 文字のパスワードを入力します。強力なパスワードは 7 文字以上で、大文字、小文字、数字、句読点から 3 種類以上を含める必要があります。
 - b. [Confirm:] (確認:) フィールドにパスワードを再入力します。
6. [OK] をタップします。

ダイヤラを切り替える

MC65 には、エンタープライズ ダイヤラのユーザー インタフェースと標準的な Microsoft インタフェースがあります。

エンタープライズ ダイヤラと Microsoft ダイヤラを切り替えるには、次の手順に従います。



1. [スタート] > [ファイル エクスプローラ] をタップします。
2. **Windows** フォルダに移動し、**DialerSwitcher** ファイルを探します。
3. ファイル名をタップします。
4. [Enterprise Dialer] (エンタープライズ ダイヤラ) または [Microsoft Dialer] (Microsoft ダイヤラ) を選択します。
5. [Save] (保存) をタップします。
6. [OK] をタップすると、MC65 がリブートされます。

デバイス管理

デバイス管理ウィンドウでは、共通の設定と関連するオプションにすばやく簡単にアクセスできます。デバイス管理ウィンドウにアクセスするには、**ステータス バー**上でタップします。

サウンド プロファイル

新しいサウンド プロファイルを作成するか、カスタム プロファイルを編集するには、次の手順に従います。

1. ステータス バー >  をタップします。
2. カスタム プロファイルの横の  をタップするか、または **[Create New] (新規作成)** をタップして新しいプロファイルを作成します。

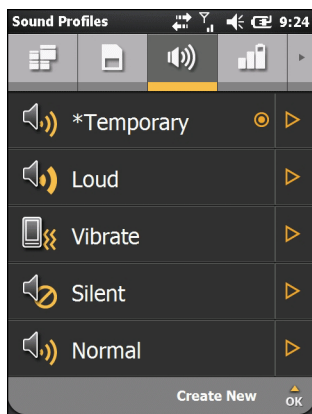



図 9-1 [Sound Profiles] (サウンド プロファイル) ウィンドウ




3. プロファイルを編集するか、テキスト ボックスにプロファイルの新しい名前を入力します。
4. リストされた各機能を選択し、使用可能なオプションを選択します。
 - **Ring type (着信音のタイプ)** - 着信を受信したときの音の鳴り方を設定します。
 - **Reminder (リマインダ)** - MC65 がリマインダを生成したときの音の鳴り方を設定します。
 - **Notification (通知)** - 通知を受信したときの音の鳴り方を設定します。
 - **Ring volume (着信音の音量)** - 着信音の音量を設定します。
 - **System volume (システムの音量)** - システム音声の音量を設定します。
 - **Ringtone (呼び出しトーン)** - 着信の呼び出しトーンを設定します。
5. **[Save] (保存)** をタップします。

カスタムのサウンド プロファイルを削除するには、次の手順に従います。

1. カスタム プロファイルの横の  をタップします。
2. **[Delete Profile] (プロファイルの削除)** をタップしてから **[OK]** をタップします。

電源プロファイル

電源プロファイルを編集するには、次の手順に従います。

1. ステータス バー >  をタップします。
2. 現在のプロファイルの横の  をタップします。
3. プロファイルの横の  をタップして編集するか、または **[新規作成]** をタップして新しいプロファイルを作成します。

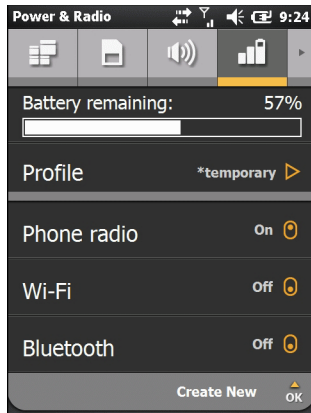



図 9-2 プロファイルの編集ウィンドウ

4. プロファイルを編集するか、テキスト ボックスにプロファイルの新しい名前を入力します。
5. 各無線について、名前をタップすると **[On] (オン)** または **[Off] (オフ)** を切り替えられます。
 - 電話無線
 - Wi-Fi
 - Bluetooth
6. 他のオプションを表示するには、下にスクロールします。
7. オプションをタップしてリストされた各機能を選択し、使用可能なオプションを選択します。
 - **Device timeout (デバイスのタイムアウト)** - MC65 がサスペンド モードになる非アクティブな時間を設定します。
 - **Backlight (バックライト)** - MC65 がサスペンド モードになる非アクティブな時間を設定します。
 - **Brightness (輝度)** - スクリーンの輝度を自動または手動に設定します。手動を選択した場合は、スライダーを使って輝度レベルを設定します。
 - **ActiveSync** - MC65 が電子メールとカレンダーのイベントをチェックする時間を設定します。
 - **ActiveSync Off (ActiveSync オフ)** - MC65 が電子メールとカレンダーのイベントをチェックする時間を設定します。
8. **[Save] (保存)** をタップします。

Alarms (アラーム)

MC65 を時計として使用するには、次の手順に従います。

1. ステータス バー >  > [Edit Alarm] (アラームの編集) をタップします。
2. 3つのアラーム列の1つをタップします。
3. 時間フィールドの上下矢印で時間を設定します。
4. [Description] (説明) フィールドを強調表示し、アラームの名前を入力します。
5. 曜日を示す文字をタップして、アラームを有効にします。
6. ドロップダウン リストから、アラームの開始時に再生するサウンドを選択します。[Play] (再生) をタップするとアラーム音が再生され、[Stop] (停止) をタップすると再生がキャンセルされます。
7. ドロップダウン リストから、繰り返す通知音のタイプを選択します。
8. [OK] をタップします。
9. さらに2つのアラームをセットアップできます。
10. チェック ボックスをオンにすると、MC65 がサイレントまたはパイプに設定されているときでもアラーム音が有効になります。
11. [OK] をタップします。

バックライトとキーライトの設定

ディスプレイ輝度を設定すると、特定の使用環境での輝度を自動的に検出できます。

[スタート] > [設定] > [システム] > [バックライトとキーライト] をタップします。

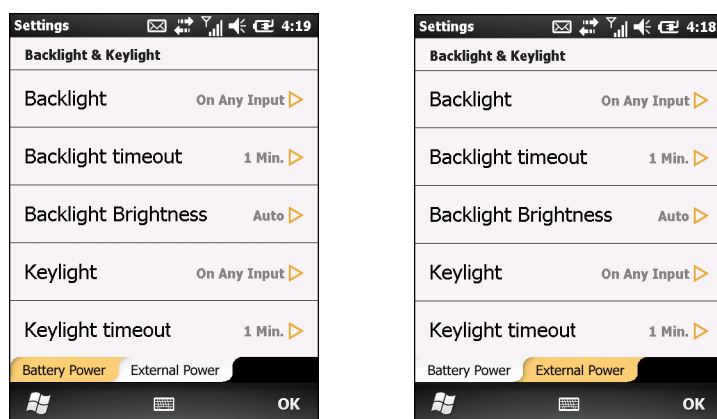


図 9-3 Backlight & Keylight (バックライトとキーライト)

MC65 をバッテリー電源で使用している場合は、**[Battery Power] (バッテリー電源)** タブでバックライトとキーライトを設定します。

MC65 を外部電源で使用している場合は、**[External Power] (外部電源)** タブでバックライトとキーライトを設定します。

- **バックライト** - バックライト機能を設定します。**[On Any Input] (どの入力でも)** を選択すると、スクリーンへのアクションまたはタッチ時にバックライトがオンになります。**[Always On] (常にオン)** を選択すると、常にバックライトがオンになります。
- **Backlight Timeout (バックライト タイムアウト)** - スクリーンのバックライトがオフになるまでの非アクティブな時間を設定します。
- **バックライトの輝度** - 自動または手動の制御を選択します。**[Auto] (自動)** を選択すると、バックライトが自動的に制御されます。**[Manual] (手動)** を選択すると、バックライトの輝度を設定できます。輝度のレベルは 5 つから選択します。
- **キーライト** - **[どの入力でも]** を選択すると、キーボードへのアクションまたはタッチ時にキーライトがオンになります。**[Always On] (常にオン)** を選択すると、常にキーライトがオンになります。**[Follow Display] (フォロー ディスプレイ)** を選択すると、キーライトがバックライトと同じように設定されます。
- **キーライト タイムアウト** - キーライトがオフになるまでの非アクティブな時間を設定します。


加速度計

通話中またはディスプレイの使用時に加速度計の動作をカスタマイズできます。

ユーザーはデバイスを動かしたときの動作や、下に向けたときの動作を設定できます。

[Display] (ディスプレイ) タブ

加速度計の動作の使用時にバッテリー寿命を節約し、MC65 を自動動作に設定できます。

ステータス バー >  > **[System] (システム)** > **[Accelerometer] (加速度計)** をタップします。

- **下に向けるときのサスペンド** - MC65 を裏返して置いたときにサスペンド モードになります。
- **画面の回転** - 画面の回転を有効または無効にします。画面は、MC65 の物理的な向きに応じて、縦向きモードと横向きモードが自動的に切り替わります。たとえば、MC65 を 90° 反時計回りに回転させると、ディスプレイは反時計回りに 90° 回転します。

[About] (バージョン情報) タブ

[About] (バージョン情報) タブでは、加速度計情報が表示されます。

プログラムのショートカットのセットアップ

プログラムのショートカットを変更するには、次の手順に従います。

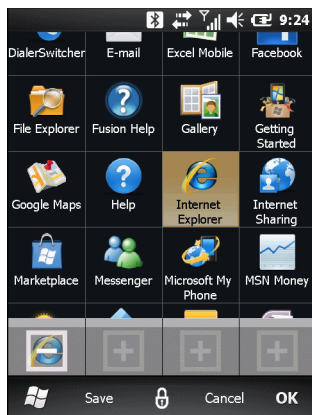


図 9-4 ショートカット アイコンの追加

1. **[マイ アプリケーション]>[編集]>[ドック]** をタップします。
2. ショートカット ボタンをタップして、割り当てられたショートカットを削除します。
3. 新しいプログラム アイコンをタップし、**[Save] (保存)** をタップします。

[My Apps] (マイ アプリケーション) ウィンドウのセットアップ

カスタマイズしたアプリケーション リストを作成するには、次の手順に従います。

1. **[マイ アプリケーション]>[編集]>[ビュー]>[新規作成]** をタップします。
2. テキスト ボックスに、リストの名前を入力します。
3. リストをスクロールして、新しいリストに追加するアイコンをタップします。選択したアイコンは強調表示されます。

リストにアイコンが追加されると、アイコン カウンタが増えます。




図 9-5 プログラムの追加

4. **[Save] (保存)** をタップします。


新しいリストをデフォルトにするには、そのリストの名前をタップします。

カスタマイズしたアプリケーション リストを編集するには、次の手順に従います。

1. **[マイ アプリケーション]>[編集]>[ビュー]** をタップします。
2. 編集するリストの横の  をタップします。
3. リストに追加する、またはリストから削除するアイコンをタップします。
4. **[Save] (保存)** をタップしてから **[OK]** をタップします。

カードのセットアップ

Zebra ホーム画面のカードは、設定したり並べ替えたりできます。

カード上で  をタップすると、カードが裏返ります。

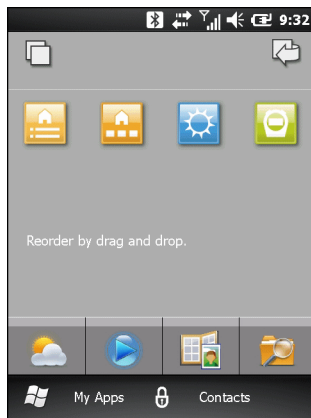



図 9-6 カードの背面


カードの並べ替え

カード背面のそれぞれのアイコンがカードを示しています。カードを並べ替えるには、アイコンを押したまま新しい場所にドラッグします。 をタップしてカードの正面に戻ります。

カードの設定

カードを削除して、ホーム画面に表示されないようにすることができます。

カードの上で  をタップして、カードを裏返します。

 をタップして、カードを設定します。

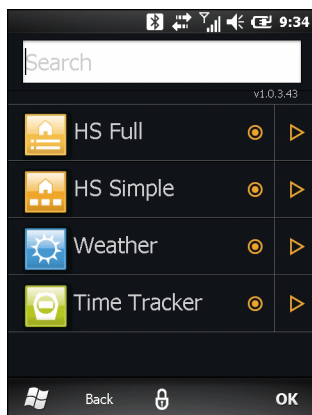





図 9-7 カードの設定ウィンドウ

ウィンドウには、使用可能なカードがリストされます。名前の横の  はそのカードが有効であることを示します。 はそのカードが無効であることを示します。

1. カードの名前をタップすると、そのカードが有効または無効になります。
2.  をタップすると、そのカードの説明が表示されます。
3. **[OK]** をタップしてホーム画面に戻ります。

Time Tracker カード

Time Tracker カードは、プロジェクトにかかる時間を管理するアプリケーションです。プロジェクト データは、/Windows ディレクトリのファイル **TimeTracker_data_file.csv** に保存されています。

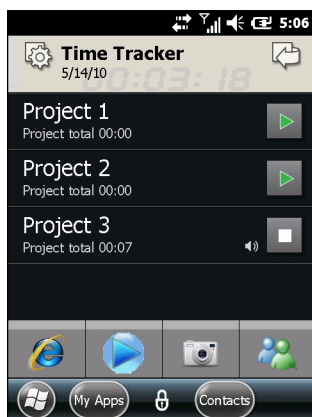


図 9-8 Time Tracker のメイン画面

1. 新しいプロジェクトを作成するには、[Settings] (設定) アイコンをタップします。

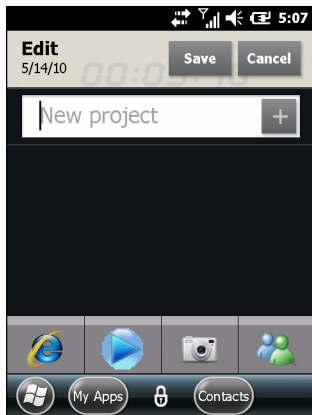


図 9-9 新しいプロジェクト


2. テキスト ボックスにプロジェクト名を入力します。
3. [+] をタップして、リストにプロジェクトを追加します。
4. [Save] (保存) をタップします。
5. メイン画面で、プロジェクト名をタップしてプロジェクト画面を開きます。



図 9-10 プロジェクト画面

6. [Start] (開始) ボタンをタップして、プロジェクト タイマを開始します。
7. プロジェクト セッションの開始からの間隔を示す通知時間を選択します。
8. [Back] (戻る) をタップしてメイン画面に戻ります。

Weather カード

Weather カードには自分がいる場所の現在の天気のほか、Accuweather.com が提供する今後 3 日間の天気予報が表示されます。 をタップすると、手動でデータが更新されます。

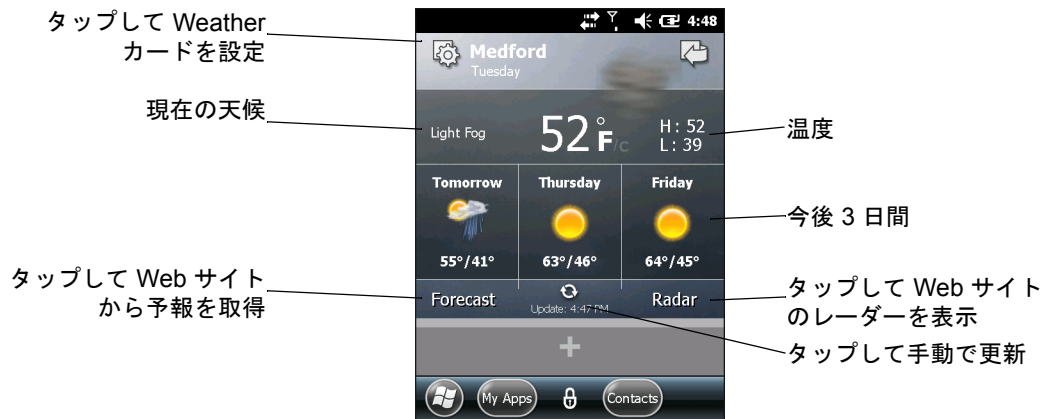


図 9-11 Weather カード

新しい場所の追加

新しい場所を追加するには、次の手順に従います。

1. 設定アイコンをタップします。
2. テキスト フィールドに、都市名または郵便番号を入力します。
3. 虫眼鏡アイコンをタップします。
4. リストから新しい場所を選択します。
5. [Back] (戻る) をタップして、Weather カードの正面に戻ります。

場所の変更

場所を変更するには、次の手順に従います。

1. 設定アイコンをタップします。
2. リストから場所を選択します。

場所の削除

場所を削除するには、次の手順に従います。

1. 設定アイコンをタップします。
2. 目的の場所までスクロールします。
3. [X] をタップします。その場所がリストから削除されます。
4. [Back] (戻る) をタップして、Weather カードの正面に戻ります。

電子メールのセットアップ

MC65 の **Messaging (メッセージング)** アプリケーションでは、1 つの場所から同時に複数の電子メール アカウントにアクセスして、管理できます。ISP (Internet Service Provider) アカウントで電子メール メッセージを送受信したり、MC65 を使用して VPN (Virtual Private Network) 経由で会社の電子メールにアクセスしたりするには、まず IMAP アカウントまたは POP アカウントをセットアップします。

- IMAP (Internet Message Access Protocol) - このメール受信プロトコルは、大規模なネットワークや商業や組織の設定でよく利用されています。IMAP4 が現在の標準です。
- POP (Post Office Protocol) - このプロトコルはほとんどの ISP でサポートされていて、コンシューマアプリケーションではこちらのほうが一般的です。POP3 が現在の標準です。

✓ **注** 複数の電子メール アカウントがある場合は、アカウントごとに独自の設定をしてください。

IMAP または POP アカウントのセットアップ

IMAP アカウントまたは POP アカウントのセットアップでは、MC65 が自動的にアカウント設定を取得できますが、手動で設定項目の入力が必要になる場合もあります。

自動の電子メール セットアップ

1. **[Start] (スタート) > [E-mail] (電子メール)** をタップします。
2. **[Setup E-mail] (電子メールのセットアップ)** をタップします。
3. **[E-mail address] (電子メール アドレス)** テキスト ボックスに、電子メール アドレスを入力します。
4. **[Password] (パスワード)** テキスト ボックスに、関連付けるパスワードを入力します。
5. **[Save password] (パスワードの保存)** チェック ボックスがデフォルトでオンになっているため、電子メール アカウントのパスワードは MC65 に常に記憶されています。他のユーザーに電子メールが表示されないようにするには、**[Save password] (パスワードの保存)** チェック ボックスをタップして、チェックマークを外し、その機能を無効にします。
6. **[Next] (次へ)** をタップします。

✓ **注** 共通の電子メール タイプでは、この手順を実行しなくても、MC65 によって自動的に電子メール設定が検出されて設定される場合もあります。

7. **[Try to get e-mail settings automatically from the Internet] (インターネットから電子メール設定を自動的に取得する)** チェック ボックスをタップして、チェック ボックスにチェックマークを付けます。

[Next] (次へ) をタップするとこの設定が自動的に取得されます。この処理には数分かかる場合があります。MC65 によって、受信と送信の両方の電子メール メッセージに必要な通信設定の確認が行われます。

8. MC65 によって必要な設定が自動的に取得できた場合は、**[Next] (次へ)** をタップします。

MC65 によって設定を自動的に取得できなかった場合は、**[Next] (次へ)** をタップし、**9-15 ページの「電子メール設定の手動入力」**の手順 8に進みます。

9. **[Your name:] (名前:)** フィールドに、送信メッセージの **[From] (送信元)** フィールドに表示される名前を入力します。

10. **[Account display name:] (アカウントの表示名:)** フィールドに、新しい電子メール アカウントの名前を入力します。
この名前は、電子メール ページの使用可能なメール アカウントのリストに表示されます。
11. **[Next] (次へ)** をタップします。
12. **[Automatic Send/Receive:] (自動送受信:)** フィールドをタップして、MC65 による新しいメール メッセージの送信とチェックの時間間隔を選択します。
13. その他のダウンロード設定とオプションを確認するには、**[Review all download settings] (全ダウンロード設定の確認)** リンクをタップします。詳細については、9-17 ページの「電子メール アカウントの編集」を参照してください。
14. **[Finish] (完了)** をタップします。

手動の電子メール セットアップ

自動設定に失敗した場合や、VPN サーバー接続を使用してアカウントにアクセスする場合は、ISP (Internet Service Provider) またはネットワーク管理者に以下の情報を問い合わせ、手動で入力します。

- アカウントの種類 (IMAP4 または POP3)
- 受信および送信のメール サーバー名
- ユーザー名とパスワード
- ドメイン名
- 特別なセキュリティ設定 (使用している場合)

電子メール アカウントの設定の詳細については、次のサイトを参照してください。

www.microsoft.com/windowsmobile/help/smartphone/default.mspix or www.windowsmobile.com/getstarted

電子メール設定の手動入力

1. **[Start] (スタート) > [E-mail] (電子メール)** をタップします。
2. **[Setup E-mail] (電子メールのセットアップ)** をタップします。
3. **[E-mail address:] (電子メール アドレス:)** フィールドに、アカウントの電子メール アドレスを入力します。
4. **[Password:] (パスワード:)** フィールドに、アカウントのパスワードを入力します。
5. **[Save password] (パスワードの保存)** チェック ボックスがデフォルトでオンになっているため、電子メール アカウントのパスワードは MC65 に常に記憶されています。他のユーザーに電子メールが表示されないようにするには、**[Save password] (パスワードの保存)** チェック ボックスをタップして、チェックマークを外し、その機能を無効にします。
6. **[Next] (次へ)** をタップします。
7. **[Try to get e-mail settings automatically from the Internet] (インターネットから電子メール設定を自動的に取得する)** チェック ボックスをタップして、チェックマークを外し、**[Next] (次へ)** をタップします。
8. **[Your e-mail provider:] (電子メール プロバイダ:)** ドロップダウン リストで **[Internet e-mail] (インターネット電子メール)** を選択し、**[Next] (次へ)** をタップします。
9. **[Your name:] (名前:)** フィールドに、送信メッセージの **[From] (送信元)** フィールドに表示される名前を入力します。

10. **[Account display name:] (アカウントの表示名:)** フィールドに、この新しい電子メール アカウントの名前を入力します。
この名前は、電子メール ページの使用可能なメール アカウントのリストに表示されます。
11. **[Next] (次へ)** をタップします。
12. **[Incoming mail server:] (受信メール サーバー:)** フィールドに、受信メール サーバーのアドレスを入力します。
13. **[Account Type:] (アカウントの種類:)** ドロップダウン リストで、**[POP3]** または **[IMAP4]** を選択します。
14. **[Next] (次へ)** をタップします。
15. **[User name:] (ユーザー名:)** フィールドに、アカウントのユーザー名を入力します。
16. **[Password:] (パスワード:)** フィールドに、アカウントのパスワードを入力します。
17. **[Next] (次へ)** をタップします。
18. **[Outgoing (SMTP) mail server:] (送信 (SMTP) メール サーバー:)** フィールドに、送信メール サーバーのアドレスを入力します。
19. 該当するフィールドにチェックを入れ、**[OK]** をタップします。
 - **[Outgoing server requires authentication] (送信サーバーで認証を要求する)** は、受信メールだけでなく送信メールにもパスワードが必要な場合に使用します (サーバー要件の詳細については、システム管理者にお問い合わせください)。
[Use the same user name and password for sending e-mail] (電子メールの送信で同じユーザー名とパスワードを使用する) は、受信メールと同じユーザー名とパスワードを送信メールに使用する場合に使用します (**[Outgoing server requires authentication] (送信サーバーで認証を要求する)** チェックボックスがオンの場合にだけ選択できます)。
20. **[Advanced Server Settings] (サーバーの詳細設定)** リンクをタップします。
 - この設定により、ネットワーク ファイアウォールのプロファイルのほか、受信メールと送信メールの両方の SSL 要件などのサーバー固有のメッセージング機能を設定できます。
 - 必要なオプションを選択します。
 - これらの設定の更新が完了したら、**[Done] (完了)** をタップします。
21. **[Next] (次へ)** をタップします。
22. **[Automatic Send/Receive:] (自動送受信:)** ドロップダウン リストで、MC65 による新しいメールの送信とチェックの時間間隔を選択します。
23. その他のダウンロード設定とオプションを確認するには、**[Review all download settings] (全ダウンロード設定の確認)** リンクをタップします。
24. **[Finish] (完了)** をタップします。

電子メール アカウントの編集

電子メールの全般設定を編集するには、次の手順に従います。

1. **[Start] (スタート) > [E-mail] (電子メール)** をタップします。
2. アカウントを強調表示して、**[Menu] (メニュー) > [Options] (オプション)** をタップします。
3. 画面上のリストで、編集する電子メール アカウントをタップします。
4. **[Edit Account Setup] (アカウントの設定の編集)** をタップします。
5. **[email address] (電子メール アドレス)** を確認し、必要に応じて変更します。**[Next] (次へ)** をタップします。
6. **[Your name] (名前)** と **[Account display name] (アカウントの表示名)** の情報を確認し、必要に応じて変更します。**[Next] (次へ)** をタップします。
7. **[Incoming mail server] (受信メール サーバー)** と **[Account type] (アカウントの種類)** の情報を確認し、必要に応じて変更します。**[Next] (次へ)** をタップします。
8. **[User name] (ユーザー名)** と **[Password] (パスワード)** の情報を確認し、必要に応じて変更します (**[Save password] (パスワードの保存)** チェック ボックスのオンまたはオフなど)。**[Next] (次へ)** をタップします。
9. **[Outgoing (SMTP) mail server] (送信 (SMTP) メール サーバー)** の情報を確認し、必要に応じて変更します。
10. **[Advanced Server Settings] (サーバーの詳細設定)** リンクをタップして、このページの設定を選択してオプションをオンまたはオフにします。
 - **[Require SSL for Incoming e-mail] (受信電子メールには SSL が必要)** チェック ボックスでは、受信メールの SSL 暗号化を有効にします (メール サーバーがサポートしている場合)。
 - **[Require SSL for Incoming e-mail] (送信電子メールには SSL が必要)** チェック ボックスでは、送信メールの SSL 暗号化を有効にします (メール サーバーがサポートしている場合)。
 - **[Network connection] (ネットワーク接続)** ドロップダウン リストは、ファイアウォールの接続設定を選択します。**[The Internet] (インターネット設定)** (オープン: ファイアウォールなし)、**[Work] (社内ネットワーク設定)** (ファイアウォールあり)、データ接続のいずれかを選択します。
11. **[Done] (完了)** をタップしてから、**[Next] (次へ)** をタップします。
12. **[Automatic Send/Receive:] (自動送受信:)** ドロップダウン リストで、MC65 による新しいメールの送信とチェックの時間間隔を選択します。
13. **[Download messages] (メッセージのダウンロード)** ドロップダウン リストで、サーバーから MC65 にダウンロードするメッセージの期間範囲を選択します (期間が長くなるほど、多くのメッセージがダウンロードされます)。
14. **[Advanced Settings] (詳細設定)** リンクをタップして、このページの設定を選択してオプションをオンまたはオフにします。
 - **[Send/receive when I click Send] ([送信] をクリックしたとき送受信を実行する)** チェック ボックスをオンにすると、ユーザーがメッセージを送信するたびに、自動的に新しいメッセージが確認されてダウンロードされます。
 - **[Use automatic send/receive schedule when roaming] (ローミング時に自動送受信スケジュールを使用する)** チェック ボックスをオンにすると、ローミング エリアにあるときでも、定義した間隔で電子メールの確認が継続されます。

- **[When deleting messages] (メッセージの削除時)** ドロップダウン リストで、MC65 からメッセージを削除するときに、電子メール サーバー上のメッセージを自動で削除するか保持するかを選択します。
15. **[Done] (完了)** をタップします。
 16. **[Next] (次へ)** をタップします。
 17. 画面上のフィールドをタップして、必要な設定変更をします。選択するには、オプションをタップします。
 - **[Message format] (メッセージ形式)** ドロップダウン リストで、電子メール メッセージの表示形式を **[HTML]** または **[plain text] (テキスト形式)** のドキュメントから選択します。
 - **[Message download limit] (メッセージのダウンロード制限)** ドロップダウン リストで、電子メール メッセージに添付するファイルの最大サイズを選択します。
 18. **[Finish] (完了)** をタップします。


電子メール署名の設定

署名は、送信メールまたはメッセージの最後に自動的に付けられる文字列です。

1. **[Start] (スタート) > [E-mail] (電子メール)** をタップします。
2. **[Menu] (メニュー) > [Options] (オプション)** をタップします。
3. アカウントを強調表示して、**[Signatures] (署名)** をタップします。
4. **[Select an account] (アカウントの選択)** ドロップダウン リストで、既存のアカウントを選択します。
5. **[Use signature with this account] (このアカウントで署名を使用する)** チェック ボックスをタップすると、新しい送信メッセージへの自動的な署名追加が有効になります。
6. **[Use when replying and forwarding] (返信/転送時に使用する)** チェック ボックスをタップすると、アカウントに返信または転送されるメッセージへの、自動的な署名追加が有効になります。
7. テキスト フィールドをタップして、署名メッセージを入力します。
8. **[OK]** をタップすると、新しい署名が保存されます。

MMS メッセージングのセットアップ

サポートされていないキャリアの SIM カードをインストールすると、MMS オプションを手動で設定する必要があります。MMS メッセージング用に MC65 を設定するには、次の手順に従います。

1. 必要なすべての情報をキャリアから入手します。
2. **[スタート] > [テキスト]** をタップします。
3.  **> [MMS Options] (MMS オプション)** をタップします。
4. **[Servers] (サーバー)** タブを選択します。

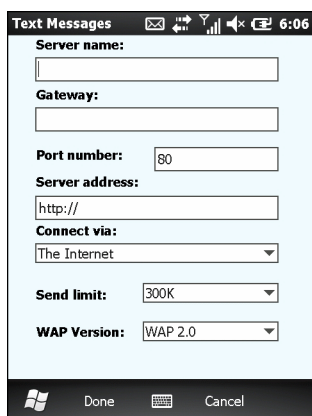


図 9-12 [MMS Options] (MMS オプション) の [Servers] (サーバー) タブ

5. フィールドにデータを入力して、[Done] (完了) をタップします。

ボイス コマンダー [ぼいすこまんだ]

[Voice Commander Settings] (ボイス コマンダーの設定) では、Voice Commander (ボイス コマンダー) アプリケーションの設定を行います。主な機能は次の 5 つです。

- Contacts (連絡先)
- アプリケーション
- 音楽
- デジット トレーナー
- 詳細設定

ボイス コマンダーを設定するには、[Start] (開始) > [Settings] (設定) > [Personal] (パーソナル) > [Voice Commander Settings] (ボイス コマンダーの設定) をタップします。


連絡先の設定

[Contacts] (連絡先) タブには、MC65 の [Contacts] (連絡先) と SIM カード (取り付けている場合) に保存されているすべての名前が表示されます。新しい連絡先を作成すると、ボイス コマンダーによって認識データベースが自動的に更新されます。

チェックが付いているボックスは、連絡先が正常に認識できることを示します。チェックが付いていないボックスは、その連絡先が認識範囲にないことを示します。グレーのボックスは、名前に認識不能な記号やマークなどの文字が含まれていることを示します。

デフォルトの認識データベースは、連絡先の数で最大 2,000 に制限されています。2,000 項目を超える連絡先の先頭にあるチェック ボックスをオンにすると、エントリを追加できます。

Play (再生)


 をタップすると、連絡先を音声で聞くことができます。

アプリケーションの設定

[Application] (アプリケーション) タブには、**[Start] (スタート)** メニューにインストールされているすべてのアプリケーションが表示されます。新しいアプリケーションをインストールすると、**ボイス コマンダー**によって認識データベースが自動的に更新されます。

チェックが付いているボックスは、アプリケーションが正常に認識できることを示します。チェックが付いていないボックスは、そのアプリケーションが認識範囲にないことを示します。グレーのボックスは、アプリケーション名に認識不能な記号やマークなどの文字が含まれていることを示します。

Play (再生)


 をタップすると、音楽ファイルを音声で聞くことができます。

音楽の設定

[Music] (音楽) タブには、MC65 で検出されたすべての音楽ファイルが表示されます。メディア ファイルをダウンロードすると、**ボイス コマンダー**によって認識データベースが自動的に更新されます。

チェックが付いているボックスは、音楽ファイルが正常に認識できることを示します。チェックが付いていないボックスは、その音楽ファイルが認識範囲にないことを示します。グレーのボックスは、音楽ファイル名に認識不能な記号やマークなどの文字が含まれていることを示します。

Play (再生)

 をタップすると、音楽ファイルを音声で聞くことができます。

ディジット トレーナーの設定

[ディジットのトレーニング] タブの機能は無効になっています。

ディジットの設定

[Digit Setting] (ディジットの設定) タブで、有効な電話番号の長さを設定し、ディジット認識の精度を向上させます。地域の電話会社の要件に合わせてデフォルト設定を変更できます。**[No constraint] (制約なし)** チェック ボックスをオンにして制限をなくすこともできます。その場合、周囲の騒音によりエラーが増えることがあります。

✓ 注 電話番号の長さは最大で 18 桁です。

詳細設定

[Advanced Settings] (詳細設定) タブでは、音声認識の感度を設定できます。以下を選択できます。

- Sensitive (高度): 再生音が検出されるたびに、認識機能によってすぐに認識結果が返されます。この設定は、車やバス、工場内など、固定された騒音がある環境で使用されます。
- Normal (標準): ほとんどの環境で使用されます。
- Accurate (正確): 認識機能は音声コマンドに非常に正確に反応します。これは周囲の人が発する無関係な音声によって起こる可能性がある通話や操作の誤認識を減らせます。

第 10 章 アクセサリ

はじめに

次に挙げる MC65 アクセサリには、さまざまな製品サポート機能があります。

アクセサリ

表 10-1 に、MC65 EDA のアクセサリを示します。

表 10-1 MC65 アクセサリ

アクセサリ	部品番号	説明
クレードル		
シングル スロット USB クレードル	CRD5500-1000UR	MC65 のメイン バッテリと予備バッテリを充電します。USB 接続を使用して、MC65 とホスト コンピュータを同期します。
シングル スロット Ethernet/Modem/USB クレードル	CRD5500-1000XR	MC65 のメイン バッテリと予備バッテリを充電します。イーサネット、モデム、または USB 接続を介して MC65 をホスト コンピュータと同期します。
4 スロット充電専用 クレードル	CRD5500-4000CR	最大 4 台の MC65 デバイスを同時に充電します。
4 スロット イーサネット クレードル	CRD5500-4000ER	最大 4 台の MC65 デバイスを同時に充電し、MC65 をイーサネット ネットワークに接続します。
車載用クレードル	VCD5500-1000R	車載用のクレードルで、MC65 のメイン バッテリを充電します。
車載用ホルダー	VCH5500-1000R	MC65 を車載するもう 1 つのアクセサリです。MC65 のバッテリを充電するには、車用充電ケーブルが必要です。

表 10-1 MC65 アクセサリ (続き)

アクセサリ	部品番号	説明
充電器		
4 スロット予備バッテリー 充電器	SAC5500-4000CR	最大 4 個の MC65 バッテリー パックを同時に充電します。
USB 充電ケーブル [USB じゅうでんけぶる]	25-108022-01R	MC65 に電力を供給したり、USB 接続経由でホスト コンピュータと通信します。
充電専用ケーブル	25-112560-01R	電源に接続すると MC65 に電気が供給されます。
車用充電ケーブル	VCA5500-01R	車両のシガー ライターを使って MC65 を充電します。
その他		
予備の 3600mAh リチウム イオン バッテリー	BTRY-MC55EAB02	交換用 3600mAh バッテリー。
DEX ケーブル	25-127558-01R	自動販売機などの電子的なデータ交換で使します。
トリガ ハンドル	TRG5500-100R	スキャン トリガを備えたガン タイプのハンドルにより、快適で生産性の高いデータ収集が可能になります。
磁気ストライプ リーダー	MSR5500-100R	磁気ストライプ カードからデータを収集します。
ベルト装着ホルスタ (ハード タイプ)	SG-MC5511110-01R	未使用時に MC65 を収めておくベルト装着ホルスタ。
ホルスタ (ソフト タイプ)	SG-MC5521110-01R	デバイスを保護するソフトタイプのホルダー。
スタイラス	KT-119150-03R KT-119150-50R	交換用スタイラス (3 本組)。 交換用スタイラス (50 本組)。
スプリング付きスタイラス	STYLUS-00001-03R STYLUS-00001-10R	オプションのスプリング付きスタイラス (3 本組)。 オプションのスプリング付きスタイラス (10 本組)。
壁面用マウント キット	8710-050006-01R	4 スロット クレードルを壁に取り付けるのに使します。
スクリーン保護シート	KT-67525-01R	スクリーン保護シート (3 枚組)。
ソフトウェア	-	Enterprise Mobility Developer Kits (EMDKs) http://www.zebra.com/support から入手可能。

シングル スロット USB クレードル

ここでは、シングル スロット USB クレードルの使用方法について説明します。USB 通信のセットアップ手順については、『MC65 Integrator Guide』を参照してください。

シングル スロット USB クレードルには、次のような機能があります。

- MC65 の操作に必要な DC 5.4 V の電力を供給する。
- MC65 とホスト コンピュータの間で情報を同期する。MC65 とホスト コンピュータのパートナーシップのセットアップについては、『MC65 Integrator Guide』を参照してください。
- MC65 のバッテリーを充電する。
- 予備バッテリーを充電する。

MC65 バッテリーの充電

クレードルを電源に接続します。スロットに MC65 を差し込むと充電が開始します。

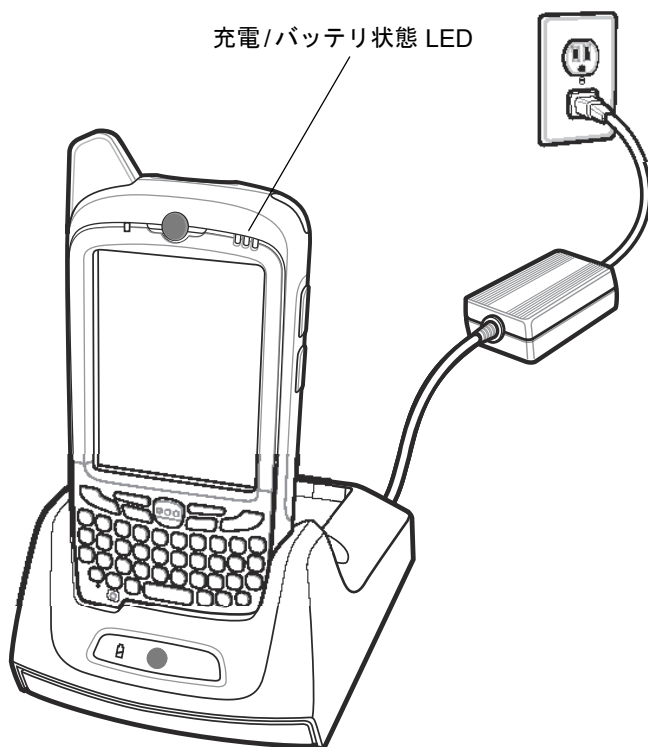


図 10-1 MC65 のバッテリーの充電

予備バッテリーの充電

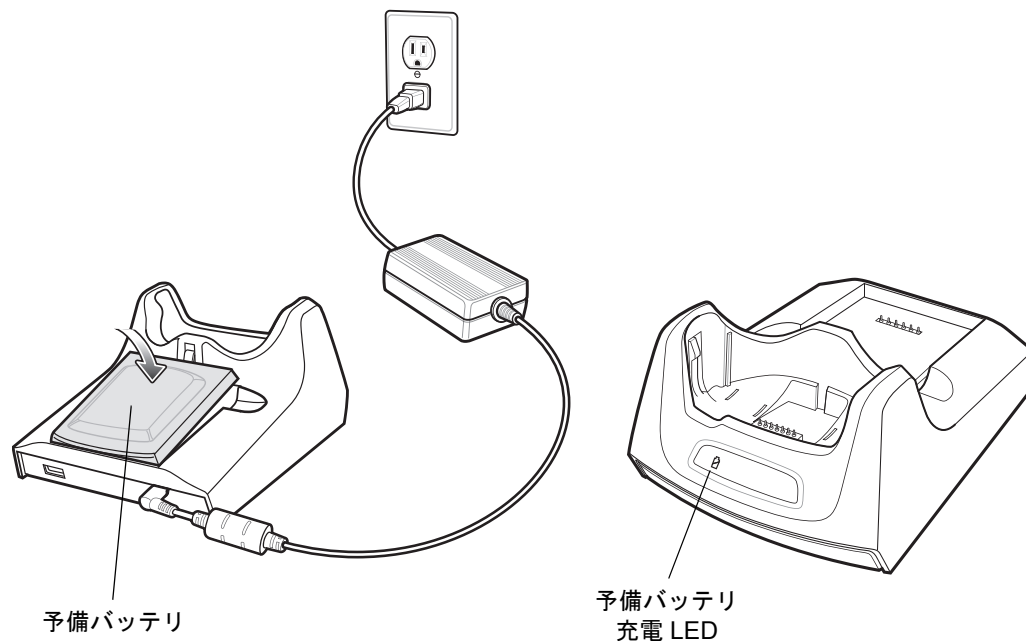


図 10-2 予備バッテリーの充電

バッテリー充電インジケータ

シングル スロット USB/Serial クレードルでは、MC65 のメイン バッテリーと予備バッテリーを同時に充電できます。

MC65 の充電 LED は、MC65 のバッテリー充電状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-6 ページの表 1-1](#)を参照してください。

クレードルの予備バッテリー充電 LED は、クレードルでの予備バッテリーの充電の状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[表 10-2](#)を参照してください。

3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ～ 40℃ の温度で行ってください。充電は、MC65 によって精密に制御されています。

温度制御を実現するため、MC65 やアクセサリは、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC65 やアクセサリの LED にエラーが表示されます。詳細については [1-6 ページの表 1-1](#)と [表 10-2](#)を参照してください。

表 10-2 予備バッテリー LED の充電インジケータ

予備バッテリー LED (クレードル上)	意味
オフ	バッテリーが充電されていないか、バッテリーがクレードルに正しく挿入されていないか、クレードルに電力が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅	予備バッテリーを充電中です。
黄色で点灯	充電が完了しました。
黄色で速く点滅	充電エラーです。

シングル スロット Ethernet/Modem/USB クレードル

CRD5500-1000XR クレードルでは、USB を使用してホスト コンピュータに接続するか、モデムを使用してダイヤルアップ ネットワークに接続するか、イーサネット ネットワークに接続できます。

クレードルの設定については『MC65 Integrator Guide』を参照してください。

国別の設定

モデムは米国の電話ネットワークで動作するようにデフォルト設定されています。モデムを他の国の電話ネットワークで動作させるには、MC65 にあるアプリケーションを使用して設定する必要があります。Zebra の Support Central Web サイト (<http://www.zebra.com/support>) から、**Cradle Modem Country Configurator Application Software for MC55xx** パッケージをダウンロードします。

ソフトウェア パッケージの指示に従って、アプリケーションを MC65 にインストールします。

このアプリケーションは、サポートされているすべての国について国名の選択ができます。選択した国の電話ネットワークに準拠するように、自動的にモデムがプログラムされ、動作パラメータが調整されます。

接続のセットアップ

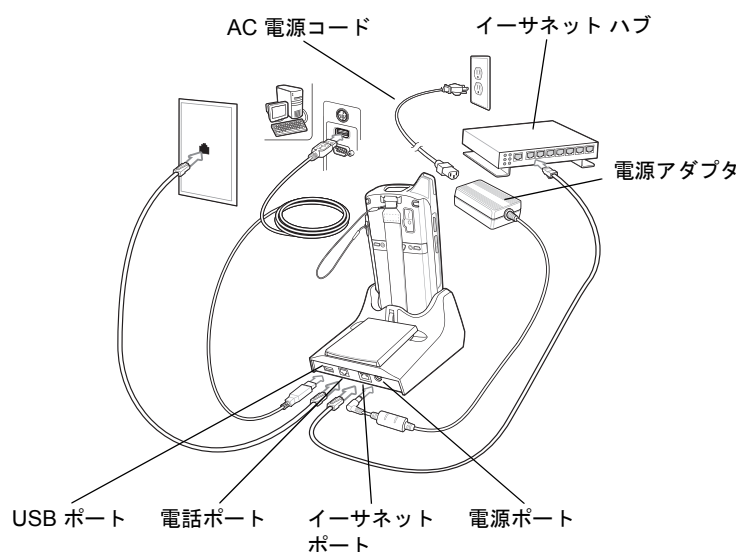


図 10-3 接続のセットアップ

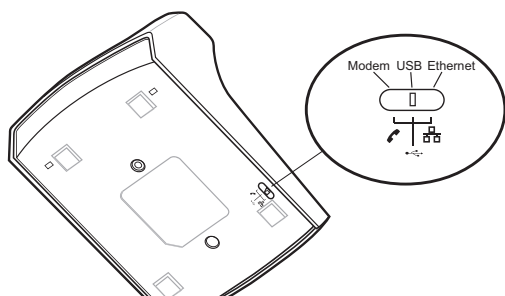


図 10-4 接続スイッチ

インジケータ

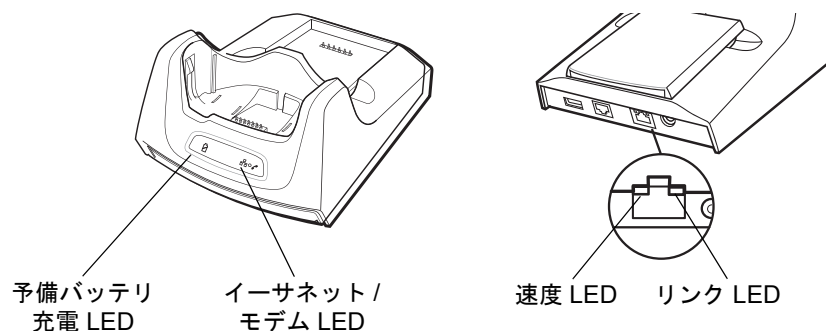


図 10-5 インジケータ

- **予備バッテリー充電 LED** - 予備バッテリーの充電状態を示します。
- **イーサネット / モデム LED** - イーサネットまたはモデムの接続が確立されると点滅します。
- **速度 LED (緑色)** - 転送速度が 100 Mbps であることを示します。点灯していない場合は、転送速度が 10Mbps であることを示します。
- **リンク LED (黄色)** - リンク確立中は点滅し、リンクが確立されると点灯します。消灯している場合は、リンクがないことを示します。

動作

- ✓ **注** CRD5500-1000XR では、動作モード間のホット スワップはできません。スイッチを切り替えた後、クレードルから MC65 をいったん取り外し、差し込み直します。

イーサネット接続

クレードルの底部にある接続スイッチをイーサネットの位置にします。

MC65 をクレードルに差し込みます。

接続をテストするには、**[スタート] > [プログラム] > [Internet Explorer]** をタップします。Web アドレスを入力します。

モデム接続

クレードルの底部にある接続スイッチをモデムの位置にします。

MC65 をクレードルに差し込みます。

MC65 により電話番号がダイヤルされて、Web サイトに接続します。

4 スロット充電専用クレードル

ここでは、MC65 で 4 スロット充電専用クレードルをセットアップし、使用方法について説明します。

4 スロット充電専用クレードルには、次のような機能があります。

- MC65 の操作に必要な DC 5.4 V の電力を供給する。
- 最大 4 台の MC65 デバイスを同時に充電する。

充電

スロットに MC65 を差し込むと充電が開始します。

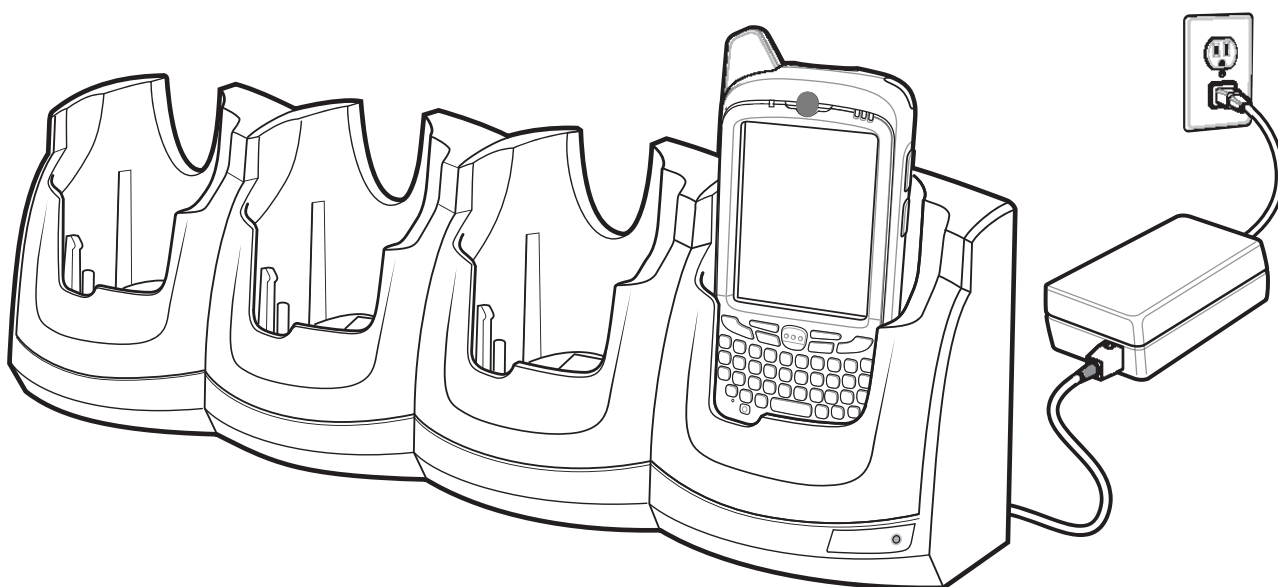


図 10-6 MC65 のバッテリーの充電

バッテリー充電インジケータ

MC65 の充電 LED は、MC65 のバッテリー充電状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-6 ページの表 1-1](#)を参照してください。

3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ～ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC65 によって精密に制御されています。

温度制御を実現するため、MC65 やアクセサリは、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC65 やアクセサリの LED にエラーが表示されます。[1-6 ページの表 1-1](#)を参照してください。

4 スロット イーサネット クレードル

ここでは、MC65 で 4 スロット イーサネット クレードルをセットアップし、使用方法について説明します。クレードル通信のセットアップ手順については、『MC65 Integrator Guide』を参照してください。

4 スロット イーサネット クレードルには、次のような機能があります。

- MC65 の操作に必要な DC 5.4 V の電力を供給する。
- 最大 4 台の MC65 をイーサネット ネットワークに接続する。
- 最大 4 台の MC65 デバイスを同時に充電する。

充電

スロットに MC65 を差し込むと充電が開始します。

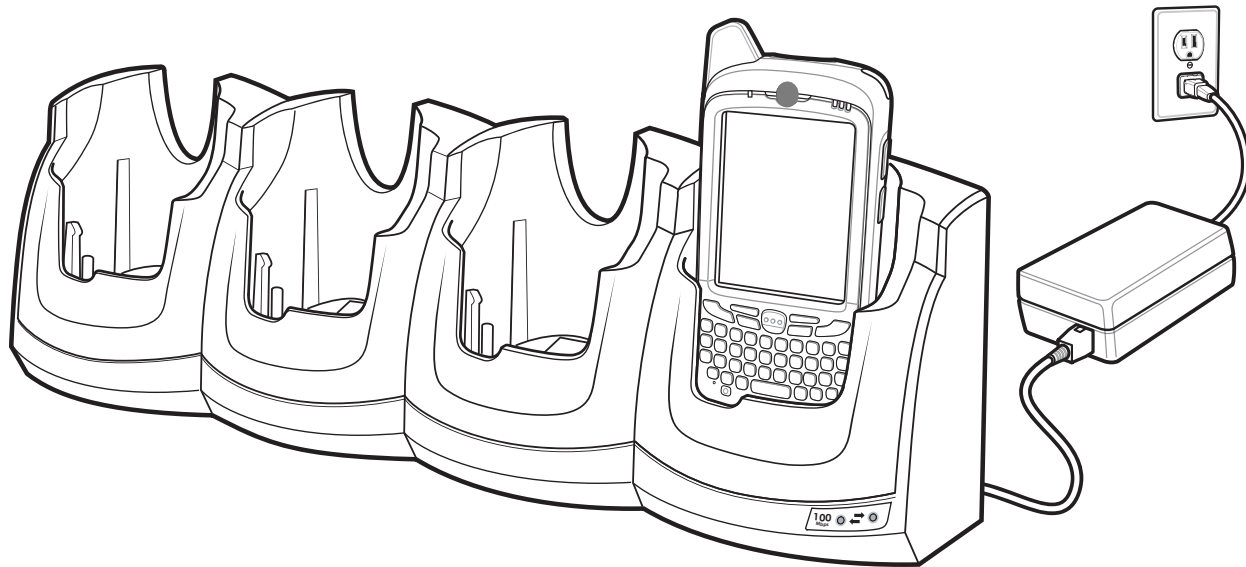


図 10-7 MC65 のバッテリーの充電

バッテリー充電インジケータ

MC65 の充電 LED は、MC65 のバッテリー充電状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-6 ページの表 1-1](#)を参照してください。

3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ～ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC65 によって精密に制御されています。

MC65 は、温度制御を実現するため、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC65 やアクセサリの LED にエラーが表示されます。[1-6 ページの表 1-1](#)を参照してください。

VCD5000 車載用クレードル

ここでは、VCD5000 車載用クレードルの使用方法について説明します。クレードルの取り付けと通信のセットアップ手順については、『MC65 Integrator Guide』を参照してください。

車両に設置すると、クレードルは次のような動作を行います。

- MC65 の固定
- MC65 の動作に必要な電力の供給
- MC65 のバッテリーの充電

MC65 バッテリーの充電

車載用クレードルに MC65 を差し込むと充電が開始します。MC65 を正しく差し込むと、カチッという音がして、所定の位置にロックされます。

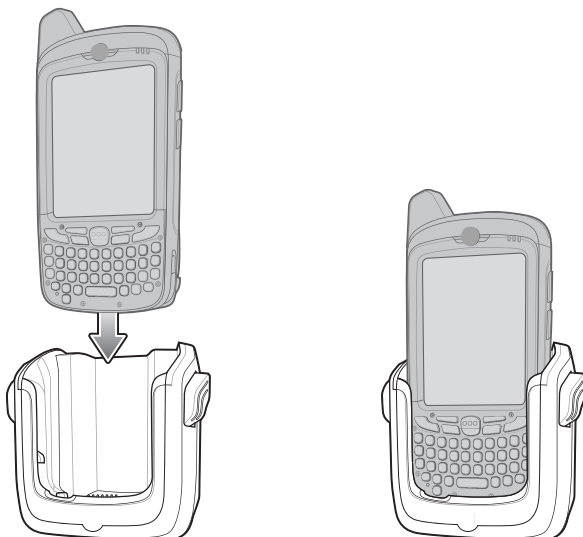


図 10-8 MC65 のバッテリーの充電



注意 MC65 がクレードルに正しく固定されていることを確認してください。適切に固定されていない場合、物的損傷または身体的損傷の原因になります。Zebra は、運転中に製品を使用したことが原因で発生したいかなる損害に対しても、その責任を負わないものとします。

MC65 の取り外し

MC65 を取り外すには、クレードルのリリース レバーを後ろに押して、MC65 を上に持ち上げてクレードルから取り外します。

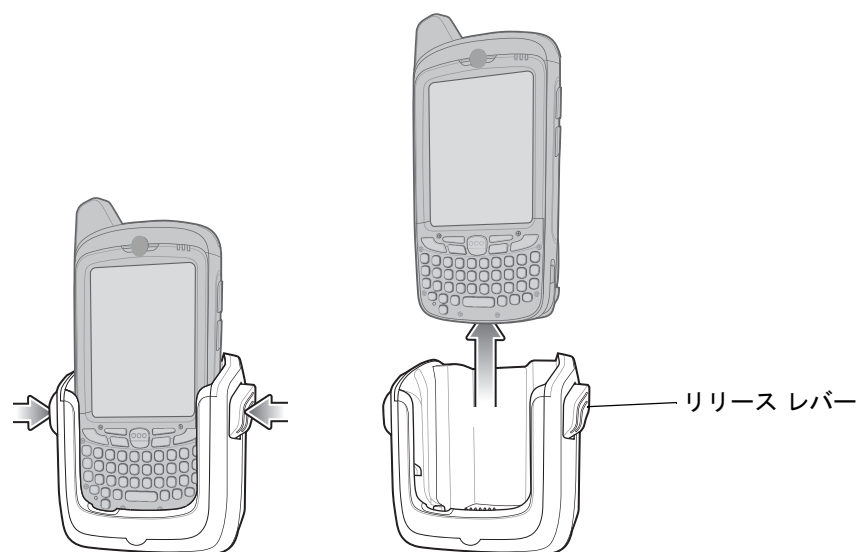


図 10-9 MC65 の取り外し

バッテリー充電インジケータ

MC65 の充電 LED は、MC65 のバッテリー充電状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-6 ページの表 1-1](#) を参照してください。

3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ～ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC65 によって精密に制御されています。

MC65 は、温度制御を実現するため、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC65 やアクセサリの LED にエラーが表示されます。[1-6 ページの表 1-1](#) を参照してください。

4 スロット バッテリー充電器

ここでは、4 スロット バッテリー充電器を使用して 4 つの MC65 バッテリーを充電する方法について説明します。

バッテリーの充電

1. 電源に充電器を接続します。
2. バッテリーをバッテリー受けに差し込み、バッテリーをゆっくり押し下げて正しく接触するようにします。

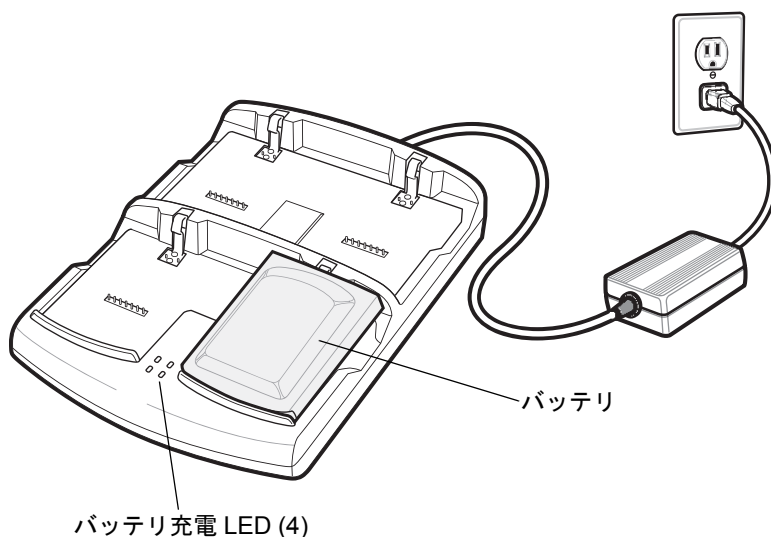


図 10-10 4 スロット予備バッテリー充電器 [4 すろっとよびばってりじゅうでんき]

バッテリー充電インジケータ

充電器には、それぞれのバッテリー受けに黄色の LED がついています。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[表 10-3](#)を参照してください。3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ～ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC65 によって精密に制御されています。

温度の制御を実現するため、充電器がバッテリーの充電を交互に有効にしたり無効にしたりして、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になったときは、充電器の LED でそれを示します。[表 10-3](#)を参照してください。

表 10-3 バッテリー LED の充電インジケータ

LED	意味
オフ	バッテリーがスロットに入っていないか、バッテリーが充電されていないか、バッテリーが充電器に正しく差し込まれていないか、充電器に電力が供給されていません。
黄色でゆっくり点滅	バッテリーを充電中です。
黄色で点灯	充電が完了しました。
黄色で速く点滅	充電エラーです。

ケーブル

ここでは、ケーブルのセットアップおよび使用方法について説明します。さまざまな接続機能がついたケーブルを使用できます。

使用可能な通信 / 充電ケーブルは次のとおりです。

- USB 充電ケーブル
 - Zebra 認定の電源から、MC65 に動作電力と充電用の電力を供給する。
 - MC65 とホスト コンピュータの間で情報を同期する。カスタマイズされたソフトウェアやサードパーティ製のソフトウェアを使用すれば、MC65 と会社のデータベースを同期することも可能です。
- 充電専用ケーブル
 - Zebra 認定の電源から、MC65 に動作電力と充電用の電力を供給する。
- 車用充電ケーブル
 - Zebra 認定の電源から、MC65 に動作電力と充電用の電力を供給する。

バッテリー充電と動作電力

通信 / 充電ケーブルでは、MC65 のバッテリーの充電と、動作電力の供給を行うことができます。

MC65 のバッテリーを充電するには、次の手順に従います。

1. 通信 / 充電ケーブルの電源入力コネクタを、Zebra によって認定された電源に接続します。
2. MC65 の下部を通信 / 充電ケーブルのコネクタ側に差し込み、カチッと音がしてはまるまでゆっくり押し込みます。
3. 2 つのロッキング タブが両方ともロックされるまで、タブを上にはスライドさせます。

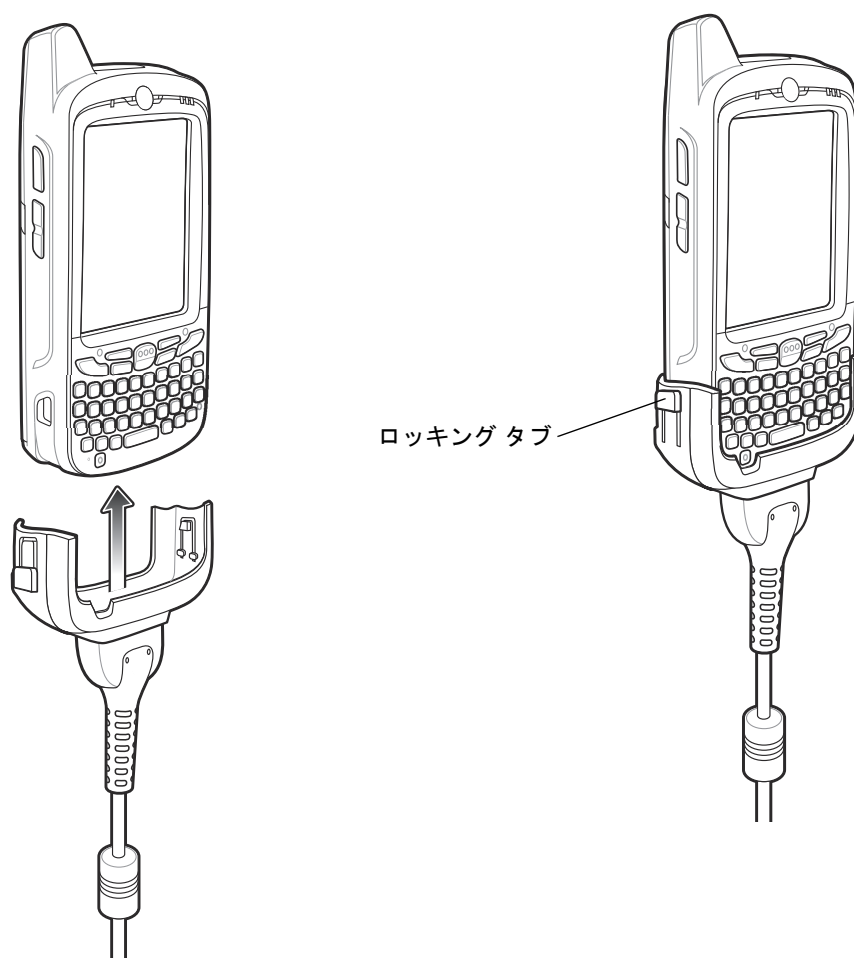


図 10-11 ケーブル カップのロッキング タブ

MC65 の黄色い充電 LED が、MC65 のバッテリーの充電状態を示します。3600mAh 標準バッテリーは 6 時間以内に充電が完了します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-6 ページの表 1-1](#) を参照してください。

4. 充電が完了したら、2 つのロッキング タブを押し下げて、ケーブルを MC65 から外します。

充電の状態を表す LED 表示

MC65 の黄色い充電 LED が、バッテリーの充電の状態を示します。充電の状態を表す LED 表示の意味については、[1-6 ページの表 1-1](#) を参照してください。

充電温度

バッテリーの充電は、0 ～ 40°C の温度で行ってください。充電は、MC65 によって精密に制御されています。

温度制御を実現するため、MC65 やアクセサリは、短時間にバッテリー充電の有効と無効を交互に切り替えて、バッテリーを許容可能な温度に保ちます。異常な温度のために充電が無効になった場合は、MC65 やアクセサリの LED にエラーが表示されます。[1-6 ページの表 1-1](#) を参照してください。

車載用ホルダー



警告 車両のダッシュボードやフロントガラスへの電子デバイスの取り付けが一切禁止されている国もあります。車載キットを取り付ける前に、各地域の法規則で、取り付け可能な場所を確認してください。

取り付けに関する注意事項

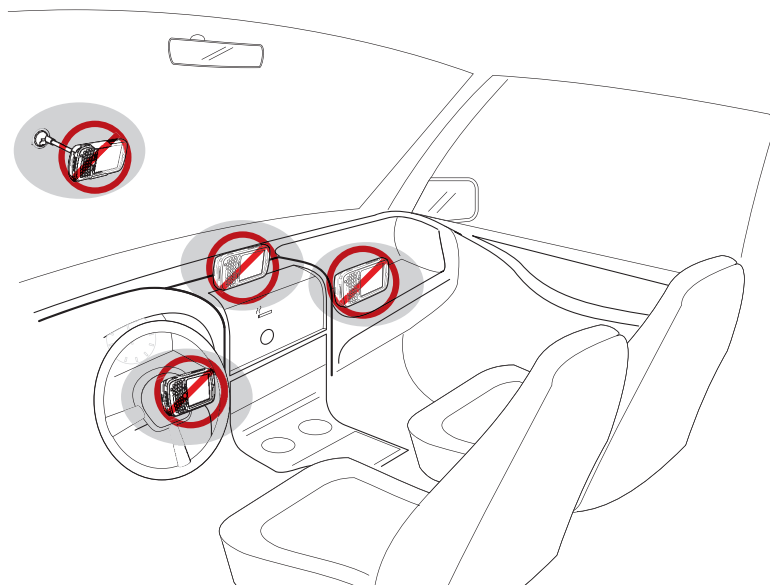


図 10-12 車載用ホルダーの取り付け

- 道路へのドライバーの視界をさえぎるような位置には車載用ホルダーを取り付けしないでください。
- 運転席のエアバッグの設置領域付近には車載用ホルダーを取り付けしないでください。
- MC65 を、ダッシュボードの上など、車載用ホルダーで固定できない場所に置かないでください。
- 助手席のエアバッグの設置領域付近には車載用ホルダーを取り付けしないでください。
- 車載用ホルダーは、埃や油の付いていない平らな面に取り付けてください。

デバイスの取り付けに関する注意事項

- 車両のダッシュボードへの電子デバイスの取り付けが一切禁止されている国もあります。車載用ホルダーを取り付ける前に、各地域の法規則で、取り付け可能な場所を確認してください。
- 車内の冷暖房によって吸着カップの吸着力がゆるくなる場合があります。装置を使用するたびに、車載キットの真空シールに十分な吸着力があるかどうか確認し、必要は場合は、取り付けし直してください。
- 車載用ホルダーの固定に問題がある場合は、プラスチックの吸着カップをアルコールで清掃してから、再度取り付けてください。

機器の設置

車載用器具は、埃や油の付いていない平らな面に取り付けてください。ガラス クリーナーときれいな木綿布で取り付け面を清掃します。フロントガラスなど、車内の平らな面に、付属品の取り付け用ディスクを使用して車載用器具を取り付けます。

アセンブリ

1. 車載ホルダーのクレードル プレートをクレードルの背面の穴に差し込みます。
2. プレートとクレードルがしっかりかみ合うまでクレードルを押し下げます。

フロントガラスへの取り付け

1. 吸着カップ取り付け具を、吸着レバーが上を向くようにして、取り付け領域に固定します。

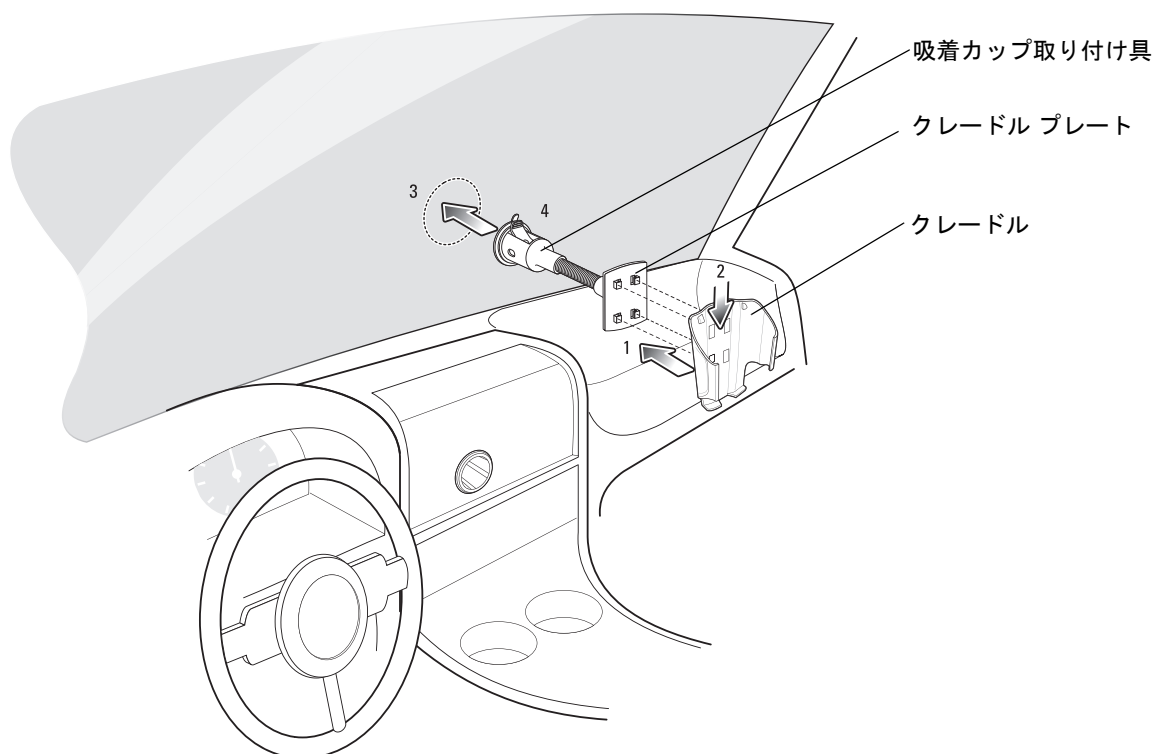


図 10-13 フロントガラスへの取り付け

2. レバーを下に動かし、吸着カップと取り付け面の間を真空にします。
3. 次の手順に進む前に、吸着力が十分に強力であることを確認します。
4. MC65 をクレードルに差し込みます。

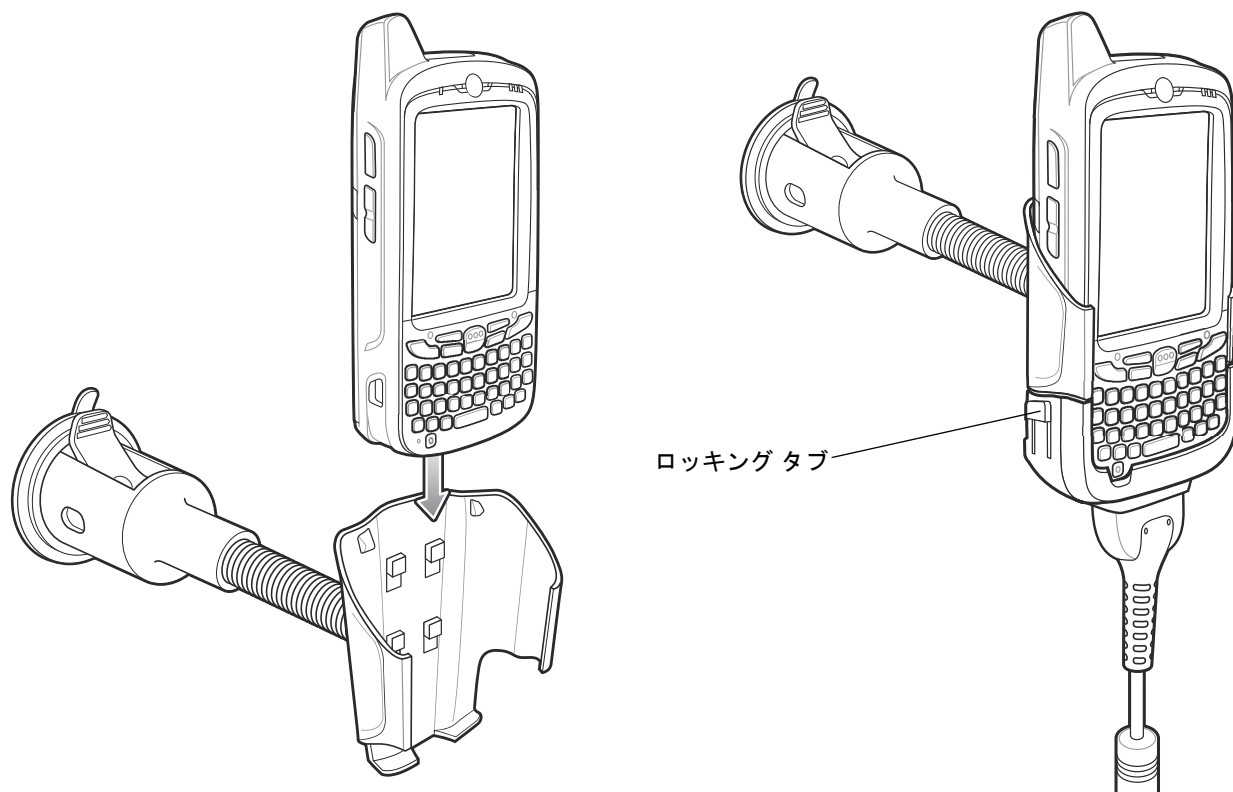


図 10-14 MC65 の車載用ホルダーへの挿入

5. 車用充電ケーブルを MC65 に接続し、MC65 にケーブル カップが固定されるまで、2つのロッキング タブを上スライドさせます。
 6. ケーブルの反対側をシガー ソケットに接続します。
- 充電中は、タッチ スクリーンの右側にある LED インジケータがオレンジ色に点灯します。

平らな面への取り付け

1. 取り付け用ディスクの底面のプラスチックシートを外します。
2. ディスクを、粘着側を下にして、平らできれいな面に置きます。

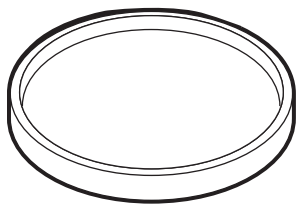


図 10-15 ディスクの取り付け

3. 吸着カップ取り付け具を、吸着レバーが上を向くようにして、ディスクに固定します。
4. レバーを下に動かし、吸着カップとディスクの間を真空にします。
5. 次の手順に進む前に、吸着力が十分に強力であることを確認します。
6. MC65 をクレードルに差し込みます。

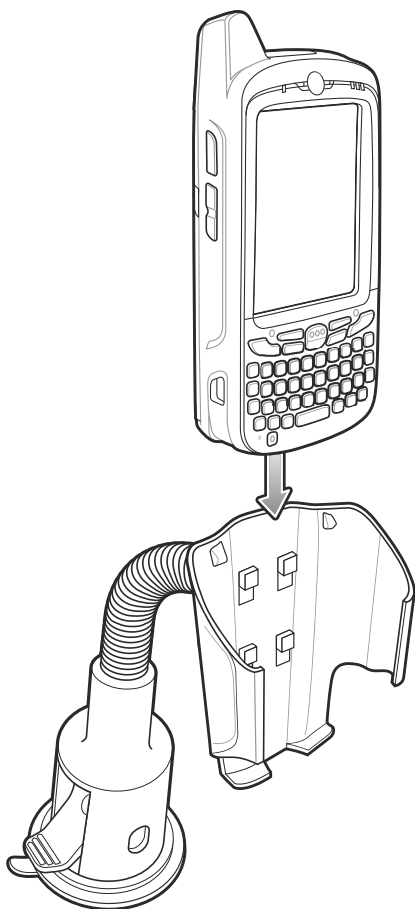


図 10-16 平らな面に取り付けた車載用ホルダー

7. 車用充電ケーブルを MC65 に接続し、MC65 にケーブル カップが固定されるまで、2つのロックング タブを上スライドさせます。
8. ケーブルの反対側をシガー ソケットに接続します。
充電中は、タッチ スクリーンの右側にある LED インジケータがオレンジ色に点灯します。

第 11 章 メンテナンスとトラブルシューティング

はじめに

この章では、MC65 のクリーニングと保管方法、および MC65 の操作中に発生する可能性のある問題のトラブルシューティングについて説明します。

MC65 のメンテナンス

トラブルを避けるため、MC65 の使用中は次の注意事項を守ってください。

- MC65 の画面を引っかかないでください。MC65 の操作中は、付属のスタイラス、またはタッチスクリーンでの使用を目的とした先端がプラスチックのペンをご使用ください。MC65 の画面の表面で、実際のペンや鉛筆、その他の鋭いものを使用しないでください。

スクリーン保護シート (部品番号 KT-67525-01R) の使用をお勧めします。

- MC65 のタッチスクリーンはガラス製です。MC65 を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- MC65 は極度の高温または低温にさらさないでください。暑い日に車のダッシュボードに置いたままにしたり、熱源のそばに置いたりしないでください。
- ほこりや湿気が極端に多い場所では、MC65 の保管や利用を避けてください。
- MC65 をクリーニングするには、レンズ用の柔らかい布を使用してください。MC65 のディスプレイが汚れた場合は、柔らかい布に薄めた窓ガラス洗剤を湿らせてクリーニングします。
- バッテリーの寿命と製品の性能を最大限に活用するために、充電式バッテリーは定期的に交換してください。バッテリーの寿命は、ユーザーの利用状況によって異なります。

- MC65 には、スクリーン保護シートが貼られています。スクリーンのキズや磨耗を低減させるため、このシートを使用することをお勧めします。これにより、タッチ スクリーンの寿命が延びます。保護シートを使用する利点は以下のとおりです。
 - スクリーンを保護し、キズを防ぐ
 - スタイラスの使用によるスクリーン表面の感度低下を防ぐ
 - 磨耗や薬品からスクリーンを保護する
 - 光の反射を抑える
 - スクリーンを新品同様の状態に保つ
 - 迅速かつ簡単に取り付けられる

スクリーン保護シートを取り外す

MC65 には、スクリーン保護シートが貼られています。スクリーンのキズや磨耗を低減させるため、このシートを使用することをお勧めします。これにより、タッチ スクリーンの寿命が延びます。

スクリーン保護シートを取り外すには、クレジットカードなどのプラスチック製の薄いカードで角を持ち上げて、ディスプレイから慎重に剥がします。

スクリーン保護
シートの角を
持ち上げます



図 11-1 スクリーン保護シートを取り外す



注意 とがったものを使ってスクリーン保護シートを剥がさないでください。ディスプレイを傷める可能性があります。



注 スクリーン保護シートを使用していない場合、保証条項の適用範囲に影響する場合があります。交換用のスクリーン保護シートのご購入については、各国の担当者または Zebra までお問い合わせください。スクリーン保護シートの取り付け方法に関する説明書も付属しています。P/N: KT-67525-01R スクリーン保護シート 3 枚組

バッテリーの安全に関するガイドライン

- 装置を充電する場所には埃が溜まらないようにしてください。また、近くに可燃性の物質および薬品を置かないでください。業務環境以外で装置を充電する場合は、特に細心の注意を払ってください。
- バッテリーの使用、保管、および充電については、ユーザー ガイドに記載されているガイドラインに従ってください。
- バッテリーを正しく使用しないと、火災、爆発、またはその他の事故の原因となる場合があります。
- モバイル デバイス バッテリーを充電する場合は、バッテリーと充電器の温度を、0°C ~ +40°C (32°F ~ 104°F) に保つ必要があります。
- 互換性のないバッテリーおよび充電器は使用しないでください。互換性のないバッテリーまたは充電器を使用すると、火災、爆発、液漏れ、またはその他の事故の原因となる場合があります。バッテリーまたは充電器の互換性についてご質問のある場合は、Zebra サポートにお問い合わせください。
- USB ポートを充電用の電源として 利用するデバイスは、USB-IF のロゴのある製品か、USB-IF コンプライアンス プログラムで認証された製品のみに接続することができます。
- IEEE1725 の 10.2.1 の要件に従った承認済みバッテリーを認証するため、すべてのバッテリーに、ホログラムを添付しています。認証ホログラムを確認せずにバッテリーを取り付けしないでください。
- 分解または外殻を開くこと、粉碎、屈曲または変形、穿孔、もしくは切断を行わないでください。
- バッテリー駆動式の装置を硬い面に落とすと、バッテリーがオーバーヒートする原因になる可能性があります。
- バッテリーをショートさせたり、金属や導電性の物体をバッテリー ターミナルに接触させたりしないでください。
- 改造や再加工、バッテリー内部への異物の挿入、水やその他の液体への浸漬または暴露、または火、爆発あるいはその他の危険物への暴露を行わないでください。
- 駐車中の車両内、またはラジエータやその他の熱源の近くなど、高温になる可能性のある場所あるいはその近くに、機器を放置または保管しないでください。バッテリーを電子レンジや乾燥機に入れないでください。
- 児童がバッテリーを使用する場合は、保護者の監督が必要です。
- 使用済みの充電式バッテリーは、現地の法令に適切に従って廃棄してください。
- バッテリーを廃棄するときは焼却しないでください。
- バッテリーが液漏れした場合は、漏れた液体が皮膚や目に触れないようにしてください。触れてしまった場合は、接触部位を大量の水で洗い流し医師の診断を受けてください。
- 機器またはバッテリーの破損が疑われる場合は、Zebra サポートに検査を依頼してください。

クリーニングする



注意 必ず保護用めがねを着用してください。

ご使用前に、圧縮空気とアルコールに関する警告ラベルをお読みください。

医学的な理由などで他の溶液を使用する必要がある場合は、Zebra に詳細をお問い合わせください。



警告 高温の油やその他の可燃性の液体に製品を触れさせないでください。万一そのような液体に触れた場合は、製品を電源から抜き、このガイドラインに従って直ちに製品をクリーニングしてください。

必要な材料

- アルコール脱脂綿
- レンズ用ティッシュ ペーパー
- 綿棒
- イソプロピル アルコール
- 管つき圧縮空気の缶

MC65 のクリーニング

筐体

アルコール脱脂綿で筐体を拭きます。キーやキーの間の部分も拭きます。

ディスプレイ

ディスプレイはアルコール脱脂綿で拭いてもかまいません。ただし、ディスプレイの端の周囲に液体がたまらないように注意してください。すぐに柔らかい布でディスプレイを乾かします。このとき、傷が付かないよう、目の粗い布は使わないでください。

スキャナ ウィンドウ

レンズ用ティッシュ ペーパーまたはメガネなど光学材料のクリーニングに適した用具で定期的にスキャナ ウィンドウを拭いてください。

コネクタ

1. モバイル コンピュータからメイン バッテリを取り外します。1-8 ページの「バッテリーを交換する」を参照してください。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、MC65 の下部のコネクタ部分を軽くこすります。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. これを 3 回以上繰り返します。
5. アルコールに浸した綿棒で、コネクタ部付近の油分や埃を拭き取ります。
6. 乾いた綿棒で、ステップ 4 ～ 6 を繰り返します。
7. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。



注意 ノズルを自分や他の人に向けしないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

8. コネクタ部に油分や埃が残っていないか確認して、必要であればクリーニングを繰り返します。

クレードルのコネクタのクリーニング

クレードルのコネクタをクリーニングするには、次の手順に従います。

1. クレードルから DC 電源ケーブルを取り外します。
2. 綿棒のコットン部をイソプロピルアルコールに浸します。
3. 綿棒のコットン部で、コネクタのピンに沿って拭きます。コネクタの片側から反対側に向けて、ゆっくり綿棒を往復させます。コネクタにコットンの屑が残らないようにしてください。
4. コネクタの全面も、綿棒で拭く必要があります。
5. 圧縮空気をコネクタ部にスプレーします。このとき、圧縮空気の管やノズルを表面から約 1.2cm 以上離してください。



注意 ノズルを自分や他の人に向けないでください。ノズルや管は自分の顔に向けないようにしてください。

6. 綿棒の屑が残っていないことを確認し、屑が残っていれば取り除きます。
7. クレードルの他の部分に油分や埃が見つかった場合は、糸くずの出ない布とアルコールを使用して取り除きます。
8. アルコールが蒸発するまで 10 ～ 30 分 (周辺の温度と湿度による) 置いてから、クレードルに電源をつないでください。

気温が低く湿度が高い場合は、長い乾燥時間が必要となります。気温が高く湿度が低い場合は、乾燥時間が短くて済みます。

クリーニングの頻度

モバイル デバイスが使用される環境がそれぞれ異なるため、クリーニングの頻度はユーザーの判断で行ってください。必要に応じた頻度でクリーニングを行うことができます。ただし、埃の多い環境で使用する場合は、スキャンのパフォーマンスを最適に保つため、スキャナ ウィンドウを定期的にクリーニングすることをお勧めします。

トラブルシューティング

MC65

表 11-1 MC65 のトラブルシューティング

現象	原因	対処方法
電源ボタンを押しても MC65 の電源がオンにならない。	バッテリーが充電されていない。	MC65 のバッテリーを充電または交換します。
	バッテリーが適切に取り付けられていない。	バッテリーを適切に取り付けます。 1-4 ページの「バッテリーの取り付け」 を参照してください。
	システムがクラッシュしている。	リセットします。 2-20 ページの「MC65 をリセットする」 を参照してください。

表 11-1 MC65 のトラブルシューティング (続き)


現象	原因	対処方法
電源ボタンを押しても、MC65 の電源がオンにならないが、LED が 2 つ点灯する。	データを維持できるレベルのバッテリー残量があるが、充電が必要。	MC65 のバッテリーを充電または交換します。
充電式バッテリーが充電されない。	バッテリーに問題がある。	バッテリーを交換してください。それでも MC65 が動作しない場合は、リセットします。 2-20 ページの「MC65 をリセットする」 を参照してください。
	バッテリーの充電中に MC65 をクレードルから取り外した。	MC65 をクレードルに差し込みます。3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。
ディスプレイの文字が見えない。	MC65 の電源がオンになっていない。	電源ボタンを押します。
データ通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	通信中に、MC65 をクレードルから取り外したか、ホストコンピュータから切断した。	MC65 をクレードルに置き直すか、通信ケーブルをつなぎ直して再度転送を行います。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアのインストールや構成が正しくない。	セットアップを実行します。詳細については『MC65 Integrator Guide』を参照してください。
音が鳴らない。	音量設定が低いかわずかオフになっている。	音量を調整します。 2-19 ページの「音量を調節する」 を参照してください。
MC65 の電源が突然切れる。	MC65 が非アクティブになっている。	MC65 は一定の時間非アクティブになっていると電源がオフになります。MC65 をバッテリー電源で使用している場合は、その時間を 1 ～ 5 分 (1 分刻み) で設定します。 ステータス バー >  をタップして、[Power] (電源) ウィンドウを確認します。
	バッテリーが完全に放電してある。	バッテリーを交換します。
	バッテリーが適切に差し込まれていない。	バッテリーを正しく差し込みます。 1-4 ページの「バッテリーの取り付け」 を参照してください。

表 11-1 MC65 のトラブルシューティング (続き)

現象	原因	対処方法
ウィンドウのボタンやアイコンをタップしても、対応する機能が動作しない。	スクリーンが正しく調整されていない。	スクリーンを再調整します。ブルー キー - Backspace キーの順に押します。
	デバイスの反応がない。	デバイスをリセットします。 2-20 ページの「MC65 をリセットする」 を参照してください。
MC65 のメモリが満杯というメッセージが表示される。	MC65 に保存されているファイルが多すぎる。	使用しないメモや記録を削除します。必要に応じて、その記録をホスト コンピュータに保存します (または SD カードを使用してメモリを追加します)。
	MC65 にインストールされているアプリケーションが多すぎる。	ユーザーが MC65 にインストールしたアプリケーションを削除し、メモリを復元します。 [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) タブを選択し、 Remove Programs (プログラムの削除) アイコンをタップします。使用していないプログラムを選択し、 [Remove] (削除) をタップします。
カメラ アプリケーションが起動しない。	DataWedge アプリケーションが実行中である。	DataWedge アプリケーションを終了します。 [Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Task Manager] (タスク マネージャ) をタップします DataWedge アプリケーションを選択して、 [End Task] (タスクの終了) をタップします。
MC65 で読み取ったバーコードをデコードしない。	スキャン アプリケーションがロードされていない。	MC65 にスキャン アプリケーションをロードします。システム管理者にお問い合わせください。
	バーコードを読み取れない。	コードに汚れがないことを確認します。
	スキャナ ウィンドウとバーコードとの距離が適切ではない。	MC65 を正しいスキャン範囲に置きます。
	バーコード用に MC65 が設定されていない。	スキャンするバーコードに対応するように、MC65 を設定します。EMDK または Control Panel アプリケーションを参照します。
	MC65 がビープ音を鳴らすように設定されていない。	正しく読み取ったときに MC65 がビープ音を鳴らさない場合は、正しく読み取ったときにビープ音を鳴らすようにアプリケーションを設定します。
	バッテリー残量が少なくなっている。	スキャナのトリガを押したときにレーザ光線の放射が停止する場合は、バッテリー レベルを確認します。バッテリー残量が少なくなっていると、MC65 がバッテリー残量が少ないことを通知する前に、スキャナがシャットオフします。 注: この対処法を実行してもスキャナがコードを読み取らない場合は、代理店または Zebra にお問い合わせください。

表 11-1 MC65 のトラブルシューティング (続き)

現象	原因	対処方法
エラー メッセージ 「SIM Error.Cannot save information to the SIM」 (SIM エ ラー。SIM に情報を 保存できません) は、 連絡先を SIM カード にコピーするときに 表示されます。	一部の SIM カード では機能がサポー トされません。	1 人の連絡先のコピー中にエラーが表示された場合は、MC65 を 再起動してください。再起動後にその連絡先は SIM カードで 表示されます。
		複数の連絡先のコピー中にエラーが表示された場合は、一度 に 1 人の連絡先をコピーし、上記の解決策に従ってください。
		Microsoft Outlook Exchange と ActiveSync を使用すると、 ホスト コンピュータの Microsoft Outlook と連絡先を同期で きます。

Bluetooth の接続

表 11-2 Bluetooth の接続に関するトラブルシューティング


現象	原因	対処方法
MC65 が近くの Bluetooth デバイスを 検出できない。	他の Bluetooth デバ イスから遠すぎる。	他の Bluetooth デバイスから 10 m (32.8 フィート) 以内に ES400 を近づけます。
	近くの Bluetooth デ バイスの電源がオン になっていない。	検出するには、近くの Bluetooth デバイスの電源をオンにし ます。
	Bluetooth デバイス が検出可能なモード になっていない。	Bluetooth デバイスを検出可能なモードに設定します。必要に 応じて、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

シングル スロット USB クレードル

表 11-3 シングル スロット USB クレードルのトラブルシューティング



症状	考えられる原因	アクション
MC65 のバッテリーま たは予備バッテリーを 差し込んでも LED が 点灯しない。	クレードルに電 力が供給されて いない。	電源ケーブルが、クレードルと AC 電源の両方にしっかり接 続されていることを確認します。
	MC65 がクレードル にしっかりセット されていない。	MC65 をクレードルから取り外して、しっかりセットされる ように差し込み直します。
	予備バッテリーがク レードルにしっかり セットされてい ない。	予備バッテリーを充電スロットから取り外して、しっかりセッ トされるように差し込み直します。

表 11-3 シングル スロット USB クレードルのトラブルシューティング (続き)

症状	考えられる原因	アクション
MC65 バッテリーが充電されない。	MC65 をクレードルから、またはクレードルを AC 電源から抜くのが早すぎた。	クレードルに電力が供給されていることを確認します。MC65 が正しくセットされていることを確認します。 ステータス バー >  をタップして、メイン バッテリーが充電中であることを確認します。3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC65 がクレードルに完全にセットされていない。	MC65 をクレードルから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
	バッテリーが極端な高温か低温になっている。	周辺温度が 0°C 未満になるか 40°C を超えると、バッテリーは充電されません。
予備バッテリーが充電されない。	バッテリーが充電スロットに完全にセットされていない。	予備バッテリーをクレードルから取り外して、しっかりセットされるように差し込み直します。
	バッテリーが正しく差し込まれていない。	バッテリーの充電端子とクレードルの端子を合わせて、バッテリーを差し込み直します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
データ通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	MC65 が通信中にクレードルから取り外された。	MC65 をクレードルに戻し、転送し直します。
	通信ソフトウェアが正しくインストールまたは設定されていない。	『MC65 Integrator Guide』の説明のとおりセットアップを実行します。

4 スロット イーサネット クレードル

表 11-4 4 スロット イーサネット クレードルのトラブルシューティング

症状	原因	対処方法
通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	MC65 が通信中にクレードルから取り外された。	MC65 をクレードルに戻し、転送し直します。
	MC65 にアクティブな接続が存在しない。	接続がアクティブになっている場合は、ステータス バーにアイコンが表示されます。
バッテリーが充電されない。	クレードルから MC65 を取り外すのが早すぎた。	MC65 をクレードルに差し込み直します。3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。 ステータス バー >  をタップして、バッテリー状態を表示します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC65 がクレードルに正しく差し込まれていない。	MC65 を取り外して正しく差し込み直します。充電がアクティブになっていることを確認します。 ステータス バー >  をタップして、バッテリー状態を表示します。
	クレードルの周辺温度が高すぎる。	クレードルを、周辺温度が 0 ~ 50°C の場所に移動します。

車載用クレードル

表 11-5 車載用クレードルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
MC65 のバッテリー充電 LED が点灯しない。	クレードルに電力が供給されていない。	電源入力ケーブルが、クレードルの電源ポートにしっかりと接続されていることを確認してください。
MC65 バッテリーが充電されない。	クレードルから MC65 を取り外すのが早すぎた。	MC65 をクレードルに差し込み直します。3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。
	バッテリーが故障している。	バッテリーを交換します。
	MC65 がクレードルに正しく差し込まれていない。	クレードルから MC65 を取り外し、正しく差し込み直します。それでもバッテリーが充電されない場合は、カスタマ サポートにお問い合わせください。 MC65 が正しく差し込まれ、充電されている場合、MC65 のバッテリー充電 LED が黄色でゆっくりと点滅します。
	クレードルの周辺温度が高すぎる。	クレードルを、周辺温度が -20°C ~ 50°C (-4°F ~ 122°F) の場所に移動します。


4 スロット予備バッテリー充電器[4すろっとよびばってりじゅうでんき]

表 11-6 4 スロット バッテリー充電器のトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
バッテリーが充電されない。	バッテリーを充電器から取り外したり、充電器を AC 電源から抜くのが早すぎた。	バッテリーを充電器に差し込み直すか、充電器の電源を接続し直します。3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	バッテリーの端子が充電器に接続されていない。	バッテリーが、端子を下にしてバッテリー受けに正しくセットされていることを確認します。

ケーブル

表 11-7 ケーブルのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
MC65 バッテリーが充電されない。	MC65 を AC 電源から抜くのが早すぎた。	電源ケーブルを正しく接続します。ステータス バー >  をタップして、メイン バッテリーが充電中であることを確認します。3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が完了します。
	バッテリーが故障している。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC65 が電源にしっかり接続されていない。	MC65 から電源ケーブルを抜いて差し込み直し、しっかり接続されていることを確認します。
データ通信中に、データが転送されないか、転送されたデータが不完全である。	通信中に、MC65 からケーブルが抜けた。	ケーブルを差し込み直して転送をやり直します。
	ケーブルの構成が正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェアが正しくインストールまたは設定されていない。	『MC65 Integrator Guide』の説明のとおりセットアップを実行します。

磁気ストライプリーダー

表 11-8 磁気ストライプリーダーのトラブルシューティング

症状	考えられる原因	アクション
MSR がカードを読み取れない。	カードを通して いる間に MSR が MC65 から外れた。	MSR を MC65 に取り付け直して、カードを再度通します。
	カードの磁気 ストライプが 壊れている。	システム管理者にお問い合わせください。
	MSR アプリケー ションが正しく インストール または設定され ていない。	MC65 に MSR アプリケーションがインストールされている ことを確認します。 MSR アプリケーションが正しく設定されていることを確認 します。
MC65 バッテリーが 充電されない。	MC65 を MSR から、または MSR を AC 電源 から抜くのが早ず ぎた。	MSR に電力が供給されていることを確認します。MC65 が 正しくセットされていることを確認します。[Start] (スター ト) > [Settings] (設定) > [System] (システム) > [Power] (電源) と選択して、メイン バッテリーが充電されていることを 確認します。3600mAh バッテリーは 6 時間以内にフル充電が 完了します。
	バッテリーが故障し ている。	他のバッテリーが正しく充電されるか確認します。充電される 場合は、故障したバッテリーを交換します。
	MC65 が MSR に しっかり接続され ていない。	MC65 から MSR を抜いて差し込み直し、しっかり接続され ていることを確認します。
データ通信中に、 データが転送され ないか、転送された データが不完全で ある。	通信中に MC65 が MSR から外れた。	MC65 を MSR に取り付け直し、再度転送します。
	ケーブルの構成が 正しくない。	システム管理者にお問い合わせください。
	通信ソフトウェア が正しくインス トールまたは設定 されていない。	『MC65 Integrator Guide』の説明のとおりセットアップを 実行します。

付録 A 技術仕様

MC65 の技術仕様

次の表に、EDA の設計動作環境とハードウェアの技術仕様を示します。

MC65

表 A-1 MC65 EDA の技術仕様

項目	説明
外観・機能など	
寸法	高さ : 16.2cm (6.38 インチ) 幅 : 7.7cm (3.03 インチ) 奥行き : 3.4cm (1.32 インチ)
重量	359 g (12.5 オンス)
ディスプレイ	カラー 3.5 インチ VGA、バックライト搭載、65,536 色、480 (W) x 640 (L)
タッチ パネル	ガラス製アナログ抵抗膜式
バックライト	LED バックライト
バッテリー パック	充電式リチウム イオン バッテリー 3.7 V、3600mAh バッテリー
拡張スロット	microSD スロット (最大 32GB 対応)
接続インタフェース	USB 2.0 ハイ スピード (ホストおよびクライアント)
通知	可聴音および多色 LED
キーパッド オプション	数字、QWERTY、AZERTY、QWERTZ、DSD、または PIM
オーディオ	デュアル マイクをサポート (雑音消去機能付き)、バイブレータ通知、スピーカー、Bluetooth ヘッドセット

表 A-1 MC65 EDA の技術仕様 (続き)

項目	説明
性能	
CPU	MSM Qualcomm 7627@ 600MHz (マルチプロセッサ アーキテクチャ)
オペレーティング システム	Microsoft® Windows Mobile™ 6.5 Professional
メモリ	256MB RAM/1GB フラッシュまたは 512MB RAM/1GB フラッシュ
出力	USB: 5VDC @ 300mA (最大)
動作環境	
動作温度	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃性能	動作温度範囲下で 6 フィート (2 m) の高さから複数回落下 (MIL-STD 810G の仕様に準拠) 室温で 5 フィート (1.22m) の高さからコンクリート面へ複数回落下後、動作可能。 動作温度範囲下で 4 フィート (1.22m) の高さからコンクリート面へ複数回落下後、動作可能。
転倒衝撃	室温環境下で 1,000 回の 1.6 フィート /0.5m 耐転倒衝撃。該当する IEC 耐転倒衝撃仕様に準拠
静電気放電 (ESD)	± 15kVdc 大気放電、± 8kVdc 直接放電、± 8kVdc 間接放電
シーリング加工	IP64 (該当する IEC シーリング加工仕様に適合)
振動	4G PK サイン波 (5Hz ~ 2KHz)、0.04g2/Hz ランダム (20Hz ~ 2KHz)、試験時間は 1 軸あたり 60 分間で 3 軸実施
耐熱衝撃性	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F) の急激な温度変化
バッテリーの性能	
スタンバイ時間	100 時間
通話時間	6 時間
ユーザー プロファイル	8 時間
Zebra のインタラクティブ センサー テクノロジ (IST)	
運動センサー	スクリーンの向きの動的変更および電源管理を可能にする、3 軸式加速度計を利用した運動センサー機能を装備
光センサー	周辺光センサーによりディスプレイとキーパッドのバックライトの明るさを自動調整

表 A-1 MC65 EDA の技術仕様 (続き)

項目	説明
無線 WAN データおよび音声通信	
無線	デュアル 3.5G: GSM HSPA/HSUPA および CDMA EVDO Rev A
周波数	UMTS/HSDPA および HSUPA: 850、1900 および 2100MHz GSM/EDGE: (850、900、1800、および 1900MHz) CDMA/EVDO Rev A: 850 および 1900MHz
アンテナ	外部
無線 LAN データ / 音声通信	
無線	3 モード IEEE® 802.11a/b/g
サポートされているデータ伝送速度	1、2、5.5、6、9、11、12、18、24、36、48、54Mbps
動作チャンネル	チャンネル 36 ~ 165 (5180 ~ 5825MHz) チャンネル 1 ~ 13 (2412 ~ 2472MHz) チャンネル 14 (2484MHz) 日本のみ 実際の動作チャンネル/周波数は、各地域の規制および承認機関によって異なります
セキュリティ	WPA2 (Personal または Enterprise)、802.1x、EAP-TLS、TTLS (CHAP、MS-CHAP、MS-CHAPv2、PAP、または MD5)、PEAP (TLS、MSCHAPv2、EAP-GTC)、LEAP、EAP-FAST (TLS、MS-CHAPv2、EAP-GTC)
アンテナ	内部アンテナ
音声通信	VoIP 対応、Wi-Fi™ 準拠、IEEE 802.11a/b/g ダイレクト シーケンス無線 LAN、Wi-Fi Multimedia™ (WMM および WMM-PS)、Zebra Voice Quality Manager (VQM)、Zebra TEAM Express 対応
無線 PAN データ / 音声通信	
Bluetooth	Class II、v 2.1 Enhanced Data Rate (EDR)、内蔵アンテナ
グローバル ポジショニング システム	
GPS	統合スタンドアロンまたはアシスト GPS (A-GPS)
データ収集仕様	
オプション	2D イメージャーおよびカラー カメラ
2D Imager Engine (SE4500-SR) の仕様	
読み取り幅	水平 - 39.6° 垂直 - 25.7°
光学分解能	WVGA 752 (縦) x 480 (横) ピクセル (グレースケール)
回転	360°
ピッチ	± 60°
スキュー	± 60°

表 A-1 MC65 EDA の技術仕様 (続き)

項目	説明
耐周辺光	室内照明: 450 フィート キャンドル (4845 lux) 屋外自然光: 9000 フット キャンドル (96,900 lux) 直射日光: 8,000 フィート カンデラ 蛍光灯: 450 フィート カンデラ
焦点範囲	スキャナ ウィンドウの中心から: 19cm (7.5 インチ)
照準光源波長 (VLD)	655nm \pm 10nm
発光光源波長 (LED)	625nm \pm 5nm
2D Imager Engine (SE4500-DL) の仕様	
読み取り幅	水平 - 39.2° 垂直 - 25.4°
光学分解能	WVGA 752 (縦) x 480 (横) ピクセル (グレー スケール)
回転	360°
ピッチ	$\pm 60^\circ$
スキュー	$\pm 60^\circ$
耐周辺光	室内照明: 450 フィート キャンドル (4845 lux) 屋外自然光: 9000 フット キャンドル (96,900 lux) 直射日光: 8,000 フィート カンデラ 蛍光灯: 450 フィート カンデラ
焦点範囲	スキャナ ウィンドウの中心から: 18.5cm (7.3 インチ)
照準光源波長 (VLD)	655nm \pm 10nm
発光光源波長 (LED)	625nm \pm 5nm
カメラの仕様	
解像度	3.2 メガ ピクセル

表 A-2 データ収集オプション

項目	説明		
イメージング読み取り機能	Code 39	Code 128	Code 93
	Codabar	Code 11	Interleaved 2 of 5
	Discrete 2 of 5	MSI	EAN-8
	EAN-13	UPCA	UPCE
	UPC/EAN supplementals	Coupon Code	Trioptic 39
	Webcode	TLC39	Composite AB
	Composite C	Micro PDF-417	PDF-417
	Macro PDF-417	(Macro) Micro PDF-417	QR Code
	Data Matrix	Maxi Code	US Postnet
	US Planet	UK 4-state	Australian 4-state
	Canadian 4-state	Japanese 4-state	Dutch Kix
	Chinese 2 of 5	USPS 4-state (US4CB)	Aztec
	microQR	GS1 DataBar	
	GS1 DataBar Truncated	GS1 DataBar Limited	GS1 DataBar Stacked
	GS1 DataBar Expanded	GS1 DataBar Expanded Stacked	
	GS1 DataBar Stacked Omni		
カメラ読み取り機能	Code 39	Code 128	Code 93
	Codabar	Code 11	Interleaved 2 of 5
	Discrete 2 of 5	MSI	EAN-8
	EAN-13	UPCA	UPCE
	UPC/EAN supplementals	Coupon Code	Trioptic 39
	Webcode	TLC39	Composite AB
	Composite C	Micro PDF-417	PDF-417
	Macro PDF-417	(Macro) Micro PDF-417	QR Code
	Data Matrix	Maxi Code	US Postnet
	US Planet	UK 4-state	Australian 4-state
	Canadian 4-state	Japanese 4-state	Dutch Kix
	GS1 DataBar	GS1 DataBar Truncated	GS1 DataBar Limited
	GS1 DataBar Stacked	GS1 DataBar Expanded	GS1 DataBar
	Expanded Stacked	GS1 DataBar Stacked Omni	

MC65 アクセサリの仕様

シングル スロット USB クレードル

表 A-3 シングル スロット USB クレードルの技術仕様

特徴	説明
寸法	高さ: 7.1cm (2.80 インチ) 幅: 11.0cm (4.33 インチ) 奥行き: 15.0cm (5.91 インチ)
重量	210g (7.41 オンス)
入力電圧	12VDC
消費電力	30W
インタフェース	USB
動作温度	0°C ~ 50°C (32°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

4 スロット 予備 バッテリ 充電器 [4 しろっと よびばってり じゅうでんき]

表 A-4 4 スロット バッテリ 充電器の技術仕様

特徴	説明
寸法	高さ: 4.7cm (1.85 インチ) 幅: 15.5cm (6.10 インチ) 奥行き: 21.0cm (8.27 インチ)
重量	384g (13.55 オンス)
入力電圧	12VDC
消費電力	30W
動作温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)

表 A-4 4 スロット バッテリ充電器の技術仕様 (続き)

特徴	説明
湿度	5 ～ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

4 スロット 充電専用クレードル

表 A-5 4 スロット 充電専用クレードルの技術仕様

特徴	説明
寸法	高さ : 13.7cm (5.39 インチ) 幅 : 46.8cm (18.43 インチ) 奥行き : 9.9cm (3.90 インチ)
重量	1115g (39.33 オンス)
入力電圧	12VDC
消費電力	100W
動作温度	0°C ～ 50°C (32°F ～ 122°F)
保管温度	-40°C ～ 70°C (-40°F ～ 158°F)
充電温度	0°C ～ 40°C (32°F ～ 104°F)
湿度	5 ～ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

4 スロット イーサネット クレードル

表 A-6 4 スロット イーサネット クレードルの技術仕様

特徴	説明
寸法	高さ : 13.7cm (5.39 インチ) 幅 : 46.8cm (18.43 インチ) 奥行き : 9.9cm (3.90 インチ)
重量	1115g (39.33 オンス)
Power (電源)	12VDC
動作温度	0°C ～ 50°C (32°F ～ 122°F)

表 A-6 4 スロット イーサネット クレードルの技術仕様 (続き)

特徴	説明
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

磁気ストライプリーダー

表 A-7 磁気ストライプリーダー (MSR) の技術仕様

特徴	説明
寸法	8.3cm × 4.2cm × 9.2cm (3.3 インチ x 1.65 インチ x 3.62 インチ)
重量	79.4g (2.8 オンス)
インタフェース	シリアル、最大ボーレート 19,200
形式	ANSI、ISO、AAMVA、CA DMV、ユーザー設定可能な汎用形式
スワイプ速度	5 ~ 50 インチ (127 ~ 1270mm) / 秒、双方向
デコーダ	汎用、Raw データ
モード	バッファ付き、バッファ無し
トラック読み取り機能	トラック 1、3: 210 bpi トラック 2: 75 および 210 bpi、自動検出
動作温度	0 ~ 50 °C
保管温度	-40 ~ 70 °C (-40°F ~ 158°F)
湿度	5 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	動作温度範囲を超える温度にて 4 フィート (1.2m) (1.22m) の高さからコンクリート面へ複数回落下しても動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

車載用クレードル

表 A-8 車載用クレードルの技術仕様

特徴	説明
寸法	高さ : 10.4cm (4.09 インチ) 幅 : 11.1cm (4.37 インチ) 奥行き : 6.9cm (2.72 インチ)
重量	240g (8.47 オンス)
Power (電源)	9 ~ 32 VDC
動作温度	-20°C ~ 50°C (-4°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
充電温度	0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F)
湿度	10 ~ 95% (結露なきこと)
耐落下衝撃	室温にて 76.2cm (30.0 インチ) の高さからビニール張りのコンクリート面へ落下後、動作可能
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

ケーブル

表 A-9 USB 充電ケーブルの技術仕様

特徴	説明
長さ	161.9cm (63.74 インチ)
動作温度	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
湿度	10 ~ 95% (結露なきこと)
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

表 A-10 充電専用ケーブルの技術仕様

特徴	説明
長さ	28.0cm (11.00 インチ)
動作温度	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
湿度	10 ~ 95% (結露なきこと)
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

表 A-11 車用充電ケーブルの技術仕様

特徴	説明
長さ	169.0cm (66.54 インチ)
入力電圧	12 ~ 24 VDC
動作温度	-10°C ~ 50°C (14°F ~ 122°F)
保管温度	-40°C ~ 70°C (-40°F ~ 158°F)
湿度	10 ~ 95% (結露なきこと)
静電気放電 (ESD)	± 15kV 大気放電 ± 8kV 接触放電

付録 B キーパッド

はじめに

MC65 には、数字、QWERTY、QWERTZ、AZERTY、PIM、DSD という 6 種類のキーパッド構成があります。

数字キーパッド構成

数字キーパッドには、アプリケーション キー、スクロール キー、ファンクション キーが含まれます。キーパッドは色分けされており、代替ファンクションキー（ブルー）の値が示されています。アプリケーションによってキーパッドの機能が変換することがあるため、MC65 のキーパッドがここで説明しているとおり機能しない場合があります。キーとボタンの説明については、[表 B-1](#) を参照してください。キーパッドの特殊機能については、[B-4 ページの表 B-2](#) を参照してください。

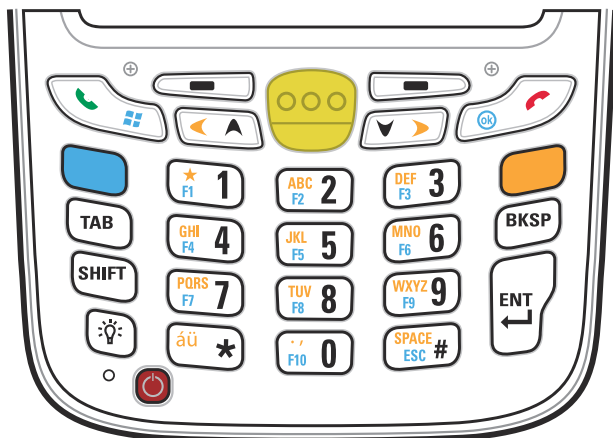


図 B-1 MC65 数字キーパッド

表 B-1 MC65 数字キーパッドの説明







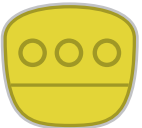



キー	説明
ブルー キー 	<p>アプリケーションを起動したり、項目 (キーパッドに青で示されている項目) にアクセスするには、このキーを使用します。</p> <p>このモードをアクティブにするには、ブルー キーを 1 回押して別のキーを押します。</p> <p>1 回押すと、キーのライトがオンになり、2 番目のキーを押すまで、画面の下部に次のアイコンが表示されます。</p>
オレンジ キー 	<p>文字と操作の第 2 階層 (キーパッドにオレンジで示されている項目) にアクセスするには、このキーを使用します。キーパッドを英字入力モードに切り替えるには、オレンジ キーを 1 回押します。</p> <p>1 回押すと、キーのライトがオンになり、画面の下部に次のアイコンが表示されます。 </p> <p>オレンジ キーをもう一度押すと、通常のモードに戻ります。</p> <p>オレンジ キーを押して Shift キーを押すと、オレンジ キーにロックされた状態で一時的にシフト状態になります (次の押したキーにのみ適用されます)。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。</p>
Talk/Start (通話 / スタート) メニュー 	<p>Talk (通話) (緑色の電話): 電話キーパッド ウィンドウを表示したり、電話キーパッド ウィンドウで電話番号をダイヤルする場合に押します。</p> <p>通話中に押すと、保留になります。</p> <p>このキーとブルー キーと一緒に押すと、画面をタップすることなく、あらゆるアプリケーションから [Start] (スタート) メニューを瞬時に表示できます。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。</p>
スキャン (黄色) 	<p>スキャン対応アプリケーションでスキャナ/イメージャーがアクティブになります。</p>
End/OK (終了 / OK) 	<p>End (終了) (赤色の電話): 電話キーパッド ウィンドウが表示されているときに、ダイヤルを終了する場合、または通話を終了する場合に押します。</p> <p>このキーとブルー キーと一緒に押すと、OK ボタンまたは閉じるボタンとして機能します。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。</p>
上 / 左ヘスクロール 	<p>1 つ上の項目へ移動します。</p> <p>オレンジ キーとともに押すと、1 つ左の項目へ移動します。</p>
下 / 右ヘスクロール 	<p>1 つ下の項目へ移動します。</p> <p>オレンジ キーとともに押すと、1 つ右の項目へ移動します。</p>

表 B-1 MC65 数字キーパッドの説明 (続き)









キー	説明
ソフト キー 	画面上のコマンドやメニューにアクセスします。
アスタリスク 	デフォルトの状態では、アスタリスクが入力されます。 ブルー キーを押して放し、アスタリスク キーを押すと、 [Start] (スタート) メニューが開きます。
英数字 	デフォルトの状態では、キーに示されている数値が入力されます。 英字モードの場合は、キーに示されている英字が小文字で入力されます。キーを押すたびに、次の英字に切り替わります。たとえば、オレンジ キーを押して放してから [4] キーを 1 回押すと「g」が入力されます。オレンジ キーを押して放してから [4] キーを 3 回押すと「i」が入力されます。 英字モードで SHIFT キーを押すと、キーに示されている英字が大文字で入力されます。たとえば、オレンジ キーを押して放し、SHIFT キーを押して放してから [4] キーを 1 回押すと「G」が入力されます。オレンジ キーを押して放し、SHIFT キーを押して放してから [4] キーを 3 回押すと「I」が入力されます。
Backspace 	カーソルの前にある 1 文字を削除します。
SHIFT 	キーパッドの代替 SHIFT 機能を有効にするには、SHIFT キーを押して放します。 1 回押すと、2 番目のキーを押すまで、画面の下部に次のアイコンが表示されます。  オレンジ キーを押して Shift キーを押すと、オレンジ キーにロックされた状態で一時的にシフト状態になります (次の押したキーにのみ適用されます)。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。 
Enter 	選択した項目または機能を実行します。

表 B-2 数字キーパッドの入力モード

キー	数値モード			オレンジ キー (英字小文字モード)				オレンジ キー + Shift キー (英字大文字モード)			
		ブルー + キー	SHIFT + キー	1 回押し した場合	2 回押し した場合	3 回押し した場合	4 回押し した場合	1 回押し した場合	2 回押し した場合	3 回押し した場合	4 回押し した場合
1	1	F1	!	*	*	*	*	*	*	*	*
2	2	F2	@	a	b	c		A	B	C	
3	3	F3	#	d	e	f		D	E	F	
4	4	F4	\$	g	h	i		G	H	I	
5	5	F5	%	j	k	l		J	K	L	
6	6	F6	^	m	n	o		M	N	O	
7	7	F7	&	p	q	r	s	P	Q	R	S
8	8	F8	*	t	u	v		T	U	V	
9	9	F9	(w	x	y	z	(W)	X	Y	Z
0	0	F10)	.				>			
上	上	上	上を強調表示	左				左			
下	下	下	下を強調表示	右				右			
Enter	アクション	アクション	アクション	アクション				アクション			

注: アプリケーションによってキーの機能が変更されることがあるため、キーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

英数字キーパッド構成

3 種類の英数字キーパッドで、26 文字の英字 (QWERTY、AZERTY、および QWERTZ)、数字 (0 ～ 9)、および各種文字を入力できます。キーパッドは色分けされており、特定の文字を入力したり機能を実行するのに必要な修飾キーが示されています。キーパッドのデフォルトの文字は、英字の小文字です。キーとボタンの説明については、表 B-3 を参照してください。キーパッドの特殊機能については、B-8 ページの表 B-4 を参照してください。AZERTY キーパッドはフランス語オペレーティング システムがインストールされた構成で使用されます。QWERTZ キーパッドはドイツ語オペレーティング システムがインストールされた構成で使用されます。



図 B-2 QWERTY キーパッド構成



図 B-3 AZERTY キーパッド構成



図 B-4 QWERTZ キーパッド構成

表 B-3 英数字キーパッドの説明



キー	アクション
ブルー キー 	<p>このモードを一時的にアクティブにするには、ブルー キーを 1 回押して別のキーを押します。2 番目のキーを押すまで画面の下部に次のアイコンが表示されます。</p>  <p>このモードをロックするには、ブルー キーを 2 回押します。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。</p>  <p>ブルー キーを 3 回押すと、ロックが解除されます。</p>
オレンジ キー 	<p>文字と操作の第 2 階層 (キーパッドにオレンジで示されている項目) にアクセスします。</p> <p>このモードを一時的にアクティブにするには、オレンジ キーを 1 回押して別のキーを押します。2 番目のキーを押すまで画面の下部に次のアイコンが表示されます。</p>  <p>このモードをロックするには、オレンジ キーを 2 回押します。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。</p>  <p>オレンジ キーを 3 回押すと、ロックが解除されます。</p>
Talk/Start (通話 / スタート) メニュー 	<p>Talk (通話) (緑色の電話): 電話キーパッド ウィンドウを表示したり、電話キーパッド ウィンドウで電話番号をダイヤルする場合に押します。</p> <p>通話中に押すと、保留になります。</p> <p>このキーとブルー キーと一緒に押すと、画面をタップすることなく、あらゆるアプリケーションから [Start] (スタート) メニューを瞬時に表示できます。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。</p>
スキャン (黄色) 	<p>スキャン対応アプリケーションでスキャナ/イメージャーがアクティブになります。</p>

表 B-3 英数字キーパッドの説明 (続き)











キー	アクション
End/OK (終了 / OK) 	End (終了) (赤色の電話): 電話キーパッド ウィンドウが表示されているときに、ダイヤルを終了する場合、または通話を終了する場合に押します。 このキーとブルー キーと一緒に押すと、OK ボタンまたは閉じるボタンとして機能します。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。
上 / 左ヘスクロール 	1 つ上の項目へ移動します。 オレンジ キーとともに押すと、1 つ左の項目へ移動します。
下 / 右ヘスクロール 	1 つ下の項目へ移動します。 オレンジ キーとともに押すと、1 つ右の項目へ移動します。
ソフト キー 	画面上のコマンドやメニューにアクセスします。
Shift 	英字小文字モードを英字大文字モードに切り替えます。 <ul style="list-style-type: none"> このモードを一時的にアクティブにするには、Shift キーを 1 回押して別のキーを押します。2 番目のキーを押すまで画面の下部に次のアイコンが表示されます。 このモードをロックするには、Shift キーを 2 回押します。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。 ロックを解除するには、Shift キーをもう一度押します。
バックライト 	ディスプレイのバックライトのオン/オフを切り替えます。
Backspace 	カーソルの前にある 1 文字を削除します。
Enter 	選択した項目または機能を実行します。

表 B-3 英数字キーパッドの説明 (続き)



キー	アクション
アスタリスク 	アスタリスクが入力されます。
au 	特別な文字が入力されます。

表 B-4 QWERTY キーパッドの入力モード

キー	ノーマル	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
Q	q	Q	*	q
(W)	w	(W)	1	w
E	e	E	2	e
R	r	R	3	r
T	t	T	+	t
Y	y	Y	—	y
U	u	U	-	u
I	i	I	=	i
O	o	O	“	o
P	p	P	áü	p
A	a	A	#	a
S	s	S	4	s
D	d	D	5	d
F	f	F	6	f
G	g	G	(g
H	h	H)	h
J	j	J	/	j
K	k	K	:	k
L	l	L	‘	l
Backspace	Backspace	Backspace	Backspace	Backspace
Shift	Shift	Shift-Lock	Shift	Shift

注: アプリケーションによってキーの機能が変換することがあるため、キーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

表 B-4 QWERTY キーパッドの入力モード (続き)

キー	ノーマル	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
Z	z	Z	7	z
X	x	X	8	x
C	c	C	9	c
V	v	V	%	v
B	b	B	&	b
N	n	N	!	n
M	m	M	?	m
,	,	<	@	,
ENTER	Enter	Enter	Enter	Enter
0	0)	0	0
TAB	Tab	Tab	Back tab	Tab
SPACE	Space	Space	Space	Space
バックライト	バックライト	バックライト	バックライト	バックライト
.(ピリオド)	.	>	.	.

注: アプリケーションによってキーの機能が変換することがあるため、キーパッドがここで説明しているとおりには機能しない場合があります。

表 B-5 AZERTY キーパッドの入力モード

キー	ノーマル	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
A	a	A	*	a
Z	z	Z	1	z
E	e	E	2	e
R	r	R	3	r
T	t	T	+	t
Y	y	Y	—	y
U	u	U	-	u
I	i	I	=	i
O	o	O	“	o
P	p	P	áü	p
Q	q	Q	#	q

注: アプリケーションによってキーの機能が変換することがあるため、キーパッドがここで説明しているとおりには機能しない場合があります。

表 B-5 AZERTY キーパッドの入力モード (続き)

キー	ノーマル	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
S	s	S	4	s
D	d	D	5	d
F	f	F	6	f
G	g	G	(g
H	h	H)	h
J	j	J	/	j
K	k	K	:	k
L	l	L	'	l
Backspace	Backspace	Backspace	Backspace	Backspace
Shift	Shift	Shift-Lock	Shift	Shift
(W)	w	(W)	7	w
X	x	X	8	x
C	c	C	9	c
V	v	V	%	v
B	b	B	&	b
N	n	N	!	n
M	m	M	?	m
,	,	<	@	
Enter	Enter	Enter	Enter	Enter
0	0)	0	0
TAB	Tab	Tab	Back tab	Tab
SPACE	Space	Space	Space	Space
バックライト	バックライト	バックライト	バックライト	バックライト
.(ピリオド)	.	>	.	.

注: アプリケーションによってキーの機能が変換することがあるため、キーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

表 B-6 QWERTZ キーパッドの入力モード

キー	ノーマル	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
Q	q	Q	*	q
(W)	w	(W)	1	w
E	e	E	2	e
R	r	R	3	r
T	t	T	+	t
Z	z	Z	_	z
U	u	U	-	u
I	i	I	=	i
O	o	O	"	o
P	p	P	áü	p
A	a	A	#	a
S	s	S	4	s
D	d	D	5	d
F	f	F	6	f
G	g	G	(g
H	h	H)	h
J	j	J	/	j
K	k	K	:	k
L	l	L	'	l
Backspace	Backspace			
Shift	Shift			
Y	y	Y	7	y
X	x	X	8	x
C	c	C	9	c
V	v	V	%	v
B	b	B	&	b
N	n	N	!	n
M	m	M	?	m
,	,	<	@	,

注: アプリケーションによってキーの機能が変わることもあるため、キーパッドがここで説明しているとおりには機能しない場合があります。

表 B-6 QWERTZ キーパッドの入力モード (続き)

キー	ノーマル	Shift + キー	オレンジ + キー	ブルー + キー
ENTER	Enter	ENTER	ENTER	Enter
0	0)	0	0
TAB	Tab	Tab	Back tab	Tab
SPACE	Space	Space	Space	Space
バックライト	バックライト	バックライト	バックライト	バックライト
.(ピリオド)	.	>	.	.

注: アプリケーションによってキーの機能が変わることもあるため、キーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

PIM キーパッド構成

PIM キーパッドにはアプリケーション キーとスクロール キーがあります。アプリケーションによってキーパッドの機能が変わることもあるため、MC65 のキーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。キーとボタンの説明については、[表 B-7](#) を参照してください。

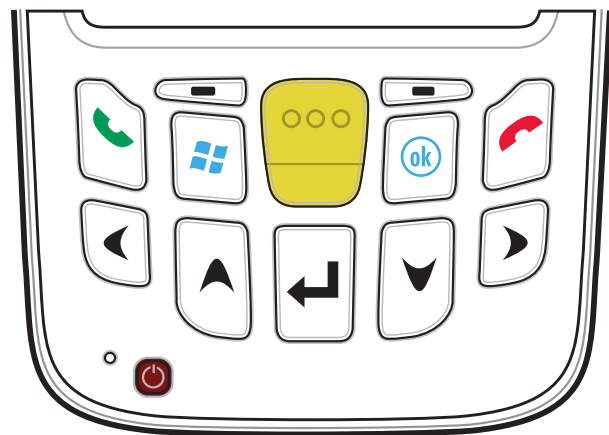


図 B-5 PIM キーパッド

表 B-7 PIM キーパッドの説明

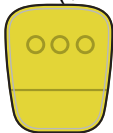




キー	説明
Talk (通話) (緑色の電話) 	Talk (通話) (緑色の電話): 電話キーパッド ウィンドウを表示したり、電話キーパッド ウィンドウで電話番号をダイヤルする場合に押します。 通話中に押すと、保留になります。 このキーとブルー キーと一緒に押すと、画面をタップすることなく、あらゆるアプリケーションから【スタート】メニューを瞬時に表示できます。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。
End (終了) (赤色の電話) 	End (終了) (赤色の電話): 電話キーパッド ウィンドウが表示されているときに、ダイヤルを終了する場合、または通話を終了する場合に押します。 このキーとブルー キーと一緒に押すと、OK ボタンまたは閉じるボタンとして機能します。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。
スキャン (黄色) 	スキャン対応アプリケーションでスキャナ/イメージャーがアクティブになります。
Scroll Up (上にスクロール) 	1 つ上の項目へ移動します。
Scroll Down (下にスクロール) 	1 つ下の項目へ移動します。
Scroll Left (左にスクロール) 	1 つ左の項目へ移動します。
Scroll Right (右にスクロール) 	1 つ右の項目へ移動します。

表 B-7 PIM キーパッドの説明 (続き)

キー	説明
ソフト キー 	画面上のコマンドやメニューにアクセスします。
Enter 	選択した項目または機能を実行します。
OK 	OK ボタンまたは終了ボタンとして使用します。

DSD キーパッド構成

Direct Store Delivery (DSD) キーパッドには、アプリケーション キー、スクロール キー、ファンクション キーが含まれます。キーパッドは色分けされており、代替ファンクションキー (ブルー) の値が示されています。アプリケーションによってキーパッドの機能が変わることもあるため、MC65 のキーパッドがここで説明しているとおり機能しない場合があります。キーとボタンの説明については、[表 B-8](#) を参照してください。キーパッドの特殊機能については、[B-17 ページの表 B-9](#) を参照してください。

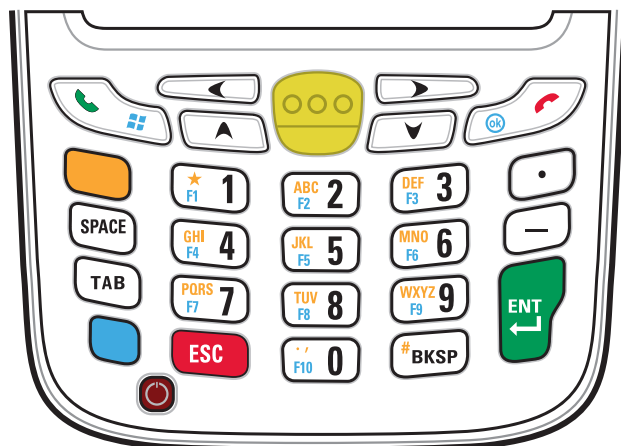


図 B-6 MC65 DSD キーパッド

表 B-8 MC65 DSD キーパッドの説明











キー	説明
ブルー キー 	<p>アプリケーションを起動したり、項目 (キーパッドに青で示されている項目) にアクセスするには、このキーを使用します。</p> <p>このモードをアクティブにするには、ブルー キーを 1 回押して別のキーを押します。</p> <p>1 回押すと、キーのライトがオンになり、2 番目のキーを押すまで、画面の下部に次のアイコンが表示されます。</p> 
オレンジ キー 	<p>文字と操作の第 2 階層 (キーパッドにオレンジで示されている項目) にアクセスするには、このキーを使用します。キーパッドを英字入力モードに切り替えるには、オレンジ キーを 1 回押します。</p> <p>1 回押すと、キーのライトがオンになり、画面の下部に次のアイコンが表示されます。</p>  <p>オレンジ キーをもう一度押すと、通常モードに戻ります。</p> <p>オレンジ キーを押して Shift キーを押すと、オレンジ キーにロックされた状態で一時的にシフト状態になります (次の押したキーにのみ適用されます)。この場合、画面の下部に、次のアイコンが表示されます。</p> 
Talk/Start (通話 / スタート) メニュー 	<p>Talk (通話) (緑色の電話): 電話キーパッド ウィンドウを表示したり、電話キーパッド ウィンドウで電話番号をダイヤルする場合に押します。</p> <p>通話中に押すと、保留になります。</p> <p>このキーとブルー キーと一緒に押すと、画面をタップすることなく、あらゆるアプリケーションから【スタート】メニューを瞬時に表示できます。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。</p>
スキャン (黄色) 	<p>スキャン対応アプリケーションでスキャナ/イメージャーがアクティブになります。</p>
End/OK (終了/OK) 	<p>End (終了) (赤色の電話): 電話キーパッド ウィンドウが表示されているときに、ダイヤルを終了する場合、または通話を終了する場合に押します。</p> <p>このキーとブルー キーと一緒に押すと、OK ボタンまたは閉じるボタンとして機能します。この機能は、ユーザーによるプログラムが可能です。</p>
Scroll Up (上にスクロール) 	<p>1 つ上の項目へ移動します。</p> <p>オレンジ キーとともに押すと、1 つ左の項目へ移動します。</p>
Scroll Down (下にスクロール) 	<p>1 つ下の項目へ移動します。</p>

表 B-8 MC65 DSD キーパッドの説明 (続き)


キー	説明
Scroll Left (左にスクロール) 	1 つ左の項目へ移動します。
Scroll Right (右にスクロール) 	1 つ右の項目へ移動します。
SPACE 	スペース文字が入力されます。
英数字 	デフォルトの状態では、キーに示されている数値が入力されます。 英字モードの場合は、キーに示されている英字が小文字で入力されます。キーを押すたびに、次の英字に切り替わります。たとえば、オレンジ キーを押して放してから [4] キーを 1 回押すと「g」が入力されます。オレンジ キーを押して放してから [4] キーを 3 回押すと「i」が入力されます。
Backspace 	カーソルの前にある 1 文字を削除します。
ピリオド 	ピリオド文字を入力します。
ダッシュ 	ダッシュ文字を入力します。
Enter 	選択した項目または機能を実行します。

表 B-9 DSD キーパッドの入力モード

キー	数値モード			オレンジ キー (英字小文字モード)				オレンジ キー + Shift キー (英字大文字モード)			
		ブルー + キー	SHIFT + キー	1 回押した 場合	2 回押した 場合	3 回押した 場合	4 回押した 場合	1 回押した場 合	2 回押した場 合	3 回押した場 合	4 回押した場 合
1	1	F1	!	*	*	*	*	*	*	*	*
2	2	F2	@	a	b	c		A	B	C	
3	3	F3	#	d	e	f		D	E	F	
4	4	F4	\$	g	h	i		G	H	I	
5	5	F5	%	j	k	l		J	K	L	
6	6	F6	^	m	n	o		M	N	O	
7	7	F7	&	p	q	r	s	P	Q	R	S
8	8	F8	*	t	u	v		T	U	V	
9	9	F9	(w	x	y	z	(W)	X	Y	Z
0	0	F10)	.				>			
上	上	上	上を強 調表示	左				左			
下	下	下	下を強 調表示	右				右			
Enter	アク ション	アク ション	アク ション	アク ション				アク ション			

注: アプリケーションによってキーの機能が変更されることがあるため、キーパッドがここで説明しているとおりに機能しない場合があります。

特殊文字キー



注 特殊文字は、英数字キーパッド構成でのみ入力することができます。

MC65 áü キーを使用して特殊文字を追加するには、まず関連する文字を入力し、オレンジ キーを 2 回押して、áü (P) キーを押します。特殊文字が表示されるまで、áü キーを押し続けます。既存の文字を変更するには、文字の右側にカーソルを移動してオレンジ キーを 2 回押し、元の文字が特殊文字に置き換わるまで áü キーを押します。表 B-10 に、入力可能な特殊文字を示します。

表 B-10 特殊文字

キー	特殊文字		キー	特殊文字
a	à á â ã ä å æ		A	À Á Â Ã Ä Å Æ
c	ç é ċ ©		C	Ç Ć Ć ©
d	ð		D	Ð

表 B-10 特殊文字 (続き)

キー	特殊文字		キー	特殊文字
e	è é ê ë ě		E	È É Ê Ë Ě
i	ì í î ï		I	Ì Í Î Ï
l	ł		L	Ł ł
n	ñ		N	Ñ
o	ò ó ô õ ö ő ø œ		O	Ò Ó Ô Õ Ö Ö Ø Œ
p	þ		P	þ
r	®		R	®
s	ș ș ß		S	Ș ș ß
t	ţ		T	Ț
u	ù ú û ü ú		U	Ù Ú Û Ü
y	ý		Y	Ý
z	ź ź		Z	Ź Ź
\$	€ £ ¥		/	\
"	' « ' »		([{ < «
)] } > »		+	± & - _
!	¡ ? ¿		.	! , ;
*	#		@	~ %
%	^		,	; . :
#	*		&	- _ + ±
_	+ ± & -		'	« » "
?	¿ ! ¡		:	, ; .
-	_ + ± &			

付録 C WINDOWS MOBILE のホーム画面と DIALER

はじめに

この付録では、オプションの Windows Mobile のホーム画面と Windows Mobile Dialer の機能について説明します。

Windows Mobile のホーム画面

Windows Mobile のホーム画面はスクロール可能で、この画面にはアプリケーション プラグインの一覧と情報ステータス バーがあります。情報ステータス バーでは、その下のアプリケーション プラグインが強調表示され、追加情報が表示されます。



図 C-1 Windows Mobile のホーム画面

Windows Mobile のホーム画面を有効にするには、次の手順を行います。

1. **[Start] (スタート) > [Setting] (設定) > [Home] (ホーム)** をタップします。
2. 水平スクロールで **[Items] (項目)** を選択します。
3. 項目のリストで **[Windows Default] (Windows デフォルト)** チェック ボックスをオンにし、他のチェック ボックスをオフにします。
4. **[OK]** をタップします。Windows Mobile のホーム画面が表示されます。

指で画面に触れたまま、ホーム画面を上下に移動させます。アプリケーション名が情報ステータス バーの下に移動すると、そのアプリケーションに関連する情報がバーに表示されます。

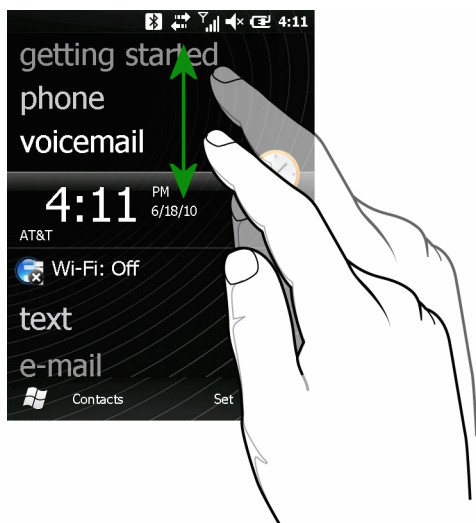


図 C-2 [Today] (今日) 画面の移動

また、情報ステータス バーに触れてそのままの状態を維持し、アプリケーション名の上で上下させることもできます。指を離すと、情報ステータス バーとアプリケーション名が画面中央になります。

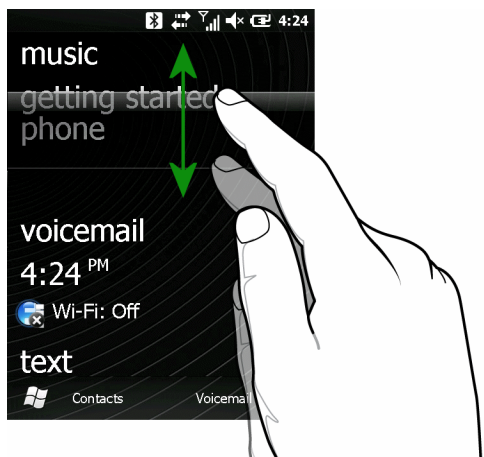


図 C-3 情報ステータス バーの移動

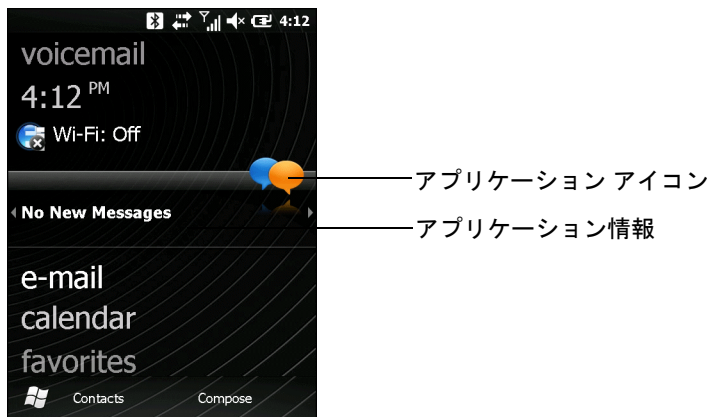


図 C-4 情報バーの例

ホーム画面をカスタマイズするには、**[Start] (スタート)** > **[Settings] (設定)** > **[Today] (今日)** をタップします。背景をカスタマイズするには **[Appearance] (デザイン)** タブを使用し、表示形式を変更するには **[Items] (項目)** タブを使用します。

クラシック [Today] (今日) 画面

ユーザーは、[Today] (今日) 画面を Windows Mobile 6.1 で使用されるクラシック レイアウトに変更できます。

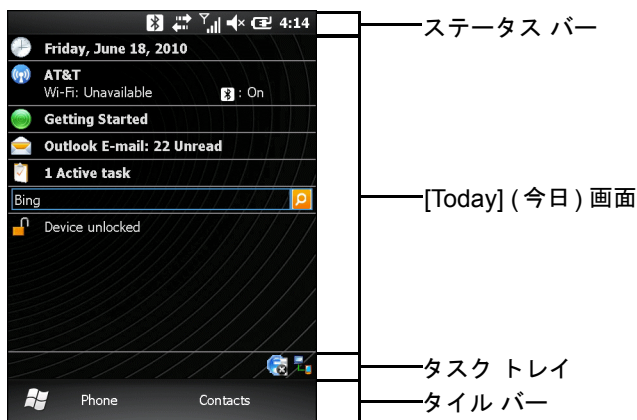


図 C-5 クラシック [Today] (今日) 画面

クラシック ビューに変更するには、**[Start] (スタート)** > **[Settings] (設定)** > **[Home] (ホーム)** > **[Items] (項目)** の順にタップします。

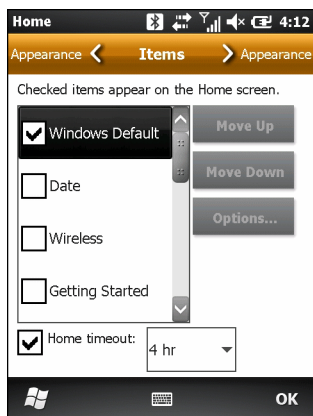


図 C-6 ホーム画面の設定

[Windows Default] (Windows デフォルト) チェック ボックスをオフにし、**[Zebra Home] (Zebra ホーム)** 以外のチェック ボックスをすべてオンにします。

[OK] をタップします。

画面下部のタスク バーには、表 C-1 に示しているタスクトレイアイコンが表示されます。

表 C-1 タスクトレイアイコン

アイコン	名前	説明
	無線接続ステータス	WLAN 信号強度を示します。
	ActiveSync	MC65 とホスト コンピュータ間のシリアル接続が有効です。

[Start] (スタート) 画面

[Start] (スタート) 画面を開くには、画面の左下角にある **[Start] (スタート)** をタップするか、キーパッドのスタート キーを押します。

その他のプログラムとフォルダのアイコンを表示するには、上方向にスワイプします。

頻繁に使用するプログラムとフォルダアイコンを、**[Start] (スタート)** 画面の任意の場所に移動し、使いやすい場所に配置することもできます。移動するアイコンを押し続けて、目的の場所に移動して離します。

Windows Mobile Dialer

MC65 を使用して、電話をかけたり、短縮番号を設定したり、通話を管理したり、テキスト メッセージを送信したりすることができます。また、無線サービス プロバイダによっては、音声メール、通話転送、発信者 ID などのサービスが提供されていることもあります。

また、統合されている電話機能を使用して、ISP や企業ネットワークに接続して、Web を閲覧したり電子メールを読むこともできます。インターネットや企業ネットワークには、セルラー回線を使用して High-Speed Downlink Packet Access (HSDPA) または Evolution Data-Optimized (EvDO) で接続します。

1. Windows Mobile Dialer を有効にするには、次の手順に従います。
2. **[Start] (スタート) > [Settings] (設定) > [Personal] (パーソナル) > [Dialer Switcher] (ダイヤラのスイッチ)** をタップします。
3. **[Microsoft Dialer] (Microsoft ダイヤラ)** を選択します。
4. **[Save] (保存)** をタップします。
5. **[OK]** をタップすると、MC65 がリブートされます。




電話をかける

- ✓ **注** MC65 がロックされている場合、または SIM カードが装着されていない場合でも、緊急通話は可能です。詳細については、**C-10 ページの「緊急通話」**を参照してください。

MC65 では、電話キーパッド、連絡先、短縮ダイヤル、および通話履歴から電話をかけることができます。

電話キーパッドの使用

電話キーパッドを使用して電話をかけるには、次の手順に従います。

1.  を押します。
2. ダイヤラまたはキーパッドで電話番号を入力します。入力した電話番号は、電話番号欄に表示されます。
3.  を押します。
4. ダイヤル操作や通話を終了するには、 をタップします。

- ✓ **注** 電話番号を間違えて入力した場合は、[Delete] (削除) キーをタップして、カーソルの後ろにある番号を1つずつ消去できます。電話番号全体を消去するには、[Delete] (削除) キーをタップして押したままにします。

スマート ダイアル

スマート ダイアルにより、電話番号を容易に入力することができます。数字または文字を入力するときに、スマート ダイアル機能によって自動的に SIM カード上の [Contacts] (連絡先) 内の連絡先エントリ、および [Call History] (通話履歴) (着信、発信、不在着信など) の電話番号が検索され、並び替えられます。その後、その検索結果から、目的の電話番号または連絡先を選択して、ダイヤルすることができます。

[Phone] (電話) 画面を開き、発信する電話番号または連絡先に対応するキーをタップします。連絡先パネルに、入力した内容に一致する連絡先が表示されます。

スマート ダイアル機能によって、入力した内容に一致する番号または連絡先の検索が開始されます。

電話番号を検索するには、次の手順に従います。

- [Call History] (通話履歴) で電話番号を探すには、最初の 1 桁または 2 桁を入力します。
- 保存されている [Contacts] (連絡先) および SIM カードから電話番号を探すには、最初の 3 桁以上を入力します。


連絡先名を検索するには、次の手順に従います。

- 連絡先の姓または名前の最初の 1 文字を入力します。スマート ダイアル機能はその文字を、連絡先名の先頭文字と、連絡先名のスペース、ハイフン、アンダースコアに続く文字から検索します。たとえば、[2] ([Phone] (電話) キーパッドの [a, b, c] に対応) をタップすると、次の連絡先名が一致しているとみなされます: 「Smith, Bernard」、「Adams, John」、「Carlson, Eileen」、「Dillon, Albert」、「Childs, Larry」、「Cooper, Robert」、「Parks, Celine」。
- 検索結果が多い場合は、別の文字を入力して結果を絞り込みます。上記の例の場合、[3] ([d, e, f] に対応) をタップすると、次の連絡先名に絞り込まれます: 「Smith, Bernard」、「Adams, John」、「Parks, Celine」。



図 C-7 連絡先の検索

スマートダイヤル機能を使用して、電話をかけたり、テキストメッセージを送信するには、次の手順に従います。

1. 目的の番号または文字の先頭から数文字を入力します。
2. [Smart Dialing] (スマートダイヤル) パネルで、キーパッドの上/下矢印を使用して、目的の連絡先または電話番号に移動します。
3. 目的の連絡先が選択されたら、[TALK] (通話) を押して音声通話を開始します。
4. 選択されている連絡先にテキストメッセージを送信するには、 > [Send Text Message] (テキストメッセージを送信) をタップします。
5. 選択されている連絡先に関連付けられている異なる電話番号に電話をかけるには、連絡先名をタップして、電話番号を選択します。

連絡先の使用

連絡先を使用することで、電話番号を探したり入力することなく電話をかけることができます。

連絡先から電話をかけるには、次の手順に従います。

1. [Contacts] (連絡先) をタップします。
2. 連絡先のリストで、連絡先の名前をタップして押し続けます。

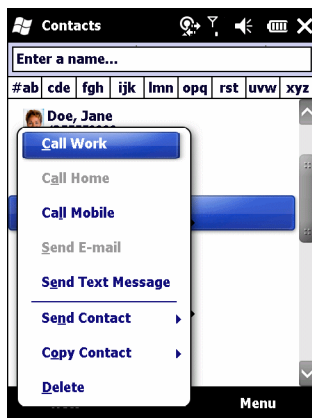


図 C-8 [Contacts] (連絡先) メニュー

3. [Call Work] (仕事)、[Call Home] (自宅)、または [Call Mobile] (携帯電話) をタップします。

✓ **注** 未設定の連絡先から電話をかけるには、電話番号を入力します。連絡先の詳細については、デバイスのヘルプを参照してください。

通話履歴を使用する

通話履歴を使用して電話をかけるには、次の手順に従います。

1.  を押します。
2. [Phone] (電話) キーパッドで、[Call History] (通話履歴) をタップします。

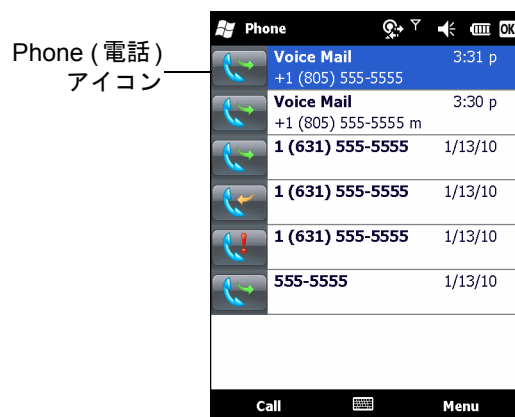



図 C-9 [Call History] (通話履歴) ウィンドウ

3. 番号の横にある Phone (電話) アイコンをタップすると、ダイヤル操作が開始され、電話キーパッドに戻ります。
4. ダイヤル操作を終了したり通話を終了するには、[End] (終了) をタップするか、MC65 のキーパッドの赤色の電話キーを押します。

短縮ダイヤルの使用

短縮ダイヤルを使用して、短縮ダイヤルに登録されている相手に電話をかけることができます。

短縮ダイヤルを使用して電話をかけるには、次の手順に従います。


1.  を押します。
2. キーパッドで、連絡先に割り当てられている短縮ダイヤル番号をタップして押し続けます (1 桁の短縮ダイヤル番号にダイヤルするには、短縮ダイヤル番号をタップして押し続けます。2 桁の短縮ダイヤル番号にダイヤルするには、1 桁目をタップし、2 桁目をタップして押し続けます)。

または

キーパッドで、[Speed Dial] (短縮ダイヤル) をタップして、リスト内の目的の連絡先の短縮ダイヤル ロケーションをタップします。




図 C-10 短縮ダイヤル連絡先リスト

3. ダイヤル操作を終了したり通話を終了するには、 を押します。

電話に応答する

着信すると、MC65 にダイアログ ボックスが表示されます。呼び出し音が鳴るように設定されている場合は、呼び出し音が鳴ります。着信に応答するか無視します。

着信に応答するには、ダイアログ ボックスの **[Answer] (応答)** をタップするか、 を押します。

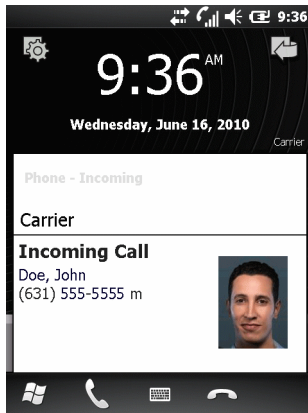







図 C-11 着信

着信を無視するには、 をタップするか、 を押します。サービス プロバイダによっては、この操作により、発信者が音声メールに接続されます。それ以外の場合は、発信者に話中音が流れます。

通話を終了するには、 を押します。

着信機能

- 通話中に MC65 で他のプログラムを使用することができます。[電話]に戻るには、 を押すか、[スタート]>[電話]をタップします。通話を終了するには、 をタップします。
- 発信者が連絡先リストに登録されていない場合は、通話中に連絡先を作成することができます。または、[Call History] (通話履歴) で **[Menu] (メニュー)** > **[Save to Contacts] (連絡先に保存)** をタップして連絡先を作成することもできます。
- 通話中に着信した場合に、現在の通話を終了して、着信に応答するには、[Phone] (電話) キーパッドで **[End] (終了)** をタップして現在の通話を切断し、**[Answer] (応答)** をタップするか **Send (送信)** キーを押して着信に応答します。
- 現在の通話を保留にして、着信に応答するには、**[Answer] (応答)** をタップするか **Send (送信)** キーを押して現在の通話を保留にして、着信に応答します。
- 通話を保留にして、別の番号に発信したり、着信に応答するには、**[Hold] (保留)** をタップします。通話を切り替えるには、**[Swap] (切り替え)** をタップします。

不在着信通知

着信に応答しなかった場合、ホーム画面に **Missed Call (不在着信)** マークが表示されます。

不在着信エントリを表示するには、ホーム画面で **[Missed Call] (不在着信)** ボックスをタップします。

緊急通話

サービス プロバイダは、あらゆる状況下で通話可能な 1 つまたは複数の緊急電話番号 (911 や 999 など) を用意しています。この番号には、電話がロックされていたり、SIM カードが装着されていなくても電話をかけることができます。サービス プロバイダは、追加の緊急番号を SIM カードに設定することができます。ただし、SIM カードに保存されている番号を使用するには、電話に SIM カードが装着されている必要があります。詳細については、サービス プロバイダにお問い合わせください。

英字優先キーパッドにロックされている場合は、オレンジ キーを 2 回押して、キーパッドを数字モードに切り替えて、緊急番号を入力します。

- ✓ **注** 緊急番号は、国によって異なります。一部の地域で電話機にあらかじめ設定されている緊急番号が使用できないことがあります。また、ネットワーク、環境、または干渉の問題により、緊急通話が行えないこともあります。

音声モード

MC65 は、3 つの通話音声モードを備えています。

- **ハンドセット モード:** MC65 の前面上部にあるスピーカから音声が出力され、MC65 をハンドセットとして使用できます。これがデフォルトのモードです。
- **スピーカ モード:** MC65 をスピーカホンのように使用できます。このモードにするには、**[Speaker On] (スピーカ オン)** ボタンをタップします。ハンドセット モードに戻すには、**[Speaker Off] (スピーカ オフ)** ボタンをタップします。
- **ヘッドセット モード:** Bluetooth ヘッドセットを接続すると、自動的に音声出力がヘッドセットに切り替わります。

MC65 のデフォルトのモードは、ハンドセット モードです。

- ✓ **注** Bluetooth ヘッドセットを使用して通話しているときには、MC65 はサスペンド モードになりません。

Bluetooth ヘッドセットの使用

音声対応アプリケーションを使用しているときに、Bluetooth ヘッドセットを使用して音声通信を行うことができます。Bluetooth ヘッドセットを MC65 に接続する方法については、[第 7 章「Bluetooth の使用」](#)を参照してください。ヘッドセットを装着する前に、MC65 の音量を適切に調節します。Bluetooth ヘッドセットを接続すると、スピーカはミュートになります。

音量の調節

通話していないときの呼び出し音、および通話中の音声の音量を調節するには、Volume Control Slider (音量調節スライダ) または音量ボタンを使用します。



図 C-12 Phone Volume Slider (電話音量調節スライダ)

音量を調節するには、MC65 の側面にある音量上/下ボタンを使用します。スライダを上下に動かして、音量を調節します。

- ✓ 注 通話音量は、通話中に調節してください。通話していないときに音量を調節すると、呼び出し音および通知音の音量が変わります。

通話をミュートする

通話中にマイクをミュートにして、相手の声は聞こえるが、こちらの声は聞こえないようにすることができます。この機能は、こちら側で会話したり、こちら側の騒音が激しい場合に便利です。

通話のミュート/ミュート解除を切り替えるには、ダイヤラで **[Mute]** (ミュート) をタップして、音声をミュートにします。**[Mute]** (ミュート) ボタンは **[Unmute]** (ミュート解除) に変わります。

通話履歴を使用する

[Call History] (通話履歴) を使用して、最近通話を行った相手に電話をかけることができます。[Call History] (通話履歴) には、すべての通話 (着信、発信、不在着信) の発着信時間と通話時間が表示されます。また、全通話の概要が表示され、通話中に入力したメモに容易にアクセスすることができます。表 4-1 に、**[Call History]** (通話履歴) ウィンドウに表示される Call History (通話履歴) アイコンを示します。



表 C-2 Call History (通話履歴) アイコン

アイコン	説明
	すべての発信の連絡先情報の横に表示されます。
	すべての着信の連絡先情報の横に表示されます。
	すべての不在着信の連絡先情報の横に表示されます。



通話履歴の管理

表示を変更したり、通話タイマーをリセットしたり、通話を削除するなど、[Call History] (通話履歴) に保存されている通話を管理することができます。

[Call History] (通話履歴) の表示の変更

1.  を押して、[Phone] (電話) ダイヤラを表示します。
2. [Phone] (電話) ダイヤラで、[Call History] (通話履歴) をタップします。
3.  > [Filter] (フィルタ) をタップして、メニューを表示します。
4. メニューから表示タイプを選択して、不在着信、発信、着信のみが表示されるようにしたり、発信者名のアルファベット順に通話が表示されるようにすることができます。
5. [OK] をタップして [Call History] (通話履歴) ウィンドウを終了します。

通話カウンタのリセット

1.  を押して、[Phone] (電話) ダイヤラを表示します。
2. [Phone] (電話) ダイヤラで、[Call History] (通話履歴) をタップします。
3.  をタップします。
4. [Call Timers...] (通話タイマー) を選択します。

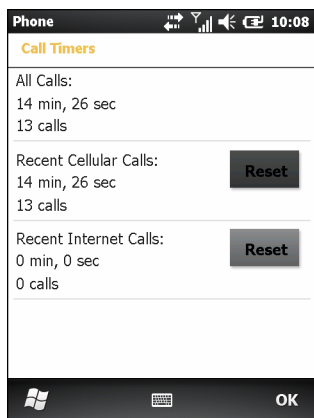




図 C-13 [Call History] (通話履歴) - 通話タイマー


5. [Reset] (リセット) をタップします ([All Calls:] (すべてのコール) カウンタはリセットできません)。
6. [OK] をタップして [Call Timers] (通話タイマー) ウィンドウを終了します。

すべての通話履歴項目の削除

1.  を押して、[Phone] (電話) ダイヤラを表示します。
2. [Phone] (電話) ダイヤラで、[Call History] (通話履歴) をタップします。
3.  をタップします。

4. **[Delete all calls]** (すべての通話を削除) を選択します。
5. **[Yes]** (はい) をタップします。
6. **[OK]** をタップして **[Call History]** (通話履歴) ウィンドウを終了します。

通話ステータスの表示

1.  を押して、**[Phone]** (電話) ダイヤラを表示します。
2. **[Phone]** (電話) ダイヤラで、**[Call History]** (通話履歴) をタップします。
3. エントリをタップします。**[Call Status]** (通話ステータス) ウィンドウが表示されます。

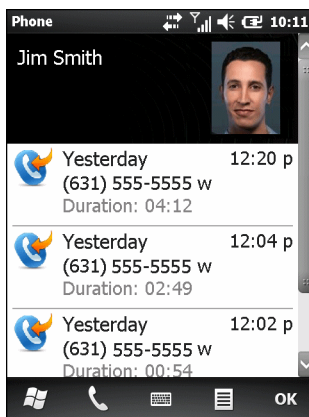



図 C-14 **[Call History]** (通話履歴) - 詳細

✓ **注** 複数の通話を行っている場合は、最初の通話の通話時間のみが記録されます。

4. **[OK]** を 2 回タップして終了します。

[Call History] (通話履歴) メニューの使用

[Call History] (通話履歴) メニューを使用して、音声メールの発信、Activation Wizard (ライセンス認証ウィザード) へのアクセス、連絡先の保存、メモの表示、リストの削除、SMS の送信、および発信を行うことができます。

1.  を押して、**[Phone]** (電話) ダイヤラを表示します。
2. **[Phone]** (電話) ダイヤラで、**[Call History]** (通話履歴) をタップします。
3. リストで項目をタップして押し続けます。

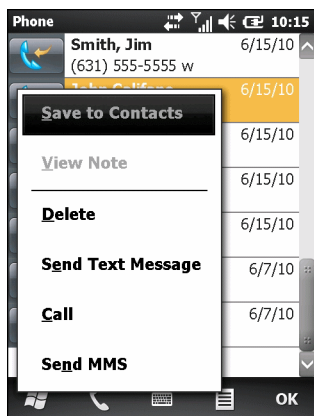



図 C-15 [Call History] (通話履歴) - メニュー

4. 必要に応じて、メニューから該当する項目を選択します。
5. 選択した項目に応じて、適切なウィンドウが表示されます。たとえば、[Send Text message] (テキストメッセージを送信) を選択すると、[Text Messages] (テキストメッセージ) ウィンドウが表示されます。
6. [OK] をタップして [Call History] (通話履歴) ウィンドウを終了します。

通話を切り替える (GSM)

2 つの通話を切り替えるには、次の手順に従います。

1.  を押して、[Phone] (電話) ダイヤラを表示します。
2. 最初の電話番号を入力して、[Talk] (通話) をタップします。接続されると、ダイヤラに [Hold] (保留) が表示されます。
3. [Hold] (保留) をタップして、最初の通話を保留にします。
4. 2 番目の番号を入力して、[Talk] (通話) をタップします。

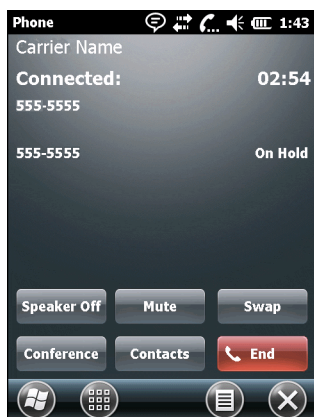



図 C-16 [Call Conferencing] (電話会議) - 会議中

5. [Swap] (切り替え) をタップして、通話を切り替えます。
6. 各通話を終了するには、[End] (終了) をタップするか、 を押します。

通話を切り替える (CDMA)

着信した 2 つの通話を切り替えるには、次の手順に従います。

1. **[Answer] (応答)** をタップして、最初の着信に応答します。

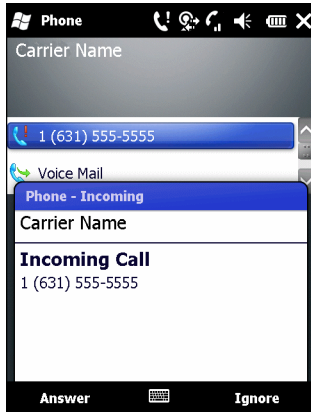


図 C-17 着信への応答

2. 2 番目の着信を受けたら、**[Answer] (応答)** をタップします。最初の通話が保留になります。
3. **[Flash] (フラッシュ)** をタップして、通話を切り替えます。

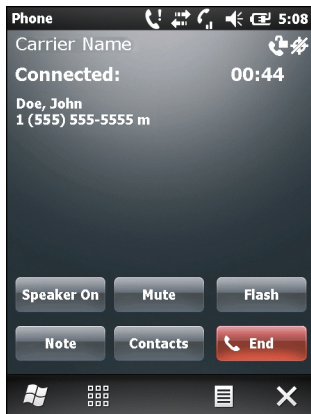





図 C-18 通話の切り替え

4. **[End] (終了)** をタップするか、キーパッドの赤色の電話キーを押して、現在の通話を終了します。もう一方の通話が再接続されます。**[Answer] (応答)** をタップして通話に接続します。
5. **[End] (終了)** をタップするか、キーパッドの赤色の電話キーを押して、最後の通話を終了します。

会議通話 (GSM)

- ✓ 注 一部のサービスでは、Conference Calling (会議通話) 機能を使用できないことがあります。また、会議通話の数が異なることがあります。Conference Calling (会議通話) 機能を使用できるかどうかについては、サービス プロバイダにお問い合わせください。

複数の相手との会議通話セッションを確立するには、次の手順に従います。



1.  を押して、[Phone] (電話) ダイヤラを表示します。
2. 最初の電話番号を入力して、[Talk] (通話) をタップします。接続されると、ダイヤラに [Hold] (保留) が表示されます。
3. [Hold] (保留) をタップして、最初の通話を保留にします。
4. 2 番目の電話番号を入力して、[Talk] (通話) をタップします。
5. 通話に応答した後に、 > [Conference] (会議) をタップして、通話を会議モードにします。
6. [Hold] (保留) をタップして、会議を保留にします。
7. 別の電話番号を入力して、[Talk] (通話) をタップします。
8. 通話に応答した後に、 > [Conference] (会議) をタップして、すべての通話を会議モードにします。
9. 最大 6 つの電話番号で手順 6 ~ 8 を繰り返します。
10. 会議通話を終了するには、[End] (終了) をタップするか、キーパッドの赤色の電話キーを押します。

- ✓ 注 会議通話で 1 人の相手と 2 人だけで話すには、 > [Private] (プライベート) をタップします。すべての相手を再度参加させるには、 > [Conference] (会議) をタップします。

3 者通話 (CDMA)

- ✓ 注 3 者通話は、一部のサービスでは利用できない場合があります。利用できるかどうかについては、サービス プロバイダにお問い合わせください。

自分が発信者になり、2 人の通話先相手と 3 者通話セッションを確立するには、次の手順に従います。

1.  を押して、[Phone] (電話) ダイヤラを表示します。
2. 最初の電話番号を入力して、[Flash] (フラッシュ) をタップします。
3. 2 番目の相手に発信するには、[Keypad] (キーパッド) をタップします。2 番目の番号を入力して、[Flash] (フラッシュ) をタップします。
4. 2 番目の相手が応答したら、[Flash] (フラッシュ) をタップして、3 者通話セッションを確立します。
5. [Flash] (フラッシュ) をタップして、最後の通話を切断します。
6.  を押して、最初の通話を切断します。

用語集

A

ActiveSync. Windows Mobile OS で使用される Microsoft によって開発されたデータ同期プログラム。

AFH. 適応型周波数ホッピング

AKU. (Adaptation Kit Update) Windows Mobile OS のアップデート。

API. (アプリケーション プログラミング インタフェース) あるソフトウェア コンポーネントが他のコンポーネントと通信したり、他のコンポーネントを制御したりする際に使用するインタフェース。通常は、あるソフトウェア コンポーネントによって、ソフトウェアの割り込みや機能の呼び出しによって、他のコンポーネントに提供されるサービスを指します。

AZERTY. フランス語のキーボードで一般的に使用される標準的なキーボード。"AZERTY" は、キーボードの上から 1 列目のキー配列を指します。

B

Bluetooth. 短距離通信技術を活用して狭い範囲でデータ転送を可能にする無線プロトコル。

bps. 「ビット/秒 (bps)」を参照してください。

C

CDRH Class 1. 最も低いパワーの CDRH レーザ分類です。このクラスは、すべてのレーザ出力が目の瞳孔に向けられた場合でも本質的に安全であると見なされます。このクラスでは特別な操作手順は規定されていません。

CDRH Class 2. この制限に準拠するために追加のソフトウェアメカニズムを用意する必要はありません。このクラスのレーザは、人体に意図的に直接照射しない限り、特に危険性はありません。

CDRH. Center for Devices and Radiological Health (医療機器・放射線保健センター) の略。レーザ製品の安全性に関する規制を行う連邦政府機関。この機関は、レーザ操作時の電源出力に基づいて各種レーザ操作クラスを規定しています。

Codabar. セルフチェックを行うディスクリット コード。0 ～ 9 の数字と 6 つの追加文字 (- \$. , , および +) で構成されるキャラクタ セットが含まれます。

Code 128. コントローラで 128 文字すべての ASCII 文字をシンボル要素を追加せずにエンコードできる、高密度な記号体系。

Code 3 of 9 (Code 39). 広く使用されている多機能な英数字バーコードの記号体系。すべての大文字、0 ～ 9 の数字、および 7 つの特殊文字 (- , . / + % \$ およびスペース) を含む 43 種類のキャラクタで構成されます。このコード名は、キャラクタを示す 9 つの要素のうち 3 つが広く、残りの 6 つが狭いことに由来しています。

Code 93. Code 39 と互換性を持つ工業用記号体系。完全な ASCII キャラクタ セットを提供し、Code 39 よりも高い密度のコーディングを実現します。

COM ポート. 通信ポート。ポートは COM1 や COM2 など、数字で識別されます。

D

DCP. 「Device Configuration Package」を参照してください。

Device Configuration Package. Symbol Device Configuration Package には、Product Reference Guide (PRG)、フラッシュ パーティション、Terminal Configuration Manager (TCM) および関連する TCM スクリプトが入っています。このパッケージを使用すれば、フラッシュ パーティションを表すヘキサ イメージを作成し、モバイル コンピュータにダウンロードすることができます。

Discrete 2 of 5. 各キャラクタを 5 本のバー (うち 2 本の幅が広い) のグループで表す 2 進数のバーコードの記号体系。グループ内の幅の広いバーの場所によって、エンコードされるキャラクタが決定されます。スペースは重要ではありません。数字キャラクタ (0 ～ 9) と、スタートまたはストップ キャラクタのみがエンコード可能です。

E

EAN. 欧州統一商品番号。これは UPC のヨーロッパ/国際版で、独自のコーディング形式と記号体系標準があります。エレメントの寸法はメートル法で指定されています。EAN は、主に小売業で使用されます。

EMDK. Enterprise Mobility Developer's Kit の略。

ESD[ESD]. Electro-Static Discharge (静電気放電) の略。

F

FHSS (周波数ホッピング方式スペクトル拡散). 送信側および受信側が知る疑似ランダム系列を使用して複数の周波数チャンネル間でキャリアを頻繁に変更して無線信号を送信する方法。

G

GPS (グローバル ポジショニング システム). 24 個の衛星ネットワークで構成される衛星ベースのナビゲーションシステム。GPS 衛星は地球を周回し、信号情報を送信します。この情報は GPS 受信機によって受信され、三角法によってユーザーの正確な位置が計算されます。

H

Hz. ヘルツ。1 秒あたり 1 サイクルと同等の周波数の単位です。

I

I/O ポート. 2 つのデバイス間を接続するインタフェース。共通の物理特性、信号特性、および信号の意味によって定義されます。インタフェースのタイプとしては、RS-232 と USB があります。

IEC. International Electrotechnical Commission (国際電気標準会議) の略。この国際機関は、レーザ操作時の電源出力に基づいて各種レーザ操作クラスを規定することによって、レーザの安全性を規制しています。

IEC (825) Class 1. 最も低いパワーの IEC レーザ分類です。この規格に準拠しているかどうかは、1000 秒の時間枠でレーザ操作が 120 秒間に制限されていることと、スキャナの振動ミラーが故障した場合にレーザが自動シャットダウンされることによって確認されます。

IEEE アドレス. 「MAC アドレス」を参照してください。

Interleaved 2 of 5. 5 本のバーと 5 本のインターリーブスペースで構成されるグループ内の、キャラクタのペアを表す 2 進数のバーコードの記号体系。インターリーブにより、情報の高密度化が可能になります。各グループ内の太いエレメント (バー/スペース) の位置は、エンコードされるキャラクタによって決まります。このコンティニアス コード タイプは、キャラクタ間スペースを使用しません。数字 (0 ~ 9) と、スタートまたはストップキャラクタのみがエンコード可能です。

IP アドレス. (インターネット プロトコル アドレスの略) IP ネットワークに接続されたコンピュータのアドレス。すべてのクライアントおよびサーバー ステーションは、固有の IP アドレスを持っている必要があります。IP ネットワーク上のコンピュータでは、32 ビット アドレスが使用されます。クライアント ワークステーションには、固定アドレスか、セッションごとに動的にワークステーションに割り当てられるアドレスを設定します。IP アドレスは、ピリオドで分割された 4 セットの数字で記述されます。たとえば、204.171.64.2 などとなります。

IP. インターネット プロトコル (Internet Protocol) の略。TCP/IP 通信プロトコルの IP 部分。IP はプロトコルのネットワーク層 (第 3 層) を実装しています。ネットワーク層にはネットワーク アドレスが含まれており、ネットワーク層を使用して別のネットワークやサブネットワークにメッセージをルーティングします。IP では、第 4 層の転送プロトコル (TCP または UDP) からの「パケット」を受け取り、独自のヘッダを追加して、第 2 層のデータ リンクプロトコルに「データグラム」を渡します。また、ネットワークの最大転送単位 (MTU) をサポートするため、パケットをいくつかの断片に分解する場合があります。

IPX/SPX. Internet Package Exchange/Sequential Packet Exchange の略。Novell 用の通信プロトコルです。IPX は、XNS や IP に類似した Novell の第 3 層のプロトコルで、NetWare ネットワークで使用されます。SPX は、Xerox SPP プロトコルの Novell 版です。

ISM. Industry Scientific and Medical (産業科学医療用) の略。

L

LCD.「液晶ディスプレイ」を参照してください。

LED インジケータ. インジケータとして使用される半導体ダイオード (LED は発光ダイオード)。多くはデジタルディスプレイに使用されます。この半導体は、印加電圧を使用して、ある特定の周波数の光を発生します。周波数は半導体の化学組成によって決定されます。

M

MC. Mobile Computer (モバイル コンピュータ) の略。

MDN. Mobile Directory Number (モバイル ディレクトリ番号) の略。モバイル装置につなぐために (通常は POTS を使用して) ダイアルする電話番号の一覧を表示するディレクトリ。MDN は通常、携帯電話の MIN と関連づけられており、米国とカナダでは、音声を使用する携帯電話のユーザーに対する MDN と MIN は同じ値になります。国際ローミングを考慮すると、MDN は MIN と異なる値になります。

MIN. Mobile Identification Number (モバイル識別番号) の略。携帯デバイスに関連付けられている固有のアカウント番号です。携帯電話システムへのアクセス時に、携帯デバイスによってブロードキャストされます。

N

NVM. Non-Volatile Memory (不揮発性メモリ) の略。

P

PAN. Personal Area Network (パーソナル エリア ネットワーク) の略。Bluetooth 無線テクノロジーを使用して、複数のデバイスが無線で通信できるようになります。一般的に無線 PAN は、約 10m の範囲内で通信する 254 台までのデバイスの動的なグループで構成されます。通常は、この限定された領域の中にあるデバイスのみがネットワークに参加できます。

PING. Packet Internet Groper の略。特定の IP アドレスがオンラインであるかどうかを判断するために使用されるインターネット ユーティリティ。パケットを送信して応答を待つことで、ネットワークをテストしたりデバッグしたりするために使用されます。

Q

QWERTY. ヨーロッパのキーボードで一般的に使用される標準的なキーボード。"QWERTY" は、キーボードの上から 1 列目のキー配列を指します。

QWERTZ. ドイツ語のキーボードで一般的に使用される標準的なキーボード。"QWERTZ" は、キーボードの上から 1 列目のキー配列を指します。

R

RAM. Random Access Memory (ランダム アクセス メモリ) の略。RAM 内のデータにはランダムな順序でアクセスでき、すばやい読み書きが可能です。

RF. Radio Frequency (無線周波数) の略。

ROM. Read-Only Memory (読み出し専用メモリ) の略。ROM に格納されたデータを変更または削除することはできません。

S

SDK. Software Development Kit (ソフトウェア開発キット) の略。

SID. System Identification code (システム識別コード) の略。業界ごとに FCC が発行する識別子です。携帯デバイスでホーム サービスとローミング サービスを区別できるようにするため、携帯電話キャリアでも SID をブロードキャストします。

Space. バーコードで、バーの間の背景によって形成される明るいエレメント。

Symbol. 特定の記号体系の規則に従ってデータをエンコードする、スキャン可能な単位。通常はスタート/ストップ キャラクタ、クワイエット ゾーン、データ キャラクタおよびチェック キャラクタを含みます。

Symbology. 特定のバーコード タイプ (UPC/EAN、Code 39、PDF417 など) のデータを表すための構造的なルールと規約。

T

TCP/IP. Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。異種システム間をネットワーク接続するために使用される通信プロトコルです。この標準はインターネットのプロトコルであり、通信に関するグローバルな標準となっています。TCP は転送機能を提供します。これにより、送信された合計バイト数が相手側で正しく受信されるようになります。UDP は代替的な転送機能で、配信は保証されません。UDP は、異常なパケットが再送されないリアルタイムの音声および映像の転送に使用されます。IP はルーティング メカニズムを備えています。TCP/IP はルーティング可能なプロトコルです。これは、すべてのメッセージに、宛先ステーションのアドレスだけでなく宛先ネットワークのアドレスも含まれていることを意味します。これにより組織内や世界中の複数のネットワークに TCP/IP メッセージを送信できるため、TCP/IP は世界中のインターネットで使用されています。TCP/IP ネットワーク内のすべてのクライアントとサーバーには、固定 IP アドレス、または起動時に動的に割り当てられる IP アドレスが必要です。

Telnet. インターネットや TCP/IP ベースのネットワークで一般的に使用される、ターミナル エミュレーション プロトコル。これにより、ターミナルやコンピュータを使用するユーザーがリモート デバイスにログオンし、プログラムを実行することができます。

TFTP. Trivial File Transfer Protocol (簡易ファイル転送プロトコル) の略。TCP/IP FTP (ファイル転送プロトコル) のバージョンの 1 つで、ディレクトリやパスワードの機能はありません。ファームウェアのアップグレード、ソフトウェアのダウンロード、およびディスクレス デバイスのリモート ブートに使用されるプロトコルです。

Transmission Control Protocol/Internet Protocol. 「TCP/IP」を参照してください。

U

UDP. User Datagram Protocol (ユーザー データグラム プロトコル) の略。IP プロトコル セットに含まれるプロトコルのひとつで、信頼性の高い配信が必要でない場合に、TCP に代わって使用されます。たとえば、再転送する時間がないためにパケットが失われても単純に無視されるようなリアルタイムの音声および映像のトラフィックに対して、UDP が使用されます。UDP を使用して信頼性の高い配信を行う必要がある場合は、パケット シーケンスのチェックとエラー通知をアプリケーション内に記述する必要があります。

UPC. Universal Product Code (ユニバーサル プロダクト コード) の略。比較的複雑な数字の記号体系です。各キャラクタは 2 つのバーと 2 つのスペースで構成され、そのそれぞれが 4 種類の幅のいずれかになります。米国での小売の食品パッケージで標準的に使用される記号体系です。

い

インターネット プロトコル アドレス. 「IP」を参照してください。

え

液晶ディスプレイ (LCD). 2 枚のガラス板の間に封入された液晶を使用したディスプレイ。液晶は電圧を正確にけることによって励起し、そのバイアスに従って光を外側に反射させます。消費電力が少なく、比較的高速で応答します。液晶の情報をユーザー側に反射するには、外光が必要となります。

お

オープン システム認証. オープン システム認証は、null 認証アルゴリズムです。

か

可視半導体レーザ (VLD). 可視レーザ光を発生する、半導体素子を使用したデバイス。

簡易ファイル転送プロトコル. 「TFTP」を参照してください。

き

キー. データの暗号化や復号を行うためのアルゴリズムによって使用される特定のコード。「暗号化」と「復号」も参照してください。

基板. 実体やイメージが配置される基板の素材。

鏡面反射. 平面から鏡のように直接反射される光。これによってバーコードのデコードが困難になる場合があります。

共有キー．共有キーによる認証は、AP と MU の両方で認証キーを共有するアルゴリズムです。

許容範囲．バーまたはスペースの幅の公称値からの許容される誤差。

キャラクタ．バーとスペースで構成されるパターン。データを直接的に表現するか、数字や文字、句読点、メッセージ内の通信制御など、特定の制御機能を示します。

く

クレードル．ターミナルのバッテリーの充電やホスト コンピュータとの通信に使用します。使用していないときは、ターミナルの保管場所となります。

こ

公称値．特定のパラメータの正確な（または理想的な）目標値。この値からの正と負の誤差として、許容範囲が指定されます。

さ

サブネット マスク．IP アドレスのネットワーク部分とホスト部分を分離するために使用される 32 ビットの数字。カスタム サブネット マスクは、IP ネットワークをさらに小さなサブセクションに分割します。マスクはバイナリパターンであり、IP アドレスと組み合わせることで、ホスト ID アドレス フィールドの一部をサブネットのフィールドに置き換えます。多くの場合、デフォルトは 255.255.255.0 です。

サブネット．1 つのネットワーク上で、同じルータのサービスを受ける複数のノードのサブセット。「**ルータ**」を参照してください。

し

シンボル アスペクト比率．シンボルの幅に対する高さの比率。

シンボルの高さ．最初の行と最後の行の、クワイエット ゾーンの外側の端の間の距離。

シンボルの長さ．スタート キャラクタに隣接するクワイエット ゾーン（マージン）の最初から、ストップ キャラクタに隣接するクワイエット ゾーン（マージン）の最後までを計測した、シンボルの長さ。

す

スキャナバーコードをスキャンし、シンボルのバーとスペースに対応するデジタル化されたパターンを作成するための電子デバイス。主なコンポーネントは次の 3 つです。1) 光源 (レーザまたは光電セル) - バーコードに光を照射する 2) 光検出器 - 反射光の差異を登録する (スペースからより多くの光が反射される) 3) 信号処理回路 - 光検出器の出力をデジタル化されたバーのパターンに変換する。

スタート/ストップ キャラクタ . スキャナに読み取りの開始と終了の指示やスキャン方向を提示するバーとスペースのパターン。通常、スタートキャラクタとストップキャラクタは水平コードの左右のマージンに隣接しています。

た

ターミナル エミュレーション . "ターミナル エミュレーション" では、メインフレーム以外のリモート ターミナルで、キャラクタベースのメインフレーム セッション (すべての表示機能、コマンドおよびファンクション キーを含む) をエミュレートします。VC5000 シリーズでは、3270、5250 および VT220 でターミナル エミュレーションをサポートしています。

ターミナル . 「モバイル コンピュータ」を参照してください。

て

デコード アルゴリズム . パルス幅を、バーコード内でエンコードされた文字や数字のデータ表示に変換する読み取りスキーム。

デコード . バーコードの記号体系 (UPC/EAN など) を識別し、スキャンしたバーコードの内容を分析すること。

に

入出力ポート . I/O ポートは主に、ターミナルのメモリで情報を入力または出力するためのみに使用されます。MC65 には USB ポートが搭載されています。

は

バーコード . さまざまな幅のバーとスペースのパターン。数字や英数字のデータを機械が読み取れる形式で表します。一般的なバーコードの形式は、先頭マージン、スタート キャラクタ、データ キャラクタ (またはメッセージ キャラクタ)、チェック キャラクタ (あれば)、ストップ キャラクタ、および末尾マージンで構成されます。この枠組みの中で、認識可能な記号体系それぞれが独自の形式を使用します。「**記号体系**」を参照してください。

バイト . アドレス指定可能な境界上で、特定の文字や数値を表すパターン内で組み合わせられた、隣接した 8 桁の 2 進数 (0 と 1)。ビットには右から 0 ~ 7 の番号が付いており、ビット 0 が下位のビットです。メモリ内では、1 バイトを使用して 1 つの ASCII 文字を格納します。

発光ダイオード . 「LED」を参照してください。

ひ

ビット . 1 桁の 2 進数。1 ビットが、バイナリ情報の基本単位です。一般的には、連続した 8 ビットが 1 バイトのデータを構成します。バイト内の 0 と 1 の値のパターンによって、そのバイトの意味が決定されます。

ビット / 秒 (bps) . 送信または受信されるビット数。

ふ

ファイル転送プロトコル (FTP) . ネットワークや電話回線を介したファイル転送を支配する TCP/IP アプリケーションプロトコル。「TCP/IP」を参照してください。

ブートまたはブートアップ . コンピュータが起動時に実行するプロセス。ブートアップ中、コンピュータは自己診断テストを実行したり、ハードウェアやソフトウェアを設定したりすることができます。

復号 . 受信した暗号データをデコードおよびスクランブル解除すること。「暗号化」と「キー」も参照してください。

フラッシュ メモリ . 半永久的な不揮発性のストレージ。回線内で電氣的に消去したり、プログラミングしなおしたりすることが可能です。

ほ

ホスト コンピュータ . ネットワーク内の他のターミナルに、演算やデータベース アクセス、監視プログラム、ネットワーク制御などのサービスを提供するコンピュータ。

も

モバイル コンピュータ . 本書では、モバイル コンピュータは MC65 を指します。スタンドアロン型のデバイスとして使用するようにセットアップすることも、無線テクノロジーを使用してネットワーク通信するようにセットアップすることも可能です。

よ

読み取り幅 . スキャナがある一定の最小光源幅でシンボルを読み取れる最短距離と最長距離の間の範囲。

る

ルータ . ネットワークに接続して、パケットのフィルタリングに必要なプロトコルをサポートするデバイス。一般的には、配線の範囲を広げたり、ネットワークのトポロジをサブネットにまとめたりするために使用されます。「サブネット」を参照してください。

れ

レーザ . Light Amplification by Stimulated Emission of Radiation の略。強い光源です。白熱灯バルブから出力される光と異なり、レーザからの光はすべて同じ周波数です。レーザ光は一般的にコヒーレントであり、高いエネルギー密度を持っています。

レーザ スキャナ . レーザ光のビームを使用するタイプのバーコード リーダー。

索引

数字

16 進キー	4-5
2-D バーコード	2-23
3 者通話	3-8, 3-11, C-16
4 スロット イーサネット クレードル	10-1, 10-8
充電	10-8
充電インジケータ	10-8
4 スロット 充電専用 クレードル	10-7
充電インジケータ	10-7
充電	10-7
4 スロット 予備 バッテリ 充電器	10-2, 10-11
充電	10-11
充電インジケータ	10-11
バッテリーの充電	10-11

A

ActiveSync	2-10
アイコン	C-4
AFH	7-1
AirBEAM	2-10
AZERTY	B-5

B

Bluetooth	7-1
オフ	7-4
オン	7-4
セキュリティ	7-2
適応型周波数ホッピング	7-1
bluetooth	
オン/オフの切り替え	7-4
デバイスの検出	7-5

E

ESD	1-2
Evolution Data-Optimized	3-1, C-5

G

GPS ノリセット	8-3
GPS ハードウェアのリセット	8-3

H

High-Speed Downlink Packet Access	3-1, C-5
-----------------------------------	----------

I

Internet Explorer Mobile	2-11
internet sharing	2-11
IrDA	9-2

L

LED	2-19
充電	2-20, 10-4, 10-7, 10-8, 10-10, 10-11, 10-13
スキャンと読み取り	2-20, 2-25, 2-26
電波受信状況	2-20
バッテリー状態	2-20

M

Media Player	2-12
MMC	1-2, 10-3
MSP Agent	2-11

P

PC との同期
Bluetooth の使用 7-10

Q

QWERTY キーパッド
入力モード B-8, B-9, B-11
QWERTZ キーパッド B-5

R

rapid deployment 2-11

S

SD 10-3
SD カード 10-3
SIM カード
アクセサリ 1-3
取り付け 1-3
subscriber identification module 1-3

U

USB クライアント充電ケーブル 10-12
USB クレードル 10-1
USB 充電ケーブル 10-2, 10-12

W

Windows Live 2-12
Windows Live Messenger 2-11
wireless manager 9-2
WLAN 802.11a/b/g xiii
WPAN Bluetooth xiii

あ

アイコン
ActiveSync C-4
ステータス 2-6
スピーカ 2-19
タスクトレイ C-4
バッテリー 2-7, 2-19
無線ステータス C-4
アクション ボタン 2-3
アクセサリ 10-1
4 スロット イーサネット クレードル 10-1, 10-8
4 スロット 充電専用 クレードル 10-1, 10-7
4 スロット 予備バッテリー充電器 10-2, 10-11

MMC 1-2, 10-3
SD カード 10-3
SIM カード 1-3
USB クレードル 10-1
USB 充電ケーブル 10-2
ケーブル 10-12
車載用 クレードル 10-1, 10-9
車載用ホルダー 10-1
車用充電ケーブル 10-2
充電専用ケーブル 10-2
仕様 A-6
シングル スロット USB クレードル 10-3
スクリーン保護シート 10-2
スタイラス 10-2
スプリング付きスタイラス 10-2
通信/充電ケーブル
LED インジケータ 10-13
バッテリーの充電 10-12
壁面用マウント キット、クレードル 10-2
ホルスタ 10-2
ホルスタ (ソフト タイプ) 10-2
予備バッテリー 10-2

い

イーサネット クレードル 10-8
イメージャー
イメージング 2-23, 2-24

う

上/下ボタン 2-3

え

英数字キーパッド B-5
キーの説明 B-6
エンタープライズPDAの起動 1-2

お

オペレーティング システム xiii
温度 A-2
充電 1-6, 10-4
音量の調節 2-19

か

画像 2-11
編集 6-2

き

技術仕様	A-1
アクセサリ	A-6
規則	
表記	xv
機能ボタン	2-3
キーの説明	
英数キーパッド	B-6
数字キーパッド	B-2, B-13, B-15
キーパッド	xiii
QWERTY	B-5
キーの説明	B-2, B-6, B-13, B-15
種類	B-1
数字	B-1, B-12, B-14
特殊文字キー	B-17
入力モード	B-4, B-8, B-9, B-11, B-17
緊急通話	3-6, C-10

く

クリーニング	11-1
車用充電ケーブル	10-2, 10-12
クレードル	
4 スロット イーサネット	10-1, 10-8
4 スロット 充電専用	10-1, 10-7
4 スロット 充電専用クレードル	10-7
4 スロット 予備バッテリー充電器	10-11
車載用	10-9
シングル スロット USB	10-3

け

ケーブル	10-12
車用充電ケーブル	10-2
接続	10-12

こ

構成	xiii
コマンド バー	
アイコン	C-4

さ

再開	7-3
サスペンド	1-8, 1-9, 1-11, 2-3, 7-3
サービスに関する情報	xvi

し

車載用クレードル	10-1, 10-9
充電インジケータ	10-10
車載用ホルダー	10-1

充電

4 スロット イーサネット クレードルの使用	10-8
4 スロット 充電専用クレードルの使用	10-7
4 スロット 予備バッテリー充電器の使用	10-11
車載用クレードルの使用	10-9
シングル スロット USB クレードルの使用	10-3
予備バッテリー	1-6, 10-4, 10-11
充電インジケータ	2-19, 10-13
4 スロット イーサネット クレードル	10-8
4 スロット 充電専用クレードル	10-7
4 スロット 予備バッテリー充電器	10-11
車載用クレードル	10-10
シングル スロット USB クレードル	10-4
電時の温度	1-6, 10-4
充電専用クレードル	10-1
充電専用ケーブル	10-2, 10-12
情報、サービスに関する	xvi
シングル スロット Ethernet/modem/USB	
クレードル	10-5
シングル スロット USB クレードル	10-3
充電	10-3
充電インジケータ	10-4

す

数字キーパッド	B-1, B-12, B-14
キーの説明	B-2, B-13, B-15
入力モード	B-4, B-17
スキャン	
イメージング	2-23
データ収集を参照	2-23
ボタン	2-3
スキャン ボタン	2-3
スクリーン保護シート	10-2
スタイラス	1-1, 2-22, 10-2
スタイラスの使用	2-22
ステータス アイコン	2-6
スピーカ	2-19
バッテリー	2-7, 2-19
ストラップ	1-1
スピーカ アイコン	2-19
スピード ダイアル	3-11
スプリング付きスタイラス	10-2

せ

セキュリティ	
Bluetooth	7-2
設定	9-1
Wi-Fi	9-2
wireless manager	9-2
暗号化	9-3
エラー報告	9-3
オーナー情報	9-2

外部 GPS	9-3
画面	9-3
サウンドと通知	9-1
証明書	9-3
接続	9-2
地域設定	9-3
電源	9-1
バージョン情報	9-3
ビーム	9-2
プログラムの削除	9-3
ボタン	9-2
メモリ	9-3
ユーザー フィードバック	9-3
ロック	9-1

た

タスク	2-12
タスクトレイ アイコン	C-4
短縮ダイヤル	C-8

ち

着信への応答	3-5, C-9
--------	----------

つ

通信 / 充電ケーブル	
LED インジケータ	10-13
バッテリーの充電	10-12
通話のミュート	3-6, C-11
通話履歴	3-7, C-11

て

ディスプレイ	xiii
適応型周波数ホッピング	7-1
データ収集	xiii
イメージャー動作モード	
画像読み取りモード	2-23
ピック リスト モード	2-23
読み取りモード	2-23
イメージング	2-23
スキャン	2-24, 2-26
スキャン角度	2-24
スキャン距離	2-24
スキャン ボタン	2-3
デジタル カメラ	2-23
ドット照準	2-25
二次元バーコード	2-23
データ収集、イメージング、イメージャー サンプルを参照	
データ収集、イメージングを参照	
電源ボタン	2-3, 2-22

電卓	2-10
電話	
3 者通話	3-8, 3-11, C-16
会議通話	3-8, 3-11, C-16
キーパッドの使用	3-1, C-5
短縮ダイヤル	
エントリの削除	3-12
エントリの編集	3-12
発信	C-8
着信への応答	3-5, C-9
通話の切り替え	C-14, C-15
通話のミュート	3-6, C-11
通話履歴	3-7, C-11
テキスト メッセージ	5-2
連絡先	3-4, C-7
電話会議	3-8, 3-11, C-16

と

動作環境	A-1
特殊文字キー	B-17
時計とアラーム	9-1
トラブルシューティング	11-6

な

中黒	xv
ナビゲーション バー	
アイコン	2-6

は

バーコード	
二次元	2-23
パスフレーズ	4-5
パスワード	9-4
パッケージの開梱	1-1
バッテリー	
充電	1-5, 10-3, 10-7, 10-8, 10-9, 10-11
状態の確認	1-8
取り外し	1-8
バッテリー アイコン	2-7, 2-19
バッテリー充電器	
4 スロット	10-11
通信 / 充電ケーブル	10-12
LED インジケータ	10-13
バッテリー充電中	1-5
バッテリーの充電	
4 スロット イーサネット クレードルの使用	10-8
4 スロット 充電専用クレードルの使用	10-7
4 スロット 予備バッテリー充電器の使用	10-11
車載用クレードルの使用	10-9
シングル スロット USB クレードルの使用	10-3
通信 / 充電ケーブル	10-12

ひ

ビデオ 2-11
 非表示文字 4-5
 表記規則 xv

ふ

ファイル エクスプローラ 2-11

へ

壁面用マウント キット、クレードル 10-2
 ヘッドセット 3-6, C-10

ほ

ボイス コマンダー
 設定 9-19
 ボタン
 アクション 2-3
 上/下 2-3
 機能 2-3
 スキャン 2-3
 電源 2-3, 2-22
 ホルスタ 10-2
 ホルスタ (ソフト タイプ) 10-2
 ホルスタ (ハード タイプ) 10-2

ま

マルチメディア カード 1-2, 10-3

む

無線 xiii
 無線ステータス C-4

め

メイン バッテリ
 充電 1-2, 1-5
 取り付け 1-2
 メイン バッテリの取り外し 1-8
 メッセージング 2-11
 メモ 2-11
 メモリ xiii
 メンテナンス 11-1

ゆ

有線ヘッドセット 3-6, C-10
 有線ヘッドセットの使用 3-6, C-10

よ

予定表 2-10
 予備バッテリー
 3600 mAh 10-2
 充電 1-6, 10-4, 10-11
 予備バッテリー充電器
 充電 10-11
 充電インジケータ 10-11

り

リセット 2-20
 リチウム イオン バッテリ 1-1

れ

レーザ スキャン
 データ収集を参照 2-23
 連絡先 2-10
 連絡先アプリケーション 3-4, C-7

ん

通信 10-12



Zebra Technologies Corporation
Lincolnshire, IL U.S.A.
<http://www.zebra.com>

Zebra および Zebra ヘッド グラフィックは、ZIH Corp の登録商標です。Symbol ロゴは、Zebra Technologies の一部門である Symbol Technologies, Inc. の登録商標です。
© 2015 Symbol Technologies, Inc.

